# Tohoku University Fact Book 2019 東北大学概要 2019



# CONTENTS

〈はじめに〉	
歴史的背景・東北大学学章・ロゴマーク・スクールカラー・・・	01
東北大学の使命・基本的な目標・学生歌・校友歌・・・	02
総長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	03
歴代総長	04
沿革図	05
ノーベル賞・文化勲章等受賞者	07
学内表彰	11
于广汉华	
〈組 織〉	
運営組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
理呂桕織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
機構図	14
役員・主な役職者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
総長選考会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
役員会······	19
経営協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
教育研究評議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
役員·職員数	21
学部	22
大学院	23
附置研究所・研究施設・組織・機構等	25
附属図書館	27
病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
〈学生〉	
学生数	29
入学状況	30
学部卒業生数·学位授与者数 ······	32
<b>本業後の状況</b>	33
産業別就職者数	35
学友会	36
<b>于</b> 及五	50
〈財 務〉	
平成30年度収入·支出予算······	37
研究費等受入状況	37
	39
工地 建物	39
〈特色ある研究・教育・社会貢献活動〉	
革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)…	41
研究大学強化促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41
ボスクタ強化促進事業 スーパーグローバル大学創成支援	41
教育	42
教育 寄附講座・寄附研究部門	
奇刚满座·奇刚研究部门	44
共同研究講座·共同研究部門 ····································	44
<b>莲字埋携</b> ····································	45
組織的連携	46
社会との連携協力	47
/国際杰法\	
〈国際交流〉	
学術交流協定締結等	49
研究者等交流状況	56
外国人留学生数	59
国際的な大学連合への加盟・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	63
海外拠点	64
〈キャンパス〉	
施設所在地一覧	65
7. 中央 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	$\overline{C}$

# 歴史的背景

東北大学は、1907年(明治40年)に東北帝国大学として創立し、当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、1913年(大正2年)には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

また、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、いち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、全学を挙げて本学の教育・研究機能の回復と被災地の復旧に努め、その経験と知見を生かして、東北の復興、日本の新生に向けて取り組んでいる。

# 東北大学学章・ロゴマーク・ スクールカラー

東北大学では、公式ロゴマークを平成17年3月に制定した。「Creativity」「Global」「Tradition」をキーコンセプトに、仙台を象徴する植物、「萩」をモチーフとし、世界に大きく広がっていく動きがデザインされている。また、公式カラーは、



「紫」と「黒」の二色を採用しており、「紫」は知性と創造力を、 「黒」は勤勉と実践力を表現している。

平成19年6月には東北大学ロゴマークを学章とするとともに、「紫」をスクールカラーとした。

# 東北大学の使命

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

## 大学の基本的な目標

東北大学は、開学以来の「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念及び「実学尊重」の精神を基に、数々の教育研究の成果を挙げてきた実績を踏まえ、これらの伝統、理念等を積極的に踏襲し、独創的な研究を基盤として高等教育を推進する総合大学として、以下の目標を掲げる。

- 1 教育目標・教育理念 ― 「指導的人材の養成」
  - ・学部教育では、豊かな教養と人間性を持ち、人間・社会や自然の事象に対して「科学する心」を持って知的探究を行うような行動力のある人材、国際的視野に立ち多様な分野で専門性を発揮して指導的・中核的役割を果たす人材を養成する。
  - ・大学院教育では、世界水準の研究を理解し、これに創造的知見を加えて新たな展開を遂行できる創造力豊か な研究者及び高度な専門的知識を持つ高度専門職業人を養成する。

#### 2 使命 一「研究中心大学」

- ・東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探究等を目指す基礎科学を推進するとともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。それとともに、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。
- ・知の創造・継承及び普及の拠点として、人間への深い理解と社会への広い視野・倫理観を持ち、高度な専門性 を兼ね備えた行動力ある指導的人材を養成する。
- 3 基本方針 ―「世界と地域に開かれた世界リーディング・ユニバーシティ」
  - ・人類社会の様々な課題に挑戦し、人類社会の発展に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」であることを目指す。
  - ・世界と地域に開かれた大学として、自由と人権を尊重し、社会と文化の繁栄に貢献するため、「門戸開放」の理念に基づいて、国内外から、国籍、人種、性別、宗教等を問わず、豊かな資質を持つ学生と教育研究上の優れた能力や実績を持つ教員を迎え入れる。それとともに、産業界はもとより、広く社会と地域との連携研究、研究成果の社会への還元や有益な提言等の社会貢献を積極的に行う。
- ・市民への開放講座、インターネットによる教育を積極的に推進するとともに、市民が学術文化に触れつつ憩 える環境に配慮したキャンパスづくりを行う。

# 学生歌·校友歌

半世紀以上に渡って親しまれてきた「青葉もゆるこのみちのく」を、平成 19年の創立百周年を機に正式に学生歌として制定した。また、平成25年には「緑の丘」を同窓生、在校生、教職員、そして東北大学を支えるすべての関係者のための歌である校友歌とし、今後、この2曲を大切に歌い継いでいくこととした。

#### 総長挨拶

#### はじめに

東北大学は1907年の建学以来、112年にわたり「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念、そして「実学尊重」の精神のもと、多くの指導的人材を輩出し、さらに世界的に卓越した研究成果によって人類の知の地平を拡大して、未来社会へ向けた変革・イノベーションを先導してきました。また、2017年6月には、世界の有力大学と伍していくことを使命とする「指定国立大学法人」の最初の三校に指定されました。

さて、私たちの世界は今、大きな変革期にあります。グローバリゼーションの 一層の進展や、第4次産業革命の進行、特に人工知能(AI)や IoT (Internet of Things)の急速な普及、生命科学の進展が、社会の在り方を根本的に変えつ つあります。また、国際社会の多極化、食糧問題、社会的格差の拡大など、日々 複雑さを増す国際情勢も多様な課題が顕在化しています。このような将来を見通せない変革期であるからこそ、私たちは、より豊かな未来社会をデザインし、その実現に向けた一歩を踏み出していかなければならないと考えています。



#### 最先端の創造、大変革への挑戦

本学は、2018年11月に東北大学が2030年にあるべき姿とそこに至る道筋を「東北大学ビジョン2030」として公表しました。「最先端の創造、大変革への挑戦」と題した本ビジョンは、現代社会における本学の役割に照らし、本学がその使命(ミッション)を果たすうえで、今後取り組んでいくべき挑戦についてまとめています。ビジョンの基本は、大変革時代の社会を世界的視野で力強く先導するリーダーを育成する「教育」、卓越した学術研究を通して知を創造しイノベーションの創出を力強く推進する「研究」、従来の社会連携と産学共創とを統合する「社会との共創」を柱として、これら3要素の好循環を、大学の「経営革新」を図ることで、より高い次元で実現することにあります。

#### 大変革時代の社会を先導する人材の育成

「教育」では、学生の挑戦心に応え、創造力を伸ばす教育として、未来社会に立ち向かうための基盤となる学士課程教育の新構築や創造的で活力のある研究者・高度専門人材を育成する大学院教育の展開など、12の施策を掲げました。この一貫として2019年度より全学教育プログラム「東北大学挑創カレッジ」を開講し、時代が要請する①グローバルマインドセット、② AI・データスキル、③アントレプレナーシップを身に付けるための実践教育を進めています。変革期を生きる学生諸君が、現代的なリベラルアーツを身につけ、その上で自らの「挑戦する心」を大きく伸ばす取組みを推進しています。

## 卓越した学術研究を通した知の創造

「研究」については、「世界三十傑大学」にふさわしい総合研究大学として、自由な発想に基づく基礎研究の推進および新興・分野融合研究の開拓、世界トップレベル研究の推進など、12の施策に取り組んでいます。4つの世界トップレベル研究の中では、東日本大震災を踏まえ、本学が世界に先駆けて創成すべき研究分野として「災害科学」とともに「未来型医療」を推進しています。これは、東北メディカル・メガバンク機構によって進めてきた世界初の大規模3世代コホート調査を未来の医療(個別化医療、個別化予防)へ展開するもので、2019年4月にライフサイエンス系8部局の参画の下、中心となる組織として「未来型医療創成センター」を整備しました。本学が世界的に卓越した強みを有する分野で世界トップレベルの研究力を発揮し、時代を画する新たな学問領域の開拓とイノベーションの創出を強力に進めています。

#### 多様なセクターとのパートナーシップによる新たな社会価値の創造

東北大学は建学の当初から民間および自治体等から大きな期待と支援を受け、社会とともに発展してきました。また、2011年の東日本大震災からの復興では、多様な領域の学知を基盤に貢献してきました。「社会との共創」では、このような活動と共に、戦略的産学共創の展開や校友ネットワークを核とした活力ある東北大学コミュニティの形成など、「社会とともにある大学」として、21の施策に取り組みます。産学共創では2018年12月に活動を開始したオープンイノベーション戦略機構が中心となり、スピントロニクス分野で先行して実績を挙げている「B-U-B (Business-University-Business)型連携(大学を核として異分野の多企業が参画する産学連携モデル)をライフサイエンス分野、マテリアルサイエンス分野へ戦略的に展開しつつあります。「実学尊重」の理念に基づいた知を基盤とする社会価値創造を通して、持続可能で豊かな未来社会へ向けた変革・イノベーションを先導していきます。

#### 新たな大学の姿を目指して

「教育」が新たな知を生み「研究」を発展させ、それらが「社会との共創」へと展開しさらに高度な「教育」が 実現するという好循環を基盤に、本学では、より大きな社会価値を持続的に生み出すために大学経営を革新し、 経営資源の多様化を図り指定国立大学法人にふさわしい新たな大学の姿を創出することに取り組んでいます。

予測困難な時代にあって、大学の果たす役割は重要性を増しています。既存概念の枠を超えて新たな価値を創造し、その応用展開によって社会変革・イノベーションを先導すること、地球規模の困難な課題に対して、多様な分野の知と人材の力をもって解決策を見出すことは、大学であるからこそ成し得ることです。

「最先端の創造、大変革への挑戦」は、東北大学および東北大学構成員一人一人の挑戦です。社会からの期待に応えるべく、力を尽くしてまいりますので、関係各位におかれましては、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年(2019年)7月 東北大学総長 大野英男

# 歴代総長

#### 歴代総長

代 数	氏 名	在任期間
初 代	澤柳政太郎	明治44(1911)年 3月24日~ 大正 2(1913)年 5月 8日
第 2 代	北條時敬	大正 2(1913)年 5月 9日~ 大正 6(1917)年 8月24日
(事務取扱)	小川正孝	大正 6(1917)年 8月25日~ 大正 6(1917)年10月14日
第 3 代	福原鐐二郎	大正 6(1917)年10月15日~ 大正 8(1919)年 6月20日
第 4 代	小 川 正 孝	大正 8(1919)年 6月21日~ 昭和 3(1928)年 6月14日
第 5 代	井 上 仁 吉	昭和 3(1928)年 6月15日~ 昭和 6(1931)年 6月14日
第 6 代	本 多 光太郎	昭和 6(1931)年 6月15日~ 昭和15(1940)年 5月30日
第 7 代	熊谷岱蔵	昭和15(1940)年 5月31日~ 昭和21(1946)年 2月11日
第 8 代	佐 武 安太郎	昭和21(1946)年 2月12日~ 昭和24(1949)年 3月31日
第 9 代	高橋里美	昭和24(1949)年 4月 1日~ 昭和32(1957)年 6月30日
第10代	黒川利雄	昭和32(1957)年 7月 1日~ 昭和38(1963)年 6月30日
第11代	石 津 照 璽	昭和38(1963)年 7月 1日~ 昭和40(1965)年10月 4日
(事務取扱)	元 村 勲	昭和40(1965)年10月 5日~ 昭和40(1965)年11月19日

代 数	氏 名	在任期間
第12代	本川弘一	昭和40(1965)年11月20日~ 昭和46(1971)年 2月 2日
(事務取扱)	水 野 弥 彦	昭和46(1971)年 2月 3日~ 昭和46(1971)年 4月30日
第13代	加 藤 陸奥雄	昭和46(1971)年 5月 1日~ 昭和52(1977)年 4月30日
第14代	前 田 四 郎	昭和52(1977)年 5月 1日~ 昭和58(1983)年 4月30日
第15代	石 田 名香雄	昭和58(1983)年 5月 1日~ 平成 元(1989)年 4月30日
第16代	大 谷 茂 盛	平成元 (1989)年 5月 1日~ 平成 2(1990)年 9月30日
(事務取扱)	吉 永 馨	平成 2(1990)年10月 1日~ 平成 2(1990)年11月 5日
第17代	西澤潤一	平成 2(1990)年11月 6日~ 平成 8(1996)年11月 5日
第18代	阿 部 博 之	平成 8(1996)年11月 6日~ 平成14(2002)年11月 5日
第19代	吉本高志	平成14(2002)年11月 6日~ 平成18(2006)年11月 5日
第20代	井 上 明 久	平成18(2006)年11月 6日~ 平成24(2012)年 3月31日
第21代	里 見 進	平成24(2012)年 4月 1日~ 平成30(2018)年 3月31日
第22代	大 野 英 男	平成30(2018)年 4月 1日~







第2代 北條時敬



第3代 福原鐐二郎



第4代 小川正孝



第5代 井上仁吉



第6代 本多光太郎



第7代 熊谷岱蔵



第8代 佐武安太郎



第9代 高橋里美



第10代 黒川利雄



第11代 石津照璽



第12代 本川弘一



第13代 加藤陸奥雄



第14代 前田四郎



第15代 石田名香雄



第16代 大谷茂盛



第17代 西澤潤一



第18代 阿部博之



第19代 吉本高志



第20代 井上明久



第21代 里見進

#### 沿革図

明治9(1876)年8月 札幌農学校 割立 農科大学 分離独立・北海道帝国大学 は明治40(1907)年6月 東北帝国大学 大定8(1919)年4月 大学令 朝和22(1947)年10月 昭和24(1949)年5月 東北大学 新制大学

> 昭和22(1947)年4月 農学部

| 昭和19(1944)年1月 | 非水溶液化学研究所 | 昭和20(1945)年1月 | 硝子研究所(ガラス研究所)

| 大正11(1922)年8月 | 昭和24(1949)年4月 | 法文学部 | 3学部に分立 |



正門(昭和初期)

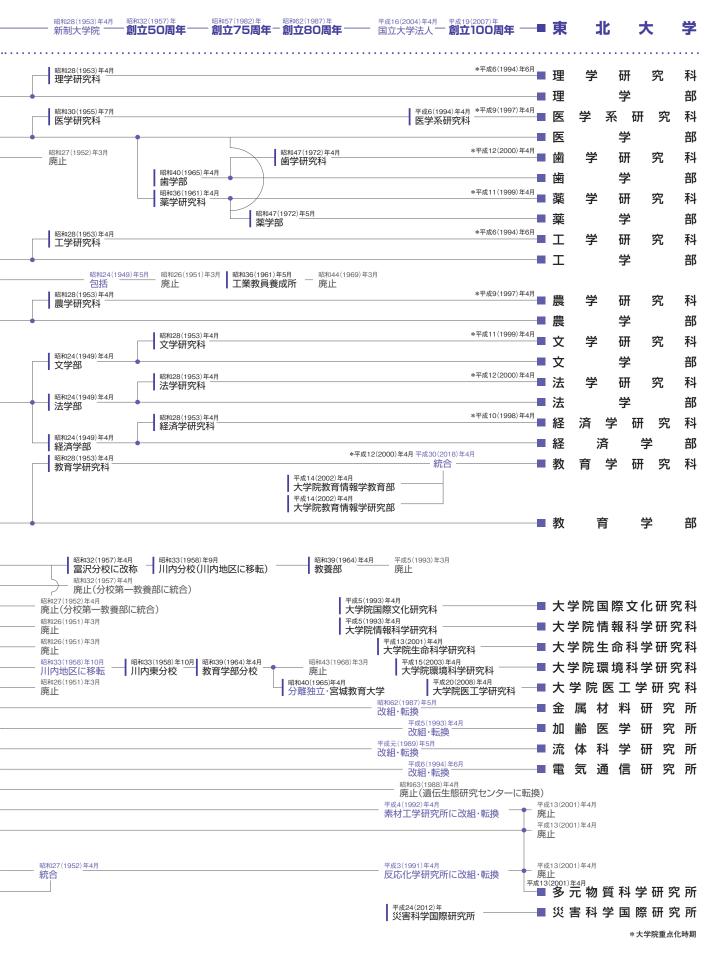


史料館(旧図書館・昭和初期)

昭和24(1949)<u>年5月</u> 教育学部 明治20(1887)年4月 第二高等中学校 昭和24(1949)年5月 昭和25(1950)年3月 包括 廃止 明治27(1894)年6月 第二高等学校大学予科 大正8(1919)年4月 第二高等学校 昭和24(1949)年6月 分校第一教養部 | 昭和24(1949)年6月 | 分校第二教養部 昭和24(1949)年6月 分校第三教養部 大正15(1926)年4月 宮城県女子専門学校 昭和24(1949)年5月 併合 明治19(1886)年4月 明治31(1898)年4月 ▲ 昭和18(1943)年4月 **宮城師範学校** 昭和24(1949)年5月 - 明治31(1898)年4月 **宮城県師範学校** 一包括 宮城県尋常師範学校 | 日本の日本学校 | 日本 大正2(1913)年4月 **宮城県女子師範学校** 大正11(1922)年8月 金属材料研究所 大正8(1919)年5月 **附属鉄鋼研究所** 昭和16(1941)年12月 抗酸菌病研究所 昭和18(1943)年10月 高速力学研究所 昭和14(1939)年8月 農学研究所 昭和16(1941)年3月 選鉱製錬研究所 昭和18(1943)年1月 科学計測研究所 昭和18(1943)年10月 航空医学研究所 昭和21(1946)年1月 一廃止

片平キャンパス 正門

(令和元年7月現在)



# ノーベル賞受賞者

受賞年	氏 名	部局 (誉博…名誉博士)	受 賞 理 由			
1987年	ハンス・ハインリッヒ・ローラー	金属材料研究所(客)、營博	走査型トンネル電子顕微鏡の開発			
1999年	アハメッド・ズウェイル	ユニバーシティプロフェッサー、誉博	化学反応の超短時間解析技術の開発			
2002年	田 中 耕 一	工 学 部 、 誉 博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発			
2007年	ピーター・グリュンベルグ	ユニバーシティプロフェッサー、金属材料研究所(客)、誉博	巨大磁気抵抗効果 (GMR)の発見			
2011年	ダニエル・シェヒトマン	ユニバーシティプロフェッサー	準結晶の発見			

# 文化勲章受章者、文化功労者

又化熟早!	<b>党</b> 草者、 义化切象	方百		文化勲章受章者 33名・文化功労者 52名
文化勲章受章	文化功労者	氏 名	部局	主な業績
昭和12年	昭和26年	本 多 光太郎	金属材料研究所	鉄に関する金属物理学研究、特に KS 鋼・新 KS 鋼の発明
昭和19年	昭和26年	岡 部 金治郎	工 学 部	分割陽極マグネトロンの発見等の極超短波に関する研究
昭和21年		宮 部 金 吾	農科大学	植物病理学の基礎構築と北方における植物の新種発見
昭和24年	昭和26年	真島利行	理 学 部	漆等の天然物有機化学の研究
昭和24年	昭和26年	岡田武松	理 学 部(併)	気象学の先駆的研究と気象予報体制の整備
昭和25年	昭和26年	田 辺 元	理 学 部	絶対弁証法による田辺哲学体系を確立
昭和25年	昭和26年	土井晩翠	法 文 学 部	雄渾な漢文調に思想を含めた詩風を確立
昭和27年	昭和27年	熊谷岱蔵	医 学 部	膵ホルモンのインシュリン発見と結核医学の研究
昭和28年	昭和27年	矢 部 長 克	理 学 部	糸魚川・静岡地質構造線提唱等の地質学・古生物学研究
昭和28年	昭和27年	宇井伯寿	法 文 学 部	近代的インド哲学研究の基礎を構築
昭和29年	昭和29年	萩 原 雄 祐	理 学 部	天体力学の研究および天文台の整備充実
昭和30年	昭和30年	増 本 量	金属材料研究所	不銹不変鋼をはじめとする特殊合金に関する研究
昭和31年	昭和31年	村 上 武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究、村上試薬の発明
昭和31年	昭和31年	八木秀次	工 学 部	八木アンテナ発明等の電気工学研究
昭和32年	昭和28年	山田孝雄	法 文 学 部	日本語文法の理論的体系化
昭和33年	昭和33年	野 副 鉄 男	理 学 部	ヒノキチオールおよび関連有機化合物の研究
昭和34年	昭和34年	吉田富三	医 学 部	がんの発生・成長過程の研究、吉田肉腫瘍の発見
昭和39年	昭和39年	茅 誠 司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究および戦後学術研究体制刷新の推進
昭和40年	昭和40年	赤堀四郎	理 学 部	アミノ酸等に関する生物有機化学研究
昭和43年	昭和43年	黒川利雄	医 学 部	がんの研究とがん集団検診の創始者
昭和46年	昭和46年	安井琢磨	経済 学部	我が国の近代経済学の発展に貢献
昭和48年	昭和37年	石 原 謙	法 文 学 部	キリスト教史の研究
昭和50年	昭和50年	広中平祐	理 学 部(併)	代数幾何学の研究、特に代数多様体の特異点解消
昭和59年	昭和54年	高橋信次	医 学 部	X線 CT の基礎となる回転横断撮影法の開発等の放射線医学研究
昭和62年	昭和54年	桑原武夫	法 文 学 部	人文科学百般にわたりスケール大きく行動した学者・文化人
平成 元 年	昭和58年	西澤潤一	電気通信研究所	トランジスタ、半導体、ダイオードおよび光通信三大要素に関する研究
平成 14年	平成 14年	田中耕一	工学部、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
平成 19年	平成11年	中西香爾	理 学 部	機能性天然物有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
平成20年	平成 14年	ドナルド・キーン	文学部(客)、誉博	日本文学・文化の研究および海外への紹介・解説
平成21年	昭和61年	日沼頼夫	歯 学 部	成人T細胞白血病のウィルス病因に関する研究
平成21年	平成 15年	飯島澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
平成24年	平成 19年	小 田 滋	法 学 部	国際法学の研究、国際司法裁判所裁判官として国際貢献に尽力
平成25年	昭和62年	岩崎俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録等の電子工学研究
	昭和29年	松村松年	農科大学	昆虫学全般に関する研究
_	昭和33年	高橋里美	法 文 学 部	哲学、特に包弁証法等を通して独自の思想体系を展開
	昭和34年	伊藤誠哉	農科大学	我が国の作物病害と菌類に関する植物病理学研究
	昭和35年	武内義雄	法 文 学 部	中国哲学、特に老子に関する研究
	昭和38年	原 龍三郎	非水溶液化学研究所	液体アンモニア・青化物および非水溶液化学の応用に関する応用化学研究
<del>-</del>	昭和40年	真島正市	理科大学	計測工学、特に高速衝撃破壊に関する研究
_	昭和45年	渡辺寧	工 学 部	二重帰還増幅器・仙台放電管等の電磁機器発明・電子工学の先駆的研究
<del>-</del>	昭和51年	坂村 徹	農科大学	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
<del>-</del>	昭和51年	沼 知 福三郎	高速力学研究所	機械工学、特に翼型のキャビテーション性能に関する研究
<del>-</del>	昭和53年	武井武	理 学 部	酸化金属磁性材料に関する研究、特に OP 磁石の発明
_	昭和60年	金倉圓照	文 学 部	インド哲学、特にインド中世精神史
	平成 4 年	今 井 勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する金属学研究
	平成 4 年	島田謹二	法文学部	日本における外国文学の比較文学研究
<del>-</del>	平成12年	横堀武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究
<del>-</del>	平成12年	増 本 健	金属材料研究所	アモルファス金属に関する基礎的および応用的研究
<del>-</del>	平成 15年	岩田靖夫	文 学 部	哲学、ギリシア倫理思想、特にプラトン、ソクラテス研究
<del>-</del>	平成 18年	伊藤英覺	高速力学研究所	曲がり管・回転管の流動における管摩擦抵抗法則の確立
<del>-</del>	平成19年	櫻井英樹	理学部	有機ケイ素化学を学問体系として確立
<del>-</del>	平成23年	遠藤章	農学部	高コレステロール血症の治療薬スタチンを開発
_	平成25年	好 岡 富士雄	電気通信研究所	フラッシュメモリの発明

# 日本学士院会員

選定年月日		氏 名				部 局					
大正 11年 12月		本	多		太郎	余	属材				所
	27日	藤	原		三郎	理	n=u 15	学		- 0	部
	27日	——— 矢	部	長	克	理					部
大正 15年 5月		真	島	利	· 行	理		· 学			部
昭和 7年 3月		神	 津	俶	—— 祐	理					部
	   31日	掛	·· 谷	宗	_	理		· 学			部
	23日	加	藤	武	—— 夫	理		- 学			部
昭和 12年 5月		大	類		伸	法	 文	_	学		部
昭和 12年 12月		片	山	正	··· 夫	理		学	_		部
	27日	柴	田		太	農	科	1	大		学
	30日	武	内	義	雄	法	· خ		学		部
 昭和 18年 12月	11日	熊	谷	岱	蔵	医		学			部
昭和 19年 7月		萩	原	雄	祐	理		· 学			部
昭和 20年 12月		宇	井	伯	寿	法	文	_	学		部
昭和 21年 2月		布	施		之助	医		学			部
昭和 22年 2月		田	辺		元	理		- 学			部
昭和 22年 6月	25日	阿	部	次	郎	法	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		学		部
 昭和 22年 6月	25日	窪	田	忠	彦	理		学			部
 昭和 22年 7月	19日	河	村	又	介	法	文		学		部
昭和 22年 10月	1日	雨	宮	育	作	農	学	研	3	Ť	所
昭和 24年 10月	5日	土	居	光	知	法	文	ζ.	学		部
昭和 25年 10月	6日	伊	藤	誠	哉	農	科	1	大		学
昭和 25年 10月	6日	小田	门谷	操	Ξ	法		学			部
昭和 25年 10月	6日	佐	武	安力	大郎	医		学			部
昭和 25年 10月	6日	高	橋	里	美	法	艾	7	学		部
昭和 25年 10月	6日	真	島	正	市	理	科	ł	大		学
昭和 25年 10月	6日	松	村	松	年	農	科	1	大		学
昭和 25年 10月	6日	村	上	武	欠郎	金	属材	十料	研	究	所
昭和 26年 10月	17日	小	宮	豊	隆	法	艾		学		部
昭和 26年 10月	17日	八	木	秀	次	I		学			部
昭和 28年 10月	22日	青	木	正	児	法	艾		学		部
昭和 28年 10月	22日	石	原		謙	法	文		学		部
昭和 28年 10月	22日	長名	部	言	人	医		学			部
昭和 32年 3月	12日	田	中	義	麿	農	科	1	大		学
昭和 32年 3月	12日	原		龍三	三郎	非	水溶	夜化	学品	开究	所
昭和 33年 3月	12日	鮫	島	実	三郎	理		学			部
昭和 35年 4月	12日	加	藤	豊治	台郎	医		学			部
昭和 35年 4月	12日	勝	本	正	晃	法		学			部
昭和 35年 4月	12日	増	本		量	金	属材	村料	研	究	所
昭和 36年 12月	12日	茅		誠	司	金	属材	十料	研	究	所
昭和 38年 2月	12日	金	倉	圓	照	文		学			部
昭和 39年 2月	12日	赤	堀	匹	郎	理		学			部
昭和 39年 2月	12日	坂	村		徹	農	科	1	大		学
昭和 39年 2月	12日	田	岡	良	-	法	艾		学		部
昭和 39年 2月	12日	中	Ш	善元	之助	法		学			部

選定年月日 昭和 40年 1月 12日					
	岡	氏 崎	· 名 義	恵	部     局       文     学
昭和 40年 1月 12日	黒	اال	利	雄	医学部
昭和 40年 1月 12日	吉	田	富	=	医学部
昭和 40年 11月 12日	沼	知		 三郎	高速力学研究所
昭和 41年 11月 12日	小	)II	鼎	Ξ	医 学 部
昭和 41年 11月 12日	堀	,,,	経	 夫	法文学部
昭和 42年 11月 13日	木	村	亀	=	法学部
昭和 42年 11月 13日	清	宮	四四	郎	法 学 部
昭和 43年 11月 12日	=	宅		_	文 学 部
昭和 43年 11月 12日	本	 ]]]	弘	_	医 学 部
昭和 45年 11月 12日	<b>半</b>	沢	344		農科大学
昭和 49年 12月 12日		竹	無	二雄	理学部
昭和 49年 12月 12日	山	本	義		理学部
昭和 51年 11月 12日	広	中	平	祐	理学部(併)
昭和 51年 11月 12日	新	· 明	正		文 学 部
昭和 51年 11月 12日	杉		捷	<del>~</del> 夫	法文学部
昭和 51年 11月 12日	高	柳	真	Ξ	法 学 部
 昭和 52年 11月 12日	岡	本	耕	造	医 学 部
 昭和 52年 11月 12日	永	井	健	Ξ	工 学 部
 昭和 52年 11月 12日	野	副	鐵	男	理 学 部
昭和 52年 11月 12日	柳	瀬	良	幹	法 学 部
昭和 54年 11月 12日	今	井	勇	 之進	金属材料研究所
昭和 54年 11月 12日	鳥	山	匹	男	工 学 部
昭和 56年 12月 12日	高	橋	信	次	医 学 部
昭和 58年 12月 12日	矢	島	羊	吉	文 学 部
昭和 60年 11月 12日	加	藤	愛	雄	理 学 部
昭和 61年 12月 12日	熊	谷	尚	夫	経 済 学 部
平成 元年 12月 12日	小	Ш	環	樹	法 文 学 部
平成 4年 12月 14日	辻			廣	工学部(併)
平成 6年 12月 12日	伊	藤	英	覺	高速力学研究所
平成 6年 12月 12日	小	田		滋	法 学 部
平成 7年 12月 12日	西	澤	潤	_	電気通信研究所
平成 8年 12月 12日	横	堀	武	夫	工 学 部
平成 9年 12月 12日	樋	渡	宏	_	理 学 部
平成 10年 12月 14日	鈴	木	禄	彌	法 学 部
平成 12年 12月 12日	樋		陽	-	法 学 部
平成 13年 12月 12日	源		了	圓	文 学 部
平成 14年 12月 12日	金	谷		治	文 学 部
平成 15年 12月 12日	岩	崎	俊	-	電気通信研究所
平成 18年 12月 12日	田	中	耕	_	工学部、誉博
 平成 18年 12月 12日	井	上	明	久	金属材料研究所
1/20 10 1 12/3 12 12	小	山	貞	夫	法 学 部
平成 22年 12月 13日		_			
	飯	島	澄	男	科学計測研究所
平成 22年 12月 13日	飯藤	島田	澄宙	男靖	科学計測研究所法 学 研 究 科

# 日本学士院賞受賞者

	п. А	<b>☆</b> 77 🖻	立 崇 田 十
学士院賞受賞	氏 名	部局	受 賞 理 由
第 4 回 大正 3 年	日下部 四郎太	理科大学	岩石の力学的研究
第 6 回 大正 5 年	本多光太郎	理科大学	鉄に関する研究
第 7 回 大正 6 年	真島利行	理科大学	漆の主成分に関する研究 ************************************
○ 第 8 回 大正 7 年	柴田桂太	農科大学	植物界に於けるフラヴォン体の研究
○ 第 9 回 大正 8 年 第 0 回 士正 8 年	石原純	理学部	相対性原理、万有引力論及び量子論の研究
第 9 回 大正 8 年	市川厚一	農 科 大 学 医 学 部	癌腫の人工的発生研究(共同研究)
○ 第 1 1 回 大正 10年 第 1 1 回 大正 10年	布施 現之助 松本 彦七郎	医     学       理     学       部	脳の解剖的研究 蛇尾綱(クモヒトデ)の研究
第 1 5 回 大正 14年	畑井新喜司	理学部	白鼠に関する研究
△ 第 1 5 回 大正 1 4 年	曾禰 武	金属材料研究所	気体の磁気係数の測定
△ 第17回 昭和2年	村上武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究
○ 第18回 昭和3年	掛谷宗一	理 学 部	連立積分方程式及び之に関連せる函数論的研究
第21回昭和6年	宇井伯寿	法文学部	印度哲学研究(全六巻)
第21回昭和6年	増 本 量	金属材料研究所	強磁性元素及び其の合金の物理冶金学的研究
△ 第22回 昭和7年	宇田新太郎	工 学 部	超短波長電波の研究
△ 第23回 昭和8年	野村博	理学部	生薑の辛味成分の研究
第24回昭和9年	田所芳秋	理 学 部	耐火物に関する研究
第25回昭和10年	海野三朗	理 学 部	鉄炭素系合金の比熱及び其の諸相の変化に伴う熱量に関する研究
○ 第26回 昭和11年	吉田富三	医 学 部	o-Amidoazotoluol の経口的投与による肝臓癌成生の実験的共同研究
△ 第26回 昭和11年	星野敏雄	理 学 部	インドールの誘導体の合成的研究
第30回 昭和15年	菊 田 多利男	臨時理化学研究所	鋳鉄の研究
○ 第31回 昭和16年	岡 部 金治郎	工 学 部	磁電管に関する研究
第31回 昭和16年	尾 形 輝太郎	理 学 部	感光色素合成に関する研究
第32回 昭和17年	茅 誠 司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究
第33回 昭和18年	木原玉汝	医 学 部	樟脳の強心作用の本態に関する研究(共同研究)
第 3 4 回 昭和 19年	小 竹 無二雄	理 学 部	<b>蟇毒の化学的研究</b>
第 3 4 回 昭和 19年	寺 尾 博	農学研究所	水稲冷害の生理学的研究
○ 第36回 昭和21年	増 本 量	金属材料研究所	異常特性を有する鉄合金の研究
第37回 昭和22年	真島正市	理科大学	高速衝撃破壊とこれに関連せる二三の現象
第40回 昭和25年	沼 知 福三郎	工 学 部	翼型のキャビテーション性能に関する研究
第41回 昭和26年	小川鼎三	医 学 部	錐体外路系に関する研究(共同研究)
第42回 昭和27年	鮫 島 實三郎	理 学 部	膠質学に関する研究
第43回 昭和28年	金倉圓照	文 学 部	印度中世精神史
第43回 昭和28年	野副鐵男	理 学 部	ヒノキチオール及びその関連化合物に関する研究
第43回 昭和28年	成 瀬 政 男	工 学 部	歯車に関する研究(共同研究)
○ 第43回 昭和28年	吉田富三	医 学 部	吉田肉腫の病理学的研究
第44回 昭和29年	本 川 弘 一	医 学 部	脳電図の研究
第45回 昭和30年	金倉圓照	文 学 部	西蔵撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	山田龍城	文 学 部	西蔵撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	羽田野 伯 猷	文 学 部	西蔵撰述仏典目録(共同研究)
第45回昭和30年	多田等観	文 学 部	西蔵撰述仏典目録(共同研究)
第 4 5 回 昭和 30 年	赤堀四郎	理 学 部	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究
第 4 6 回 昭和 31 年	堀 一郎	文 学 部	我が国民間信仰史の研究
第 4 7 回 昭和 32年	折 茂 豊	法 学 部	国際私法の統一性
○ 第 4 7 回 昭和 32 年	中村元	文 学 部	初期のヴェーダーンタ哲学
第49回 昭和34年	高田修	文 学 部	居庸関(共同研究)
○ 第 5 0 回 昭和35年	高田修	文 学 部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
○ 第 5 0 回 昭和35年	宮 次 男	文 学 部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)  (英温度における路線を休の世際などを低温における路線の研究
第50回 昭和35年 第51回 昭和36年	神田英蔵	理     学       エ     学       部	低温度における疑縮気体の性質及び極低温における磁性の研究  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	佐藤知雄		鉄鋼中の炭化物に関する研究  一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
第51回 昭和36年 第53回 昭和38年	機 永吉 関口春次郎	農科大学金属材料研究所	亜熱帯における稲の育種に関する研究     鋼の溶接棒ならびに炭酸ガス酸素アーク溶接法に関する研究
第53回 昭和38年 第57回 昭和42年	今 井 勇之進	金属材料研究所	調の各技権なりいに灰酸ガス酸系アージ合技法に関する研究 鉄鋼の熱処理加工に関する基礎研究
第 5 8 回 昭和43年	カー・カー・男と進した。 加・藤・愛・雄	理 学 部	対戦の窓処理加工に関する基礎研究   地磁気の変化磁場の測定とその微細変動の原因に関する研究
第 5 8 回 昭和 43年	神立誠	農学研究所	型域
第59回 昭和44年	宮田光雄	法学部	及 時間 が 月 に に 対 り る 職 七 玉 焼 の 核 形 に 関 り る 土 に 子    り 切 元
- お 0 0 日 中心サナナ	ロロルル雑	~ 구 마	ロ・・ノンガルで円足

# 日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏 名	部 局	受 賞 理 由
第59回昭和44年	水 島 宇三郎	農 学 部	ジュウジバナ科アブラナ類の核遺伝学的研究
第 6 0 回 昭和 45 年	山本義一	理 学 部	大気放射の研究
第 6 0 回 昭和 45 年	広中平祐	理 学 部(併)	代数的多様体の研究
第61回 昭和46年	横堀武夫	工 学 部	金属材料の強度に関する研究(共同研究)
第62回 昭和47年	岡 本 耕 造	医 学 部	糖尿病と高血圧症の基礎的研究
第63回 昭和48年	西山善次	金属材料研究所	合金のマルテンサイト変態に関する研究
第 6 4 回 昭和 49年	西澤潤一	電気通信研究所	半導体及びトランジスタに関する研究
第65回昭和50年	北住敏夫	文 学 部	写生説の研究、写生派歌人の研究、写生俳句及び写生文の研究
第65回 昭和50年	樋口陽一	法 学 部	近代立憲主義と現代国家
第65回昭和50年	伊藤英覺	高速力学研究所	管内流れ特に曲がり管内の流れに関する流体力学的研究
第65回昭和50年	久保田 尚 志	理 学 部	植物の苦味物質に関する研究
※ 第 6 7 回 昭和52年	髙橋信次	医学部	X線による生体病理解剖の研究
第67回 昭和52年			日本における外国文学一比較文学研究一
第67回 昭和52年	赤祖父俊一		磁気圏攪乱の研究
第69回 昭和54年	佐藤武敏	法 文 学 部	中国古代絹織物史研究
第70回 昭和55年	亀 谷 哲 治	薬学部	「レトロマススペクトル法」による天然物の全合成
第71回昭和56年	木下彰	経済学部	名子遺制の構造とその崩壊一農村における封建的労働の構造分析一
※ 第72回 昭和57年	角谷静夫	理 学 部	函数解析の研究
第73回昭和58年	増 本 健	金属材料研究所	アモルファス金属テープの創製とその基礎的および応用的研究
第77回昭和62年	石田 名香雄	医 学 部	センダイウィルスの発見及びその構造と機能に関する研究
第77回昭和62年	岩崎俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録の研究
第77回昭和62年	坪 井 善 勝	工 学 部	曲面構造の研究と大空間建築構造への適用
◎ 第78回 昭和63年	沼 田 眞	農学研究所(併)	植物群落の構造と動態に関する研究とその応用
※第79回平成元年	日沼頼夫	歯 学 部	成人T細胞白血病のウイルス病因に関する研究
※第80回平成2年	中 西 香 爾	理 学 部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
第80回 平成2年	辻 廣	工 学 部(併)	火炎の構造および基礎的特性の研究
第82回 平成4年	鈴 木 秀 次	金属材料研究所	固体ヘリウムの塑性変形及び機械的性質の転位論的研究
第83回 平成5年	山 本 肇	歯 学 部	レーザー照射による齲蝕予防その他歯科応用に関する研究
第83回 平成5年	多田啓也	医 学 部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
第83回 平成5年	菊 地 吾 郎	医 学 部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
※ 第84回 平成6年	櫻 井 英 樹	理 学 部	有機ケイ素化学に関する研究(共同研究)
第84回 平成6年	丸 山 雍 成	文 学 部	日本近世交通史の研究
第88回 平成10年	杉原高嶺	法 学 部	国際司法裁判制度
※ 第 9 2 回 平成 14年	飯島澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
◎ 第92回 平成14年	栗 原 康	理 学 部	生態系解析手法の研究とその環境保全への応用
第92回 平成14年	井 上 明 久	金属材料研究所	過冷却金属液体の安定化とバルク金属ガラスの開拓
第92回 平成14年	日向康吉	農 学 部	アブラナ科植物の自家不和合性にかかわる自他識別機構の研究(共同研究)
第93回 平成15年	岡 本 宏	医学系研究科	実験糖尿病の発症とその防止に関する研究
第93回 平成15年	遠藤實	医 学 部	筋細胞におけるカルシウム・イオン動員機構に関する研究
※ 第94回 平成16年	安 元 健	農 学 部	海洋生物毒の化学とそれらの毒物の海洋生態系における動態解析
第95回 平成17年	大 野 英 男	電気通信研究所	半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究(共同研究)
第96回 平成18年	鈴 木 厚 人	理学研究科	反ニュートリノ科学の研究
第 9 7 回 平成 19年	加藤康司	工学研究科	トライボロジーに関する研究(共同研究)
第97回 平成19年	平 朝彦	理 学 部	プレート沈み込み帯の付加作用による日本列島形成過程の研究
※ 第99回 平成21年	村 上 哲 見	文 学 部	宋詞に関する研究
第99回 平成21年	川人貞史	法 学 研 究 科	「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」
第100回 平成22年	大 類 洋	生命科学研究科	新規生物機能性分子の創製とその応用に関する研究(共同研究)
◎ 第100回 平成22年	西平守孝	生命科学研究科	沖縄を中心とした我が国のサンゴ礁の形成と保全の研究
第103回 平成25年	中沢正隆	電気通信研究所	エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献
第103回 平成25年	佐藤英明	農学研究科	哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究
第104回 平成26年	山本雅之	医学系研究科	生体の環境ストレス応答の分子機構の解明
第104回 平成26年	首 藤 伸 夫	工 学 部	津波防災の総合的研究
第105回 平成27年	鈴 木 雅 洲	医 学 部	ヒト体外受精・胚移植の確立と普及に関する研究
※ 第107回 平成29年	長谷川昭	理学研究科	沈み込み帯のテクトニクスに関する地震学的研究
第107回 平成29年	横堀壽光	工学研究科	メゾスケール力学に基づく材料の疲労および時間依存型強度学の基礎理論とその実用に関する研究
第109回 令和元年	平間正博	理学研究科	シガトキシンを始めとする複雑な構造を有する生理活性天然物の全合成研究
		/0 11	

<sup>○</sup>は恩賜賞のみ受賞 ※は恩賜賞及び学士院賞両方を受賞 ③日本学士院賞エジンバラ公賞のみ受賞者 △日本学士院大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞のみ受賞者

#### 総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

授賞年月日	氏 名	職名等	授 賞 理 由						
平成29年 3月24日	遠藤哲郎	国際集積エレクトロニクス研究 開 発 セ ン タ ー 長 エ 学 研 究 科 教 授	平成28年8月26日に「高性能不揮発性メモリとその評価・製造装置の開発、及び国際産 学連携集積エレクトロニクス研究開発拠点の構築」を対象として、産学官連携活動におい て、優れた成功事例を納めた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最 高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞した。						
平成26年 3月26日	山本雅之	医 学 系 研 究 科 教 授 東北メディカル・メガバンク機構長	平成26年3月12日に「生体の環境ストレス応答の分子機構の解明」を受賞題目として、 「平成26年日本学士院賞」の受賞が決定したため。						
平成25年 3月27日	佐藤英明	農 学 研 究 科 教 授	平成25年3月12日に「哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。						
平成25年 3月27日	中沢正隆	電気通信研究所所長・教授	平成25年3月12日に「エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度 化に関する貢献」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。						
平成21年 9月25日	中沢正隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。						
平成21年 3月25日	川人貞史	法 学 研 究 科 教 授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受 賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。						
平成19年 3月27日	加藤康司	工 学 研 究 科 教 授	平成 19年3月 12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成 19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。						
平成18年 9月25日	井 上 明 久	金属材料研究所所長 · 教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。						
平成18年 7月31日	小 柳 光 正	工 学 研 究 科 教 授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。						
平成18年 3月24日	鈴木厚人	副学長・理学研究科教授	平成 18年3月 13日に 「反ニュートリノ科学の研究」 を受賞題目として、「平成 18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。						
平成17年11月26日	小 谷 元 子	理学研究科教授	平成 17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。						
平成17年 6月29日	大 野 英 男	電気通信研究所教授	平成 17年6月 13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成 17年日本学士院賞」を受賞したため。						

#### 総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。 平成30年度

氏名	・団体名	職名等	授 賞 理 由
谷山	1 洋三	文学研究科 准教授	世界的に前例のない諸宗教協働型の日本版チャプレン「臨床宗教師」養成のための各種プログラムを開発するとともに、「臨床宗教師研修」、履修証明プログラム「臨床宗教教養講座」「臨床宗教実践講座」などを通してその分野における人材の育成に大きく貢献した。
金	熙珍	経済学研究科 准教授	学部の「国際経営演習」において、海外ゼミ合宿と IB インカレ (International Business Studies Intercollege Competition)への参加を通じて、英語論文の作成・英語での発表の指導等、実践的な国際経営の教育に取り組んできた。全国から約30のゼミが参加する IB インカレには、毎年2チームが参加し、2015 年はベスト・ブレゼン賞を、2016年には審査委員特別賞を受賞した。
洪	光	歯学研究科 准教授	歯学研究科国際連携部門の責任者として、優れた企画力・マネジメント力を発揮し、卓越した語学力を駆使し、海外学術交流協定校の拡大・連携強化及び国際共同教育プログラムの開発・運用、さらに異分野融合での国際産学官協働の推進を図り、学部・大学院教育研究の充実、マルチモーダルな歯科医療人材・グローバルリーダーの確保・育成に大きく貢献した。
三上	恭訓	工学研究科 技術専門職員	安全衛生教育において、講義による知識習得に加えて実習等の受講者体感型要素を導入したカリキュラムの開発・実践をしている。 また、留学生・外国人研究者に対して上記安全衛生教育の英語コースを開講している。これらの取り組みは、安全衛生教育の充実化、安全性の継続的な向上に大きく貢献した優れたものである。

#### 総長賞受賞者 平成30年度

本学の教育目標にかない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士													
松	井	美	樹	文	学	部	上	池	梨	紗	医	学	部
瀧	本	萌	乃	文	学	部	有	馬	実	咲	歯	学	部
大	沼	竜	也	教	育 学	部	野	田	健	太	薬	学	部
伊	藤	拓	海	法	学	部	中	塚	聡	平	I	学	部
根	岸	怜	那	法	学	部	吉	田	-	貴	I	学	部
小	林	康	希	経	済 学	部	齊	藤	悠	_	I	学	部
荻	野	貴	清	経	済 学	部	藤	井		諒	I	学	部
横	山		翼	経	済 学	部	赤	松	昇	馬	I	学	部
佐	藤		響	理	学	部	桑	田	彩	加	I	学	部
赤	池	瑞	生	理	学	部	梁		生	平	I	学	部
中	島	裕	隆	理	学	部	外	里	健	太	I	学	部
金	丸	耕	也	医	学	部	木	村	光	来	農	学	部
森		健力	郎	医	学	部	中	野	芙萝	₹香	農	学	部

11多工				
佐	藤	芳	樹	工学研究科
Ш	森	弘	晶	工学研究科
安	藤	素	子	工学研究科
市	野	真	也	工学研究科
前	野	優香	理	農学研究科
荒	井	俊	太	情報科学研究科
林		あか	ね	医工学研究科
専門職	哉			
後	藤		紺	法学研究科
博士				
菊	地	恵	太	文学研究科
崔		敏	奎	教育学研究科
李		銀	星	経済学研究科
小	野		淳	理学研究科
髙	野	智	也	理学研究科

青	木	拓	磨	理学研究科
前	田	郁	也	理学研究科
丹	治	史	也	医学系研究科
元	木	康	介	医学系研究科
黒羽	羽根		壮	歯学研究科
澤	藤		司	薬学研究科
津	田	慎-	一郎	工学研究科
杉	岡	洋	介	工学研究科
永	井	宏	樹	工学研究科
姉	帯	勇	人	工学研究科
唐		楓	梟	情報科学研究科
衞	藤		貫	生命科学研究科
阿	部	博	弥	環境科学研究科
佐	藤	典	子	教育情報学教育部

#### 総長優秀学生賞受賞者 平成30年度

日本学術振興会育志賞受賞者を表彰するものです。

渡 部 花奈子 工学研究科

#### 総長研究支援技術賞受賞者

優れた研究支援を行い研究成果の創出に顕著な貢献があった技術職員を表彰するものです。

#### 平成30年度

1 170 1 12	-		
氏名・団体名	職名等	授 賞 題 目	授 賞 理 由
理学研究科 ニュートリノ科 室	学研究センター技術	宇宙・素粒子の謎を解くニュートリノ 研究に関する技術支援	ニュートリノ科学研究センターが推進するニュートリノ実験、特に KamLAND 実験の実現や性能向上における技術支援を継続的に行い、種々の装置を製作・運用する等、 KamLAND グループの数々の成果や世界的な賞の受賞に大きな貢献を果たした。
医学系研究科	主任臨床検査技師 末田 輝子	動物実験倫理教育を組み込んだ外科 手術トレーニング技術支援	ブタを用いた外科手術トレーニングにおける倫理的、人道的な動物の取扱いとして、不安、恐怖感及び苦痛を軽減する福祉的順化に取り組み、さらにその飼育管理技術を動物福祉教育の実践教材として活用し初期研修医のトレーニングプログラムの構築に多大な貢献を果たした。

#### 学友会長賞受賞者 平成30年度

入部から卒部までの間の成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

部・団体名		氏	名	
混声合唱部	荒	城	里	美
E.S.S.部	平	沢	杏	樹

部	・団体	名		氏	名	
卓	球	部	佐	藤	泰	史
漕	艇	部	西	原		佳

Ì	部•団体名				氏	名				
Ī	ボディビル部	松		井			太		基	
Ī	オリエンテーリング部	伊	佐	野			は	る	香	
i	オリエンテーリング部	高		橋			友	理	奈	

#### 東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

授賞年度	氏	名	部 局	授賞年度	
	そう 曾	えい 睿	文学研究科		- t
	李翁		経済学研究科		2
平成30年	至 引	「 はま 豪	工学研究科	平成28年	β
	王 信	捷	環境科学研究科		2
	楊		医工学研究科		=
	こう て 黄 頻		経済学研究科		2
平成29年	李	が、対外	理学研究科		L
十八八〇年	きょう	妹	医学系研究科	平成27年	< Interest
	おん た		工学研究科		ž

授賞年度	氏 名	部 局
	盛 福 剛	経済学研究科
	李静	理学研究科
平成28年	りく ゆき きん <b>陸</b> 雪 琴	工学研究科
	す 関 意	環境科学研究科
	于凱鴻	医工学研究科
	李月珊	文学研究科
	しゅえ     じん <b>韓 婦</b>	理学研究科
平成27年	ぐぉ うぇい 郭 <b>威</b>	工学研究科
	まう ほう ひ	情報科学研究科
	ふぁん よん 樊 涌	環境科学研究科

授賞年度	氏 名	部 局
	を きょう けつ 潔	文学研究科
	う	医学系研究科
平成26年	劉恢弘	工学研究科
	カル ちん うぇぃ	生命科学研究科
	うー しょう よ	環境科学研究科
	彭 寧 寧	理学研究科
平成25年	そん しょ らん 孫 舒 嵐	医学系研究科
	許が流	工学研究科
	D1 754	

## 澤柳記念賞(澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞)受賞者

「澤柳記念賞」は、男女共同参画社会をめざす活発な取り組みの一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍 し、多大な貢献をなした方々を選考し顕彰する制度です。

	氏名·団体名	職名等	5	受賞部門		受 賞 課 題 名
	九州大	学 研 究 戦 略 委 員 会	本		賞	「女性枠設定による教員採用・養成システム」による先導的取組の推進とその成果
平成30年	大阪府立大学理系女子大学院生チームIRIS			励	賞	理系女子大学院生チーム IRIS(アイリス)による地域における理系進路支援の取り組み
	小川 眞里子	三 重 大 学 名 誉 教 授	本		賞	科学技術とジェンダー: 歴史と展望の探求
平成29年	古山 陽一	国際医療福祉大学 成田看護学部 助教	奨	励	賞	看護学分野における若手男性研究者として男性のケアワーク参画を支援する 先導的活動
平成28年	名古屋	大学男女共同参画室	本		賞	大学における男女共同参画推進事業のモデル化による国際的拠点化
平成27年	大坪 久子	日本大学薬学部・薬学研究所 上席研究員	本		賞	日本の理工系女性研究者支援を牽引した先導的活動
十成27年	新大Wit	s (しんだいうぃっつ)	奨	励	賞	"新大 Wits"による出前授業活動から生まれた男女共同参画多世代キャリア教育
₩ 36年	辻村みよ子	明治大学法科大学院 教授	本		賞	日本の男女共同参画社会の推進を牽引する先導的活動について
平成26年	SA輝友会	: (エスエーきゆうかい)	奨	励	賞	東北大学サイエンス・エンジェル (SA) 修了生による男女共同参画推進の取組み

#### 沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)受賞者

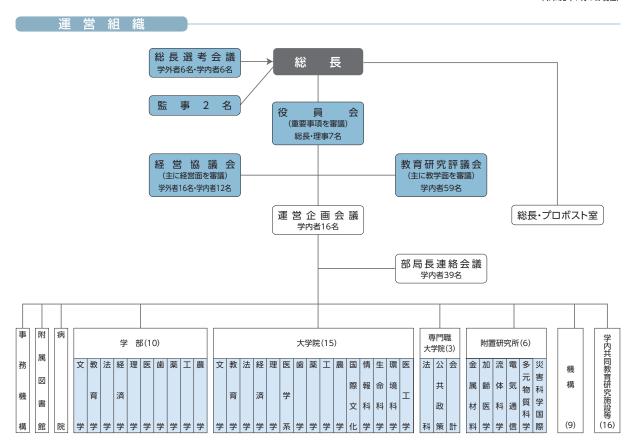
「沢柳賞」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

授 賞 年 度	氏名・団体名	職名等		受 賞	部門	9
平成24年	アロナ	経済学研究科 「留学生・研究者の出産・育児を支援する地域・大学協働プロジェクトチーム」代表	活	動	部	門
平成23年	朝倉京子	医学系研究科教授	研	究	部	門
	茂木洋平	法学研究科博士課程後期	研	究	部	門
平成22年	阿 部 比佐久 久 利 美 和 村 上 祐 子	理学研究科再雇用職員 理学研究科助教 理学研究科准教授	プロ:	ジェクト	部門(特	別賞)
	下 夷 美 幸	文学研究科准教授	研	究	部	門
平成21年	青葉理学振興会		活	動	部	門
十成214	女性と労働研究会		プロ	〕ジェ	クト	部門
	山 崎 都	病院 医員	活重	か部 門	(特別	賞)
平成20年	東北大学川内けやきん	<b>呆育園保護者会</b>	活	動	部	門
平成20年	トゥルムンフ オドントヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロ:	ジェクト	部門(特	別賞)
	齊籐綾美	教育学研究科特別研究員	研	究	部	門
	阿部未央	法学研究科博士課程学生	研究	部門	(特別	賞 )
	工学研究科 機械・	印能系男女共同参画推進委員会同WGおよび女子学生交流会学生スタッフ	活	動	部	門
平成19年	尾 崎 博 美 八 木 美保子 水 原 克 敏 生 田 久美子	教育学研究科博士課程学生 教育学研究科博士課程学生 教育学研究科教授 教育学研究科教授	プロ	〕ジェ	クト	部門
	ヤマモト ルシア エミコ	文学研究科専門研究員	プロ:	ジェクト	部門(特	別賞)
·	吉 田 浩	経済学研究科助教授	研	究	部	門
平成18年	遠 山 智 子 鈴 木 美智子 玉 江 京 子	理学研究科教育研究支援者 理学研究科教育研究支援者 理学研究科助手	活	動	部	門
	海老原 孝 枝	病院「子育てに関る女性医師の会」代表	活	動	部	門
	橋本鉱市	教育学研究科助教授	プロ	〕ジェ	クト	部門

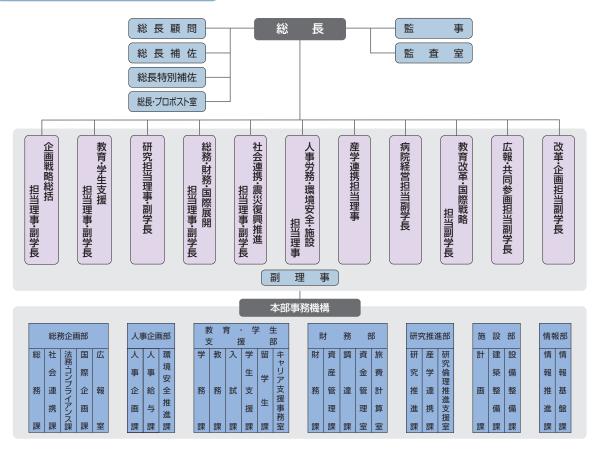
# Organization

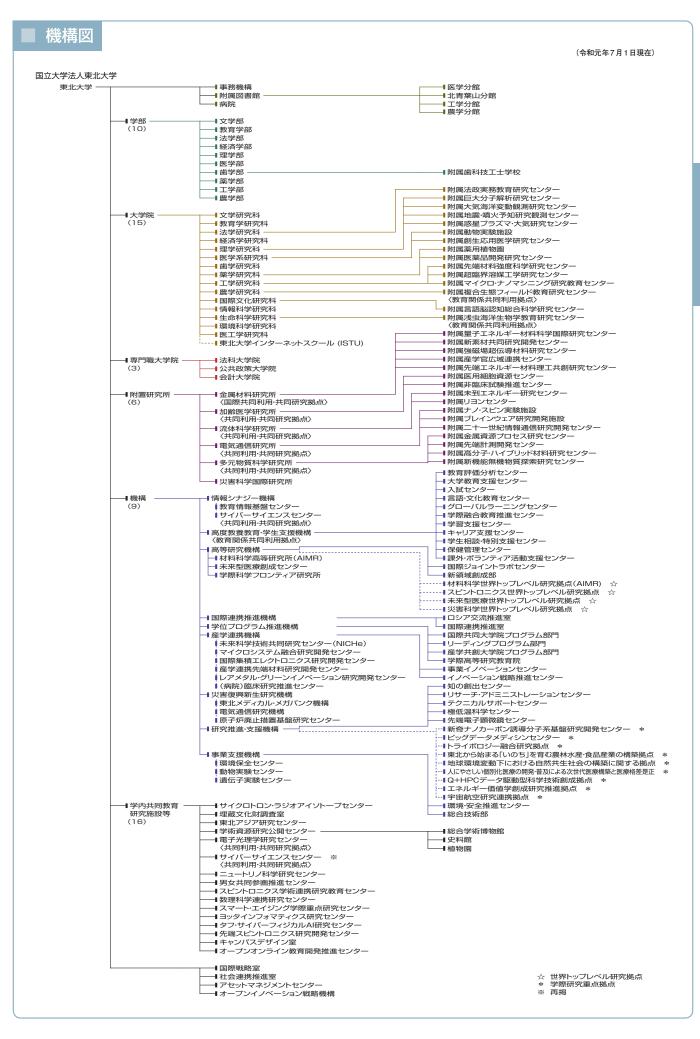
# ■ 運営組織

(令和元年7月1日現在)



#### (理事・副学長・副理事・本部事務機構





# |役員・主な役職者

総長	大	野	英	男
理事・副学長(企画戦略総括担当)	青	木	孝	文
理事・副学長(教育・学生支援担当)	滝	澤	博	胤
理事・副学長 (研究担当)	早	坂	忠	裕
理事・副学長(総務・財務・国際展開担当)	植	木	俊	哉
理事・副学長(社会連携・震災復興推進担当)	原		信	義
理事(人事労務・環境安全・施設担当)	下	間	康	行
理 事(産学連携担当)	矢	島	敬	雅
監事	小	林	邦	英
監事(非常勤)	牛	尾	陽	子
副学長(病院経営担当)	富	永	悌	=
副学長(教育改革・国際戦略担当)	山	П	昌	弘
副学長(広報・共同参画担当)	大	隅	典	子
副学長(改革・企画担当)	植	木		誠
総長補佐	森	本	浩	_
総長補佐	八重	[樫	伸	生
総長補佐	長	坂	徹	也
総長補佐	高	梨	弘	毅
副理事(大学院改革担当)	湯	上	浩	雄
副理事(入試担当)	長	濱	裕	幸
副理事(学生支援担当)	小E	日中	直	樹
副理事(研究担当)	小	谷	元	子
副理事(研究戦略マネジメント担当)	根	本	靖	久
副理事(次世代放射光計画担当)	村	松	淳	司
副理事(利益相反マネジメント担当)	谷	内	_	彦
副理事(震災復興推進担当)	今	村	文	彦
副理事(学際研究連携担当)	宮	田	敏	男
副理事(産学連携担当)	杉	本		諭
副理事(企画戦略担当)	伊	豆	仁	志
-				

総長特別補佐(情報基盤担当)	伊	藤	彰	則
総長特別補佐(教育企画担当)	靜	谷	啓	樹
総長特別補佐 (学生支援担当)	菅	原	俊	=
総長特別補佐(研究担当)	中	山	啓	子
総長特別補佐(研究担当)	高	田	昌	樹
総長特別補佐(研究担当)	高	倉	浩	樹
総長特別補佐(研究倫理担当)	佐々	木	孝	彦
総長特別補佐(災害対策担当)	佐	藤		健
総長特別補佐 (国際交流担当)	末	松	和	子
総長特別補佐 (業務改革担当)	藤	本	雅	彦
総長特別補佐(社会連携担当)	金	井		浩
総長特別補佐(社会連携担当)	吉	見	享	祐
総長特別補佐(社会連携担当)	吉	澤		誠
総長特別補佐(社会連携担当)	松儿	重	_	代
総長特別補佐 (震災復興推進担当)	張	替	秀	郎
総長特別補佐 (震災復興推進担当)	渡	邉		豊
総長特別補佐 (萩友会担当)	長名	川	史	彦
総長特別補佐 (知的財産担当)	蘆	立	順	美
総長特別補佐 (国際戦略担当)	米	澤	彰	純
総長特別補佐(デジタル革新担当)	小	林	広	明
総長特別補佐 (情報・評価担当)	曽	根	秀	昭
総長特別補佐(共同参画担当)	田	中	真	美
総長特別補佐(共同参画担当)	芳	賀		満
総長特別補佐(大学改革担当)	東	谷	篤	志
総長特別補佐(大学改革担当)	髙	村		仁
総長特別補佐(大学改革担当)	筒	井	健-	一郎
総長特別補佐(大学改革担当)	越	村	俊	_
総長特別補佐(大学改革担当)	中	澤		徹

■本部				
事務機構長	齋	藤		仁
【総長・プロボスト室】				
総長・プロボスト室長	青	木	孝	文
総長・プロボスト室副室長	山		昌	弘
総長・プロボスト室副室長	植	木		誠
総長・プロボスト室副室長	伊	豆	仁	志
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	小	Ш	裕	之
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	菊	田	克	也
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	吉	田	卓	司
【総務企画部】				
総務企画部長	齋	藤		仁
総務課長	門	脇	幸	見
社会連携課長	佐	藤	秀	樹
法務・コンプライアンス課長	木	村	賢	_
国際企画課長	乳	井	まる	とこ
広報室長	佐	藤	秀	樹
【人事企画部】				
人事企画部長	羽	鳥	政	男
人事企画部付課長	木		卓	郎
人事企画課長	佐	藤	龍	彦
人事給与課長	目	黒	尚	美
環境安全推進課長	目	黒	尚	美
【教育・学生支援部】				
教育・学生支援部長	藤	王		勉
学務課長	熊	谷		大
教務課長	高	橋	裕	之
入試課長	宍	戸	和	良
				_

学生支援課長	佐	藤		功
留学生課長	吉	越	忠	助
【財務部】				
財務部長	伊	豆	仁	志
財務課長	土	屋	啓	_
資産管理課長	安	藤	元	光
調達課長	髙	橋		智
【研究推進部】				
研究推進部長	伊	藤	保	春
研究推進部次長	近	藤		隆
研究推進課長	櫛	引	加什	け子
産学連携課長	Ξ	上	洋	_
研究倫理推進支援室長	小	澤		浩
【施設部】				
施設部長	高	橋	勝	治
計画課長	森	屋	昭	則
建築整備課長	島	岡	玉	樹
設備整備課長	佐	藤	孝	記
【情報部】				
情報部長	大	Ш	俊	治
情報推進課長	Ш	村		眞
情報基盤課長	大	Ш	俊	治
【本部事務機構付】				
課長	加	藤		博
【監査室】				
監査室長	菅	原		隆

(令和元年7月1日現在)

【文学部・文学研究科】				
文学部長・文学研究科長	森	本	浩	_
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	阿	部	恒	之
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	柳	原	敏	
事務長	志	智	紀	行
【教育学部・教育学研究科】	701		ルロ	17
教育学部長・教育学研究科長	八	鍬	友	広
教育学部副学部長・教育学研究科副研究科長	野		和	人
事務長	佐	藤	伸	
【法学部・法学研究科】	KT	nak	IT.	
法学部長・法学研究科長	成	瀬	幸	典
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	嵩	ин	され	
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	蘆	17	順	美
法科大学院長		_ <u></u> _ 呆野	恵	
公共政策大学院長	阿	南	友	亮
法政実務教育研究センター長	中	原	茂	樹
事務長	木	戸	龍	朝
	八		턘	押
【経済学部・経済学研究科】	照	井	伸	彦
経済学部長・経済学研究科長 経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長				
		中	直	樹
経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長	- 日		π#-	聡
会計大学院長	青		•	明
事務長	1左^	才	清	浩
【理学部・理学研究科】				741
理学部長・理学研究科長	寺	田	眞	浩
理学研究科副研究科長	小	原	隆	博
理学研究科副研究科長	JII	勝	年	洋
理学研究科副研究科長	都	築	暢	夫
巨大分子解析研究センター長	岩	本	武	明
大気海洋変動観測研究センター長	青	木	周	司
地震・噴火予知研究観測センター長	Ξ	浦	_	哲
惑星ブラズマ・大気研究センター長	笠	羽	康	正
事務部長	谷		善	孝
総務課長	<u>[a]</u>	部	文	洋
教務課長	板	垣		毅
経理課長	及	Ш	勝	治
【医学部・医学系研究科】				
医学部長・医学系研究科長	八直	重樫	伸	生
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	赤	池	孝	章
医学部副学部長·医学系研究科副研究科長	大利		祐	=
医学部副学部長·医学系研究科副研究科長	片	桐	秀	樹
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	鈴	木		貴
動物実験施設長	Ξ	好	_	郎
創生応用医学研究センター長	大	隅	典	子
事務部長	志	田	昌	幸
総務課長	佐	藤	敬	浩
教務課長	我	妻	建	史
経理課長	日	野	謙	=
【歯学部・歯学研究科】				
歯学部長・歯学研究科長	佐	木	啓	_
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	髙	橋	信	博
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	若	森		実
歯科技工士学校長	菊	池	雅	彦
事務長	Bol	部		昭

薬学部・薬学研究科長 根東 義則 薬学部長・薬学研究科副研究科長 岩 別 東 義則 薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長 平 東 典則 医薬品開発研究センター 平 澤 典 與則 医薬品開発研究センター 平 澤 典 與別 医薬品開発研究センター					
要学部副学部長・薬学研究科副研究科長	【薬学部・薬学研究科】				
要学部副学部長・薬学研究科副研究科長	薬学部長・薬学研究科長	根	東	義	則
要用植物園長 根東義則 保 東 義則 医薬品開発研究センター 事務長 渡 連 真 好	薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	岩	渕	好	治
要素品開発研究センター	薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	平	澤	典	保
事務長 【工学部・工学研究科】 工学部長・工学研究科長 工学研究科副研究科長 工学研究科副研究科長 ス学研究科副研究科長 と	薬用植物園長	根	東	義	則
工学部・工学研究科	医薬品開発研究センター	平	澤	典	保
工学部長・工学研究科長	事務長	渡	邉	真	好
工学研究科副研究科長 工学研究科副研究科長 工学研究科副研究科長 ステ研究科副研究科長 地議解界溶媒工学研究センター長 と	【工学部・工学研究科】				
工学研究科副研究科長	工学部長・工学研究科長	長	坂	徹	也
工学研究科副研究科長 先端材料強度科学研究センター長 超臨界溶媒工学研究センター長 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長 福島 誉 度 察 藤 嘉 信 総務課長	工学研究科副研究科長	安	藤		晃
先端材料強度科学研究センター長     超臨界溶媒工学研究センター長     マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長     マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長     事務部長     総務課長     日    京    京    京    京    京    京	工学研究科副研究科長	澤	田	惠	介
超臨界溶媒工学研究センター長 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長 事務部長 総務課長 を	工学研究科副研究科長	橋	Т	秀	利
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長 マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長 事務部長 総務課長 を	先端材料強度科学研究センター長	小	Ш	和	洋
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長 福 島 誉 恵 嘉 信総務課長 佐 藤 政 行教務課長 佐 藤 政 行教務課長 杉 山 泰 啓 原 昇 一 経理課長 杉 山 泰 啓 研究推進課長 柴 田 一 [農学部・農学研究科] 農学部長・農学研究科長 阿 部 敬 悦 農 美 研究科副研究科長	超臨界溶媒工学研究センター長	猪			宏
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長 福 島 誉 恵 嘉 信総務課長 佐 藤 政 行教務課長 佐 藤 政 行教務課長 杉 山 泰 啓 原 昇 一 経理課長 杉 山 泰 啓 研究推進課長 柴 田 一 [農学部・農学研究科] 農学部長・農学研究科長 阿 部 敬 悦 農 美 研究科副研究科長	マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長	小	野	崇	人
事務部長		福	島	誉	
総務課長 佐 藤 政 行教務課長 信 原 昇 一経理課長 だ 山 泰 啓 研究推進課長 影 田 一 【農学部・農学研究科】 農学研究科園研究科長					
教務課長 経理課長					
経理課長					_
研究推進課長					啓
農学部・農学研究科    農学部長・農学研究科展				~	_
農学部長・農学研究科長       阿部敬悦         農学研究科副研究科長       高橋 英樹         農学研究科副研究科長       伊藤房雄         複合生態フィールド教育研究センター副センター長       西田瑞彦         複合生態フィールド教育研究センター副センター長       地田実         事務長       佐藤吉和         「国際文化研究科」       国際文化研究科長         国際文化研究科長       店橋大厚         国際文化研究科局研究科長       佐藤透園際文化研究科副研究科長         国際文化研究科副研究科長       店橋大厚透         国際文化研究科副研究科長       市場大厚透         青糖科学研究科目標報科学研究科長       中尾光之         情報科学研究科副研究科長       「畑伸明         情報科学研究科目研究科長       「大原健         「生命科学研究科」       「本 亜砂子生命科学研究科目研究科長         東務長       「同知雅主         「環境科学研究科長       「本 亜砂子生命科学研究科長         東務長       「日 坂健         「環境科学研究科長       「本 亜砂子東海         東務長       「日 坂健         「環境科学研究科」       「東海         東務長       「日 坂健         「東京社会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会			ш		
農学研究科副研究科長 農学研究科副研究科長 機学研究科副研究科長 複合生態フィールド教育研究センター最 小 倉 振一郎 複合生態フィールド教育研究センター副センター長 西 田 瑞 彦 複合生態フィールド教育研究センター副センター長 池 田 実事務長 佐 藤 吉 和 【国際文化研究科】 国際文化研究科長 高 橋 大 厚国際文化研究科副研究科長 佐 藤 透 国際文化研究科副研究科長 第 左 秀 言語脳認知総合科学研究センター長 高 橋 大 厚事務長 我 妻 靖 【情報科学研究科】 情報科学研究科長 中 尾 光 之 情報科学研究科副研究科長		Rini	邨	盐	柗
農学研究科副研究科長 複合生態フィールド教育研究センター長 複合生態フィールド教育研究センター副センター長 複合生態フィールド教育研究センター副センター長 事務長 【国際文化研究科】 国際文化研究科長 国際文化研究科局研究科長 国際文化研究科副研究科長 国際文化研究科副研究科長 国際文化研究科副研究科長 書語脳認知総合科学研究センター長 事務長 【情報科学研究科】 情報科学研究科員 情報科学研究科副研究科長 情報科学研究科副研究科長 「精報科学研究科副研究科長 「精報科学研究科」 「大 厚 畑 伸 明 情報科学研究科副研究科長 「					
複合生態フィールド教育研究センター長 加					
複合生態フィールド教育研究センター副センター長 西田瑞彦 複合生態フィールド教育研究センター副センター長池田 実 事務長佐藤吉和 【国際文化研究科】 国際文化研究科長高橋大厚国際文化研究科副研究科長高橋大厚国際文化研究科副研究科長 部長 医 秀 言語脳認知総合科学研究センター長高橋大厚事務長 我妻靖 【情報科学研究科】 「情報科学研究科】 「情報科学研究科副研究科長 尾畑伸明情報科学研究科副研究科長 尾畑伸明情報科学研究科副研究科長 橋本浩一事務長信坂健【生命科学研究科】 「生命科学研究科】 「生命科学研究科」 「生命科学研究科」 「生命科学研究科」 「生命科学研究科」 「大 本 亜砂子生命科学研究科」 「大 本 亜砂子 大 本 亜砂子生命科学研究科」 「大 本 亜砂子生命科学研究科」 「大 本 亜砂子生命科学研究科」 「大 本 亜砂子生命科学研究科」 「大 本 東 本 東 本 本 東 本 東 本 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 東 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 本 東 東 本 東 本 東 東 本 東 東 東 本 東 東 本 東					
複合生態フィールド教育研究センター副センター長 池 田 実事務長 佐 藤 吉 和 【国際文化研究科】 国際文化研究科長 高 橋 大 厚 国際文化研究科副研究科長 佐 藤 透 国際文化研究科副研究科長 知 庭 秀 言語脳認知総合科学研究センター長 高 橋 大 厚事務長 我 妻 靖 【情報科学研究科】 情報科学研究科副研究科長 中 尾 光 之情報科学研究科副研究科長 尾 畑 伸 明情報科学研究科副研究科長 橋 本 浩 ー事務長 信 坂 健 【生命科学研究科】 生命科学研究科】 生命科学研究科员 第 長 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度					
事務長         佐藤吉和           【国際文化研究科】         高橋大厚           国際文化研究科長         高橋大厚           国際文化研究科副研究科長         銀 庭秀           言語脳認知総合科学研究センター長         高橋大厚事務長           【情報科学研究科】         市           情報科学研究科具研究科長         中尾光之           情報科学研究科副研究科長         尾畑伸明           情報科学研究科副研究科長         信坂健           【生命科学研究科】         ど本亜砂子生命科学研究科長           生命科学研究科局研究科長         杉本亜砂子生命科学研究科局研究社長           「環境科学研究科」         原属           環境科学研究科長         土屋範芳環境科学研究科局研究科長           医工学研究科長         財際           原工学研究科長         財際				чт	
【国際文化研究科】 国際文化研究科長 高橋大厚国際文化研究科副研究科長 佐藤 透国際文化研究科副研究科長 劉 庭 秀言語脳認知総合科学研究センター長 高橋 大厚事務長 我妻靖【情報科学研究科】 情報科学研究科副研究科長 中尾光之情報科学研究科副研究科長 尾畑伸明情報科学研究科副研究科長 属 畑伸明情報科学研究科副研究科長 橋本浩一事務長 信坂健【生命科学研究科】 生命科学研究科長 杉本亜砂子生命科学研究科長 河田雅圭浅虫海洋生物学教育研究センター長 熊野 岳事務長 及川良房【環境科学研究科】 環境科学研究科】 環境科学研究科員研究科長 土屋範芳環境科学研究科副研究科長 土屋 範芳環境科学研究科則研究科長 カール 東京 五 東京 東京 東京 東京 五 東京 東京 東京 五 東京 東京 東京 東京 五 東京				±	
国際文化研究科長 国際文化研究科副研究科長 国際文化研究科副研究科長 国際文化研究科副研究科長 国際文化研究科副研究科長 言語脳認知総合科学研究センター長 事務長 【情報科学研究科】 情報科学研究科局 情報科学研究科副研究科長 精本 浩 一 事務長 【生命科学研究科】 生命科学研究科長 生命科学研究科長 生命科学研究科長 生命科学研究科長 生命科学研究科長 生命科学研究科長 生命科学研究科長 東務長 【生命科学研究科長 生命科学研究科長 生命科学研究科長 生命科学研究科長 生命科学研究科長 生命科学研究科長 東海洋生物学教育研究センター長 事務長 【別川 良 房 【環境科学研究科】 環境科学研究科長  東藤		MT	豚		和
国際文化研究科副研究科長 国際文化研究科副研究科長 国際文化研究科副研究科長 言語脳認知総合科学研究センター長 事務長 【情報科学研究科】 情報科学研究科長 情報科学研究科副研究科長 情報科学研究科副研究科長 精報科学研究科副研究科長 「生命科学研究科副研究科長 生命科学研究科】 生命科学研究科局 「生命科学研究科」 生命科学研究科局 「基本・法・一・ 事務長 「国・坂・健・ 「生命科学研究科」 「生命科学研究科」 「生命科学研究科」 「基本・法・一・ 事務長 「国・坂・健・「大・本・亜砂・子・ ・ 世・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		占	塔	+	
国際文化研究科副研究科長       劉 庭 秀         言語脳認知総合科学研究センター長       高 橋 大 厚         事務長       我 妻 靖         【情報科学研究科】       中 尾 光 之         情報科学研究科長       中 尾 光 之         情報科学研究科副研究科長       屠 畑 伸 明         情報科学研究科副研究科長       橋 本 浩 一         事務長       信 坂 健         【生命科学研究科】       ジロ 田 雅 圭         浅虫海洋生物学教育研究センター長       熊 野 岳         事務長       及 川 良 房         【環境科学研究科】       立 屋 範 芳         環境科学研究科長       立 屋 範 芳         環境科学研究科副研究科長       富 西 栄 輝         【医工学研究科長       原 川 常 元					
言語脳認知総合科学研究センター長事務長       高橋大厚事務長         【情報科学研究科】       市尾光之情報科学研究科長         情報科学研究科副研究科長       尾畑伸明         情報科学研究科副研究科長       橋本浩一事務長         【生命科学研究科】         生命科学研究科長       杉本亜砂子生命科学研究科長         生命科学研究科局研究科長       河田雅圭浅虫海洋生物学教育研究センター長         事務長       及川良房         【環境科学研究科】       京田 雅圭 華 芳環境科学研究科長         環境科学研究科長       土屋範芳環境科学研究科園研究科長         【医工学研究科長       京西栄輝         医工学研究科長       厨川常元			豚	17年	
事務長       我妻 靖         【情報科学研究科】       中尾光之         情報科学研究科副研究科長       尾畑伸明         情報科学研究科副研究科長       橋本浩一事務長         【生命科学研究科】          生命科学研究科長       杉本亜砂子生命科学研究科長         生命科学研究科副研究科長       河田雅圭         浅虫海洋生物学教育研究センター長       熊野岳         事務長       及川良房         【環境科学研究科】       土屋範芳環境科学研究科長         環境科学研究科目研究科長       直西栄輝         【医工学研究科長       原川常元			- 五		
【情報科学研究科】         情報科学研究科良       中尾光之         情報科学研究科副研究科長       尾畑伸明         情報科学研究科副研究科長       橋本浩一事務長         【生命科学研究科】         生命科学研究科長       杉本亜砂子生命科学研究科園研究科長         生命科学研究科副研究社長       河田雅圭         浅虫海洋生物学教育研究センター長       熊野岳         事務長       及川良房         【環境科学研究科】       土屋範芳環境科学研究科局研究科長         環境科学研究科副研究科長       恵労         【医工学研究科長       原別         医工学研究科長       原別					
情報科学研究科長 中 尾 光 之情報科学研究科副研究科長 尾 畑 伸 明情報科学研究科副研究科長 橋 本 浩 一事務長 信 坂 健 【生命科学研究科】 生命科学研究科長 杉 本 亜砂子生命科学研究科目研究科長 河 田 雅 圭 浅虫海洋生物学教育研究センター長 熊 野 岳事務長 及 川 良 房 【環境科学研究科】 環境科学研究科目研究科長 土 屋 範 芳環境科学研究科目研究科長		找	安		垌
情報科学研究科副研究科長 尾畑伸明情報科学研究科副研究科長 橋本浩一事務長 信坂健 【生命科学研究科】 生命科学研究科長 杉本 亜砂子生命科学研究科副研究科長 河田雅圭 浅虫海洋生物学教育研究センター長 熊野 岳事務長 及川良房 【環境科学研究科】 環境科学研究科】 環境科学研究科副研究科長 土屋範芳環境科学研究科副研究科長 コー屋 範芳環境科学研究科別研究科長 カーボー 産 一 産 第 万 環境科学研究科】		_	_	NZ	
情報科学研究科副研究科長 橋本浩一 事務長 信坂健 【生命科学研究科】 生命科学研究科長 杉本 亜砂子 生命科学研究科副研究科長 河田雅圭 浅虫海洋生物学教育研究センター長 熊野 岳 事務長 及川良房 【環境科学研究科】 環境科学研究科】 環境科学研究科長 土屋 範芳 環境科学研究科副研究科長 葛西栄輝 【医工学研究科】					
事務長       信 坂 健         【生命科学研究科】       杉 本 亜砂子         生命科学研究科長       杉 本 亜砂子         生命科学研究科副研究科長       河 田 雅 圭         浅虫海洋生物学教育研究センター長       熊 野 岳         事務長       及 川 良 房         【環境科学研究科】       土 屋 範 芳環境科学研究科長         環境科学研究科副研究科長       葛 西 栄 輝         【医工学研究科】       原 川 常 元					明
【生命科学研究科】       杉本 亜砂子         生命科学研究科長       杉本 亜砂子         生命科学研究科副研究科長       河田 雅 圭         浅虫海洋生物学教育研究センター長       熊野 岳         事務長       及川良房         【環境科学研究科】       土屋 範 芳環境科学研究科副研究科長         環境科学研究科副研究科長       葛西 栄輝         【医工学研究科】         医工学研究科長       厨川常元				冶	/7:3s
生命科学研究科長 杉 本 亜砂子 生命科学研究科副研究科長 河田雅 圭 浅虫海洋生物学教育研究センター長 熊野 岳 事務長 及川良房 【環境科学研究科】 環境科学研究科長 土屋 範 芳 環境科学研究科副研究科長 葛西栄輝 【医工学研究科】		1吉	収		健
生命科学研究科副研究科長 河田雅圭 浅虫海洋生物学教育研究センター長  事務長 及川良房 【環境科学研究科】 環境科学研究科長 豊節芳環境科学研究科副研究科長 「医工学研究科】		1/			ıl. —
浅虫海洋生物学教育研究センター長     熊 野 岳       事務長     及 川 良 房       【環境科学研究科】     環境科学研究科長       環境科学研究科副研究科長     İ 屋 範 芳 環境科学研究科副研究科長       【医工学研究科】					
事務長     及 川 良 房       【環境科学研究科】     土 屋 範 芳 環境科学研究科副研究科長       環境科学研究科副研究科長     葛 西 栄 輝 (医工学研究科)       医工学研究科長     厨 川 常 元				推	
【環境科学研究科】       環境科学研究科長     土 屋 範 芳 環境科学研究科副研究科長       【医工学研究科】       医工学研究科長     厨 川 常 元					
環境科学研究科長     土 屋 範 芳       環境科学研究科副研究科長     葛 西 栄 輝       【医工学研究科】     厨 川 常 元		及	Ш	良	房
環境科学研究科副研究科長 葛 西 栄 輝 【医工学研究科】   医工学研究科長	<del></del>				
【医工学研究科】     厨 川 常 元       医工学研究科長     厨 川 常 元		_			
医工学研究科長 厨川常元		葛	西	栄	輝
医工学研究科副研究科長 永 富 良 一		-			元
	医工学研究科副研究科長	永	富	良	_

# | 役員・主な役職者

■ 附置研究所及び附属施設 【金属材料研究所】					【電気通信研究所】				
	<u></u>	釆Ⅱ	21	垃几		<b>√</b> =	٦.		-
金属材料研究所長	高	梨	弘	毅	電気通信研究所長	塩	<u>入</u>	TO	
金属材料研究所副研究所長		々木	孝	彦	電気通信研究所副研究所長	石	山	和	
金属材料研究所副研究所長	古	原		忠	電気通信研究所副研究所長	北	村	喜	
量子エネルギー材料科学国際研究センター長	永	井	康	介	ナノ・スピン実験施設長	上	原	洋	
新素材共同研究開発センター長	正	橋	直	哉	ブレインウェア研究開発施設長	羽	生	貴	
<b><u> </u></b>	野	尻	浩	之	21世紀情報通信研究開発センター長	末	松	憲	
全学官広域連携センター長	正	橋	直	哉	事務長	金	子	雅	
先端エネルギー材料理工共創研究センター長	折	茂	慎	_	【多元物質科学研究所】				
事務部長	髙	橋	嘉	典	多元物質科学研究所長	村	松	淳	
総務課長	松	田		清	多元物質科学研究所副研究所長	寺	内	正	
	//\	松		誠	多元物質科学研究所副研究所長	福	山	博	
【加齢医学研究所】		14		шж	多元物質科学研究所副研究所長	髙	橋	Œ	
加齢医学研究所長	JII	島	隆	太	金属資源プロセス研究センター長	本	間		-
加齢医学研究所副研究所長	本	橋		<u>^</u> づみ	先端計測開発センター長	高	<u>同</u>	昌	_
									_
医用細胞資源センター長	松		靖	<u>久</u>	高分子・ハイブリッド材料研究センター長	芥	川	智	_
ド臨床試験推進センター長 	山	家	智	之	新機能無機物質探索研究センター長	山	根	久	
事務長	阿	部	芳	浩	事務部長	山	田	純	_
流体科学研究所】					総務課長	志	田		
<b>流体科学研究所長</b>	大	林		茂	経理課長	佐	藤	利	
<b>流体科学研究所副研究所長</b>	小	原		拓	【災害科学国際研究所】				
未到エネルギー研究センター長	寒	Ш	誠		災害科学国際研究所長	今	村	文	
リヨンセンター長	内	_	哲	哉	災害科学国際研究所副研究所長	伊	藤		
事務長	朝	倉	知	明	事務長	曽	根	芳	
■ 附属図書館及び分館									
図書館長	大	隅	典	子	 情報サービス課長	Ξ	角	+	_
								太	_
図書館副館長	柳	原	敏	昭	医学分館長	北	<u>本</u> 井	哲朱	_
キマケウのド	+0	744							
	加	藤	晃	_	北青葉山分館長	藤			_
総務課長 青報管理課長	加小佐	藤藤藤		和子	工学分館長農学分館長	羽金	根山	喜	_
総務課長 青報管理課長 ■ 病院	小 佐	藤	左 初	和子 美	工学分館長 農学分館長	羽金	根山	喜	
総務課長 青報管理課長 ■ 病院 丙院長	佐	藤	左	美	工学分館長 農学分館長 副病院長	羽金	根山木	喜由	
総務課長 情報管理課長 <b>■ 病院</b> 病院長 総括副病院長	小佐富高	陳藤永橋	左 初 悌	和子	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長	37 金	根山木腰	- 喜 由 俊	
総務課長 情報管理課長 <b>病院</b> 病院長 総括副病院長 副病院長	小佐富高張	陳藤永橋替	左初常	和子 美 二 哲 郎	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長	羽 金 鈴 山 芳	根山木腰賀	一喜曲俊昌	
総務課長 情報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長	小佐富高張石	陳藤永橋替岡	左初常	和子美 二哲郎如史	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長	37 金 鈴山芳岩	根山木腰賀渕	- 喜 由 俊	
総務課長 情報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長	小佐富高張石亀	陳藤永橋替岡井	左初常	和子 美 二哲郎 即 尚	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長	3	根山木腰賀渕垣	一喜由俊昌隆	
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長	小佐 富高張石亀五	陳藤永橋替岡井嵐	左初常	和子 美 二哲郎 即 尚薫	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 を理課長 医事課長	羽金鈴山芳岩石前	根山木腰賀渕垣田	一喜由俊昌隆光	
事務部長 総務課長 情報管理課長  ■ 病院  病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長	小佐 富高張石亀五	陳藤永橋替岡井	左初常	和子 美 二哲郎 即 尚	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長	羽金鈴山芳岩石前	根山木腰賀渕垣	一喜由俊昌隆光	
総務課長 情報管理課長 <b>病院</b> 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長	小佐 富高張石亀五	陳藤永橋替岡井嵐	左初常	和子 美 二哲郎 即 尚薫	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 を理課長 医事課長	羽金鈴山芳岩石前	根山木腰賀渕垣田	一喜由俊昌隆光	
総務課長 青報管理課長  ■ 病院  丙院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長	小佐 富高張石亀五	陳藤永橋替岡井嵐	左初常	和子 美 二哲郎 即 尚薫	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 を理課長 医事課長	羽金鈴山芳岩石前渡	根山木腰賀渕垣田	一喜由俊昌隆光	
総務課長 青報管理課長 ■ 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長	小佐富高張石亀五江	陳藤 永橋替岡井嵐草	左初梯秀干	和子美 二哲郎史尚薫宏	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長	羽金鈴山芳岩石前渡中	根山木腰賀渕垣田邊澤	一喜 由俊昌隆 光サ	J
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長	小佐富高張石亀五江青	陳藤 永橋替岡井嵐草 木	左初常秀千	和子美 二哲郎史尚薫宏	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 世域医療連携課長	羽金鈴山芳岩石前渡中早	根山  木腰賀渕垣田邊  澤瀬	一喜 由俊昌隆 光サ 敏	ヺ 
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長	小佐富高張石亀五江青伊	陳藤     永橋替岡井嵐草     木藤	左初 悌 秀干 孝彰	和子美 二哲郎史尚薫宏 文則	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 世域医療連携課長	羽金 鈴山芳岩石前渡 中早小	根山  木腰賀渕垣田邊  澤瀬谷	ー喜 由俊昌隆 光サ 敏元	ヺ 
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長	小佐富高張石亀五江青伊早	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川	左初常秀干。孝彰美	和子美 二哲郎史尚薫宏 文則徳	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 世域医療連携課長 恵城医療連携課長	羽金 鈴山芳岩石前渡 中早小小	根山  木腰賀渕垣田邊  澤瀬谷谷	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元	ヺ 
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、し	小佐富高張石亀五江青伊早菅	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼	左初常秀千	和子美 二哲郎史尚薫宏 文則徳夫	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 事課長 地域医療連携課長	羽金 鈴山芳岩石前渡 中早小	根山  木腰賀渕垣田邊  澤瀬谷	ー喜 由俊昌隆 光サ 敏元	ヺ 
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 して、 一機構 「情報シナジー機構」 情報シナジー機構良 情報シナジー機構良 情報シナジー機構良 情報シナジー機構良 情報シナジー機構良 けて、 サイバーサイエンスセンター長 サイバーサイエンスセンター長	小佐富高張石亀五江青伊早	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川	左初常秀干。孝彰美	和子美 二哲郎史尚薫宏 文則徳	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 事課長 地域医療連携課長	羽金 鈴山芳岩石前渡 中早小小船	根山   木腰賀渕垣田邊   澤瀬谷谷田	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正	<b>J</b>
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 以下が一機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同報シナジー機構 同様表 大び、一サイエンスセンター長 サイバーサイエンスセンター長 サイバーサイエンスセンター長 は、「のでは、「のでは、「のでは、」のでは、」のでは、「のでは、」のでは、「のでは、」のでは、」のでは、「のでは、」のでは、。」のでは、「のでは、」のでは、、のでは、、のでは、、のでは、、のでは、、のでは、、のでは、、	小佐富高張石亀五江青伊早菅	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼	左初常秀千	和 子 三 哲 郎 史 尚 薫 宏 一 文 則 徳 夫 之	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 「大来型医療創成センター副センター長 学際科学フロンティア研究所長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】	羽金 鈴山芳岩石前渡 中早小小船 植	根山   木腰賀渕垣田邊   澤瀬谷谷田 木	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊	<b>J</b>
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 以付着報シナジー機構 青報シナジー機構長 青報シナジー機構副機構長 数育情報基盤センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長	小佐 富髙張石亀五江 青伊早菅滝 滝	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤	左初 悌 秀干 孝彰美拓寛 博	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 「大来型医療創成センター副センター長 学際科学フロンティア研究所長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】 国際連携推進機構長 国際連携推進機構長	羽金 鈴山芳岩石前渡 中早小小船 植山	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊昌	ヺ 
総務課長 情報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動	小佐 富髙張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢	左初 悌 秀干 孝彰美拓寛 博干	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 「大来型医療創成センター副センター長 学際科学フロンティア研究所長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 「国際連携推進機構」 国際連携推進機構長 国際連携推進機構長	羽金 鈴山芳岩石前渡 中早小小船 植山植	根山   木腰賀渕垣田邊   澤瀬谷谷田 木	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊昌俊	
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 」 一機構 情報シナジー機構 青報シナジー機構 青報シナジー機構 青報シナジー機構 高度教養教育・学生支援機構 高度教養教育・学生支援機構長 高度教養教育・学生支援機構長 高度教養教育・学生支援機構長	小佐 富髙張石亀五江 青伊早菅滝 滝	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤	左初 悌 秀干 孝彰美拓寛 博	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 「大来型医療創成センター副センター長 学際科学フロンティア研究所長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】 国際連携推進機構長 国際連携推進機構長	羽金 鈴山芳岩石前渡 中早小小船 植山	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊昌	ヺ 
総務課長 情報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動病院長 動	小佐 富髙張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤藤口	左初 悌 秀干 孝彰美拓寛 博干	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 「大来型医療創成センター副センター長 学際科学フロンティア研究所長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 「国際連携推進機構」 国際連携推進機構長 国際連携推進機構長	羽金 鈴山芳岩石前渡 中早小小船 植山植	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊昌俊	ヺ 
総務課長 情報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 一機構 情報シナジー機構」 情報シナジー機構」 情報シナジー機構 同情報基盤センター長 サイバーサイエンスセンター長 サイバーサイエンスセンター 長 サイバーサイエンスセンター 長 サイバーサイエンスセンター 長 オイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター間を対象教育・学生支援機構」 高度教養教育・学生支援機構員 高度教養教育・学生支援機構員 高度教養教育・学生支援機構員 高度教養教育・学生支援機構員機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長	小佐 富髙張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊山	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤藤口本	左初 悌 秀千 孝彰美拓寛 博千昌	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 「国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 「国際連携推進機構」 国際連携推進機構長 国際連携推進機構長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室員	羽金。	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木口	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊昌俊昌	
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 「情報シナジー機構」 青報シナジー機構」 青報シナジー機構。 青報シナジー機構。 大び、一サイエンスセンター長 サイバーサイエンスセンター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 で、「高度教養教育・学生支援機構」 高度教養教育・学生支援機構員 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高等教育開発部門長 教育内容開発部門長	小佐 富高張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊山杉	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤藤口本	左初 悌 秀干 孝彰美拓寛 博干昌和	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 「国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 「国際連携推進機構」 国際連携推進機構長 国際連携推進機構長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長	羽金。	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木口	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊昌俊昌	
総務課長 青報管理課長 病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 」とは、 「情報シナジー機構」 情報シナジー機構」 情報シナジー機構」 情報をリンター長 サイバーサイエンスセンター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副では、 「高度教養教育・学生支援機構」 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高等教育開発部門長 教育内容開発部門長	小佐 富高張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊山杉中伊	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤藤口本村藤	左初 悌 秀干 孝彰美拓寛 博干昌和教干	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携機長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】 国際連携推進機構員 国際連携推進機構員 国際連携推進機構員 同シア交流推進室長 ロシア交流推進室長 「学位プログラム推進機構」 学位プログラム推進機構員	羽金。	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木口口 口	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊昌俊昌昌 昌	<b>J</b>
総務課長 情報管理課長 病院長 就括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 一機構 情報シナジー機構」 情報シナジー機構」 機構 情報シナジー機構」 高度教養教育・学生支援機構」 高度教養教育・学生支援機構」 高度教養教育・学生支援機構副機構長	小佐 富髙張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊山杉中		左初 悌 秀干 孝彰美拓寛 博干昌和教	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】 国際連携推進機構員 国際連携推進機構員 国際連携推進機構副機構長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 「学位プログラム推進機構」 学位プログラム推進機構長	羽金。	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木口口 口谷	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊昌俊昌昌 昌啓	
総務課長 青報管理課長 病院長 就活副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 一機構 情報シナジー機構」 情報シナジー機構」 情報シナジー機構」 機構 大の育情報基盤センター長 サイバーサイエンスセンター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 サイバーサイエンスセンター副センター長 に高度教養教育・学生支援機構」 高度教養教育・学生支援機構員 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高等教育開発部門長 教育內容開発部門長 教育內容開発部門長 教育內容開発部門長 教養教育院長 (高等研究機構]	小佐 富高張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊山杉中伊滝	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤藤口本村藤澤	左初 悌 秀千 孝彰美拓寛 博千昌和教千博	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】 国際連携推進機構】 国際連携推進機構副機構長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 「学位プログラム推進機構】 学位プログラム推進機構長 学位プログラム推進機構長 学位プログラム推進機構長	羽金。	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木口口 口谷谷	一喜 由俊昌隆 光サ 敏元元正 俊昌俊昌昌 昌啓知	<b>3</b>
総務課長 青報管理課長  病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長	小佐 富高張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊山杉中伊滝 小	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤藤口本村藤澤 谷	左初 悌 秀千 孝彰美拓寛 博千昌和教千博 元	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携部長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】 国際連携推進機構】 国際連携推進機構副機構長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 「学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長	羽金。	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木口口 口谷谷上	一喜 由俊昌隆 光廿 敏元元正 俊昌俊昌昌 昌啓知浩	<b>3</b>
総務課長 青報管理課長 ■ 病院 病院長 認括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 自報シナジー機構」 情報シナジー機構 情報シナジー機構 高報シナジー機構 高報 シナジー機構 高報 シナジー機構 高度教養教育・学生支援機構 高度教養教育・学生支援機構 高度教養教育・学生支援機構 高度教養教育・学生支援機構 高度教養教育・学生支援機構 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高度教養教育・学生支援機構副機構長 高等教育別発部門長 教育內容開発部門長 教育內容開発部門長 教育の突機構 高等研究機構 高等研究機構 高等研究機構 高等研究機構	小佐 富高張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊山杉中伊滝 小小	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤藤口本村藤澤 谷谷	左初 悌 秀千 孝彰美拓寛 博千昌和教千博 元元	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 事際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】 国際連携推進機構】 国際連携推進機構副機構長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進を長 関際連携推進機構長 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員	羽金。	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木口口 口谷谷上口	一喜 由俊昌隆 光廿 敏元元正 俊昌俊昌昌 昌啓知浩昌	
総務課長 情報管理課長  病院 病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長	小佐 富高張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊山杉中伊滝 小小折	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤藤口本村藤澤 谷谷茂	左初 悌 秀千 孝彰美拓寛 博千昌和教千博 元	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 国際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】 国際連携推進機構 国際連携推進機構副機構長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 「学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長 学位プログラム推進機構副機構長	羽金。	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木口口 口谷谷上口谷	一喜 由俊昌隆 光廿 敏元元正 俊昌俊昌昌 昌啓知浩昌啓	
総務課長 青報管理課長  ■ 病院  病院長 総括副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長 副病院長	小佐 富高張石亀五江 青伊早菅滝 滝伊山杉中伊滝 小小折池	陳藤 永橋替岡井嵐草 木藤川沼沢 澤藤口本村藤澤 谷谷茂	左初 悌 秀千 孝彰美拓寛 博千昌和教千博 元元慎	和	工学分館長 農学分館長 副病院長 事務部長 総務課長 経営管理課長 経理課長 医事課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 地域医療連携課長 事際ジョイントラボセンター長 新領域創成部長 高等研究機構等事務長 【国際連携推進機構】 国際連携推進機構】 国際連携推進機構副機構長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進室長 ロシア交流推進を長 関際連携推進機構長 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員 学位プログラム推進機構員	羽金。	根山 木腰賀渕垣田邊 澤瀬谷谷田 木口木口口 口谷谷上口	一喜 由俊昌隆 光廿 敏元元正 俊昌俊昌昌 昌啓知浩昌啓	

(令和元年7月1日現在)

産学連携機構長	F				
産学連携機構副機構長	【産学連携機構】				
産学連携機構副機構長 未来科学技術共同研究センター長 未来科学技術共同研究センター副センター長 未来科学技術共同研究センター副センター長 マイクロシステム融合研究開発センター最 マイクロシステム融合研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 と学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 市 面 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 市 面 哉 定学連携先端材料研究開発センター副センター長 アメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター表 「	産学連携機構長	矢	島	敬	雅
未来科学技術共同研究センター長 未来科学技術共同研究センター副センター長 未来科学技術共同研究センター副センター長 マイクロシステム融合研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 と学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 市 田 栄 吉 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長 「下 川 宏 明 事業イノベーション研究開発センター副センター長 「下 川 宏 明 事業イノベーション世の子長 「下 川 宏 明 事業イノベーション世の技術長 「下 信 義 災害復興新生研究機構] 災害復興新生研究機構	産学連携機構副機構長	杉	本		諭
未来科学技術共同研究センター副センター長	産学連携機構副機構長	長名	川	史	彦
末来科学技術共同研究センター副センター長 マイクロシステム融合研究開発センター最 マイクロシステム融合研究開発センター長 マイクロシステム融合研究開発センター長 国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 コ際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 ロアメタルのロックのでは、 ロアンターのでは、 ロアンのでは、 ロアンターのでは、 ロアンのでは、 ロアンの	未来科学技術共同研究センター長	長名	川	史	彦
マイクロシステム融合研究開発センター長 マイクロシステム融合研究開発センター長 国際集積エレクトロニクス研究開発センター長 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 とは 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 とは 国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 とは を学連携先端材料研究開発センター副センター長 を学連携先端材料研究開発センター副センター長 を学連携先端材料研究開発センター副センター長 を学連携先端材料研究開発センター副センター長 を学連携先端材料研究開発センター副センター長 を学連携先端材料研究開発センター副センター長 を学連携先端材料研究開発センター副センター長 を学連携先端材料研究開発センター副センター長 に 「あた」とは 「大きない」に 「おいま」に 「いま」に 「おいま」に 「おいま」に 「いま」に 「おいま」に 「おいま」に 「おいま」に 「おいま」に 「おいま」に 「おいま」に 「おいま」に 「おいま」に 「お	未来科学技術共同研究センター副センター長	後	藤	昌	史
マイクロシステム融合研究開発センター副センター長 連 健太郎 国際集積エレクトロニクス研究開発センター最 速 藤 哲 郎 国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 池 田 正 二 国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 品 田 賢 宏 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 石 山 和 志 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 垣 花 眞 人 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 堰 ボ 眞 人 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 恵 尚 哉 正 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 市 田 栄 吉 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター表 杉 本 論 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター制センター長 同 島 陽 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター制センター長 原 別 第 曜 イノベーションセンター長 矢 島 敬 雅 【災害復興新生研究機構】 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構長	未来科学技術共同研究センター副センター長	仲	Ш	清	隆
国際集積エレクトロニクス研究開発センター長 遠 藤 哲 郎 国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 池 田 正 工 国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 品 田 賢 宏 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 石 山 和 志 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 垣 花 眞 人 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 堰 川 誠 二 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 恵 尚 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 市 田 栄 吉 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター制センター長 杉 本 論 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター制センター長 市 田 和 哉 (病院) 臨床研究推進センター長	マイクロシステム融合研究開発センター長	小	野	崇	人
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 池 田 正 二 国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長 右 松 淳 司 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 石 山 和 志 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 垣 花 眞 人 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 堰 川 誠 二 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 西 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 市 田 栄 吉 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長 杉 本 論 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター制センター長 同島 陽 リアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター制センター長 市 田 和 哉 (病院) 臨床研究推進センター長	マイクロシステム融合研究開発センター副センター長	戸	津	健え	郎
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	国際集積エレクトロニクス研究開発センター長	遠	藤	哲	郎
産学連携先端材料研究開発センター長  産学連携先端材料研究開発センター副センター長  産学連携先端材料研究開発センター副センター長  産学連携先端材料研究開発センター副センター長  産学連携先端材料研究開発センター副センター長  産学連携先端材料研究開発センター副センター長  正 橋 直 哉  産学連携先端材料研究開発センター副センター長  正 橋 直 哉  産学連携先端材料研究開発センター副センター長  正 橋 直 哉  産学連携先端材料研究開発センター副センター長  レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター最とター長  レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター最とター長  「 加 宏 明  事業イノベーションセンター長  イノベーション世の発展と  「 に 宏 明  事業イノベーション世の発情  「 に ま 敬 雅  【災害復興新生研究機構】  災害復興新生研究機構  「 に ま 義  災害復興新生研究機構長  原 信 義  災害復興新生研究機構長  東北メディカル・メガバンク機構長	国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	池	田	正	=
産学連携先端材料研究開発センター副センター長 石 山 和 志 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 垣 花 眞 人 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 寒 川 誠 二 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 吉 田 栄 吉 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長 杉 本 諭 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長 問島 陽 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長 下 川 宏 明事業イノベーションセンター長 矢 島 敬 雅 【災害復興新生研究機構】 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構長	国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	品	田	賢	宏
産学連携先端材料研究開発センター副センター長 垣 花 眞 人 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 寒 川 誠 二 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 吉 田 栄 吉 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター 根 島 陽 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター 市 田 和 哉 (病院) 臨床研究推進センター長 下 川 宏 明事業イノベーションセンター長 矢 島 敬 雅 イノベーション戦略推進センター長 矢 島 敬 雅 【災害復興新生研究機構】 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構長 加 本 雅 之	産学連携先端材料研究開発センター長	村	松	淳	司
産学連携先端材料研究開発センター副センター長 寒 川 誠 二 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 吉 田 栄 吉 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター最 杉 本 論 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター最	産学連携先端材料研究開発センター副センター長	石	山	和	志
産学連携先端材料研究開発センター副センター長 正 橋 直 哉 産学連携先端材料研究開発センター副センター長 吉 田 栄 吉 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター最 杉 本 論 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長 桐 島 陽 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター最 吉 田 和 哉 (病院) 臨床研究推進センター長 下 川 宏 明事業イノベーション戦略推進センター長 矢 島 敬 雅 イノベーション戦略推進センター長 矢 島 敬 雅 【災害復興新生研究機構】 災害復興新生研究機構員 原 信 義 災害復興新生研究機構員 ク 村 文 彦 東北メディカル・メガバンク機構長 山 本 雅 之	産学連携先端材料研究開発センター副センター長	垣	花	眞	人
産学連携先端材料研究開発センター副センター長 吉 田 栄 吉 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長 杉 本 論 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター最 桐 島 陽 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター最 市 田 和 哉 (病院) 臨床研究推進センター長 下 川 宏 明 事業イノベーションセンター長 矢 島 敬 雅 イノベーション戦略推進センター長 矢 島 敬 雅 【災害復興新生研究機構】 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構員 ク 村 文 彦 東北メディカル・メガバンク機構長 山 本 雅 之	産学連携先端材料研究開発センター副センター長	寒	Ш	誠	=
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長 杉 本 論 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長 桐 島 陽 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長 吉 田 和 哉 (病院) 臨床研究推進センター長 下 川 宏 明事業イノベーションセンター長 矢 島 敬 雅 イノベーション戦略推進センター長 矢 島 敬 雅 【災害復興新生研究機構】 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構副機構長 今 村 文 彦東北メディカル・メガバンク機構長 山 本 雅 之	産学連携先端材料研究開発センター副センター長	正	橋	直	哉
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長 桐 島 陽 レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長 吉 田 和 哉 (病院) 臨床研究推進センター長 下 川 宏 明 事業イノベーションセンター長 矢 島 敬 雅 イノベーション戦略推進センター長 矢 島 敬 雅 【災害復興新生研究機構】 災害復興新生研究機構長 原 信 義 災害復興新生研究機構副機構長 タ 村 文 彦 東北メディカル・メガバンク機構長 山 本 雅 之	産学連携先端材料研究開発センター副センター長	吉	田	栄	吉
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長 吉田 和 哉 (病院) 臨床研究推進センター長 下川 宏明事業イノベーションセンター長 矢島敬雅イノベーション戦略推進センター長 矢島敬雅 [災害復興新生研究機構] 災害復興新生研究機構長 原信義 災害復興新生研究機構副機構長 タ村文彦東北メディカル・メガバンク機構長 山本雅之	レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長	杉	本		諭
(病院) 臨床研究推進センター長       下川宏明         事業イノベーションセンター長       矢島敬雅         イノベーション戦略推進センター長       矢島敬雅         【災害復興新生研究機構】         災害復興新生研究機構長       原信義         災害復興新生研究機構副機構長       今村文彦東北メディカル・メガバンク機構長         山本雅之	レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	桐	島		陽
事業イノベーションセンター長 矢島敬雅 イノベーション戦略推進センター長 矢島敬雅 【災害復興新生研究機構】 災害復興新生研究機構長 原信義 災害復興新生研究機構副機構長 今村文彦 東北メディカル・メガバンク機構長 山本雅之	レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	吉	田	和	哉
イノベーション戦略推進センター長       矢 島 敬 雅         【災害復興新生研究機構】       災害復興新生研究機構長         災害復興新生研究機構副機構長       今 村 文 彦         東北メディカル・メガバンク機構長       山 本 雅 之	(病院)臨床研究推進センター長	下	Ш	宏	明
【災害復興新生研究機構】       災害復興新生研究機構長     原     信     義       災害復興新生研究機構副機構長     今     村     文     彦       東北メディカル・メガバンク機構長     山     本     雅     之	事業イノベーションセンター長	矢	島	敬	雅
災害復興新生研究機構長     原     信     義       災害復興新生研究機構副機構長     今     村     文     彦       東北メディカル・メガバンク機構長     山     本     雅     之	イノベーション戦略推進センター長	矢	島	敬	雅
災害復興新生研究機構副機構長       今村文彦         東北メディカル・メガバンク機構長       山本雅之	【災害復興新生研究機構】				
東北メディカル・メガバンク機構長 山 本 雅 之	災害復興新生研究機構長	原		信	義
	災害復興新生研究機構副機構長	今	村	文	彦
東北メディカル・メガバンク機構副機構長 木 下 賢 吾	東北メディカル・メガバンク機構長	山	本	雅	之
	東北メディカル・メガバンク機構副機構長	木	下	賢	吾

東北メディカル・メガバンク機構副機構長	呉		繁	夫
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	布	施	昇	男
東北メディカル・メガバンク機構事務長	安	藤	正	夫
東北メディカル・メガバンク機構特任教授(企画・調整担当)	佐	藤	義	幸
電気通信研究機構長	加	藤		寧
電気通信研究機構副機構長	小	Ш	裕	之
電気通信研究機構副機構長	Ш	又	政	征
原子炉廃止措置基盤研究センター長	渡	邉		豊
原子炉廃止措置基盤研究センター副センター長	髙	木	敏	行
原子炉廃止措置基盤研究センター副センター長	前	田	囯	樹
【研究推進・支援機構】				
研究推進・支援機構長	早	坂	忠	裕
知の創出センター長	早	坂	忠	裕
知の創出センター副センター長	前	田	吉	昭
リサーチ・アドミニストレーションセンター長	河	村	純	_
リサーチ・アドミニストレーションセンター副センター長	佐	藤		準
テクニカルサポートセンター長	早	坂	忠	裕
テクニカルサポートセンター副センター長	中	山	啓	子
極低温科学センター長	佐々	オマ	孝	彦
先端電子顕微鏡センター長	今	野	豊	彦
事業支援機構長	下	間	康	行
環境保全センター長	服	部	徹ス	郎
動物実験センター長	清	水	律	子
遺伝子実験センター長	本	橋	ほこ	ゔみ
環境・安全推進センター長	下	間	康	行
総合技術部長	下	間	康	行
総合技術部副部長	猪	狩	佳	幸

#### ■ 学内共同教育研究施設等 【サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター】 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター長 渡 部 浩 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長 田 代 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長 寺 川 貴 【埋蔵文化財調査室】 埋蔵文化財調査室長 藤澤 敦 【東北アジア研究センター】 東北アジア研究センター長 高倉浩 樹 東北アジア研究センター副センター長 瀬川昌 久 東北アジア研究センター副センター長 干 聡 【学術資源研究公開センター】 学術資源研究公開センター長 西 弘 嗣 澤 総合学術博物館長 藤 敦 史料館長 昭 宏 安 達 植物園長 牧 雅 之 【電子光理学研究センター】 電子光理学研究センター長 濱 広 幸 【ニュートリノ科学研究センター】 ニュートリノ科学研究センター長 井 上 邦 雄 【男女共同参画推進センター 男女共同参画推進センター長 大 隅 典 男女共同参画推進センター副センター長 田 中 真 美 男女共同参画推進センター副センター長 永 次 史 男女共同参画推進センター副センター長 賀 芳 満 【スピントロニクス学術連携研究教育センター】 スピントロニクス学術連携研究教育センター長 高 梨 弘 毅 スピントロニクス学術連携研究教育センター副センター長 白 井 正 文 スピントロニクス学術連携研究教育センター副センター長 水上成美 【数理科学連携研究センター】 数理科学連携研究センター長 小 川 卓 克 数理科学連携研究センター副センター長 都 築 暢 夫 数理科学連携研究センター副センター長 原 田昌 晃 【スマート・エイジング学際重点研究センター】 スマート・エイジング学際重点研究センター長 川島隆太

スマート・エイジング学際重点研究センター副センター長	瀧		靖	之
スマート・エイジング学際重点研究センター副センター長	本	橋	ほこ	ゔみ
【ヨッタインフォマティクス研究センター】				
ヨッタインフォマティクス研究センター長	塩	入		諭
ヨッタインフォマティクス研究センター副センター長	坂	井	信	之
ヨッタインフォマティクス研究センター副センター長	大	町	真-	一郎
【タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター】				
タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター長	田	所		諭
タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター副センター長	乾		健え	郎
【先端スピントロニクス研究開発センター】				
先端スピントロニクス研究開発センター長	平	山	祥	郎
先端スピントロニクス研究開発センター副センター長	遠	藤	哲	郎
【キャンパスデザイン室】				
キャンパスデザイン室長	青	木	孝	文
キャンパスデザイン室副室長	杉	山		丞
キャンパスデザイン室副室長	高	橋	勝	治
【オープンオンライン教育開発推進センター】				
オープンオンライン教育開発推進センター長	滝	澤	博	胤
オープンオンライン教育開発推進センター副センター長	中	島		平
【国際戦略室】				
国際戦略室長	山	П	昌	弘
国際戦略室副室長	米	澤	彰	純
【社会連携推進室】				
社会連携推進室長	原		信	義
社会連携推進室副室長	長名	训	史	彦
社会連携推進室副室長	吉	澤		誠
社会連携推進室副室長	吉	見	享	佑
【アセットマネジメントセンター】				
アセットマネジメントセンター長	植	木	俊	哉
アセットマネジメントセンター副センター長	伊	豆	仁	志
【オープンイノベーション戦略機構】				
オープンイノベーション戦略機構長	青	木	孝	文
オープンイノベーション戦略機構副機構長	矢	島	敬	雅

# ■総長選考会議・役員会・経営協議会・教育研究評議会

(令和元年7月1日現在)

# 総長選考会議

学外委員		
天 野 3	平八郎	一般社団法人宮城県自動車会議所最高顧問
小野寺	正	KDDI 株式会社相談役
		東北経済連合会名誉会長
高橋	宏明	東北電力株式会社相談役
		仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長
遠山	敦子	公益財団法人トヨタ財団顧問
<b>ж</b> щ ;	<b>双 丁</b>	元文部科学大臣
		国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合 開発機構技術戦略研究センター客員フェロー
原山(	優子	前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員
		東北大学名誉教授
東	哲郎	株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役 野村不動産ホールディングス 社外取締役 宇部興産株式会社 社外取締役

学内委員	
森本浩一	総長補佐(文学研究科長)
八重樫 伸 生	総長補佐(医学系研究科長)
長 坂 徹 也	総長補佐(工学研究科長)
高 梨 弘 毅	総長補佐(金属材料研究所長)
寺 田 眞 浩	理学研究科長
佐々木 啓 一	歯学研究科長

# 役員会

大 野 英 男	総長
青 木 孝 文	理事·副学長
滝 澤 博 胤	理事·副学長
早坂忠裕	 理 事·副学長

植	木	俊	哉	理	事·副学長
原		信	義	理	事·副学長
下	間	康	行	理	事
矢	島	敬	雅	理	事

#### 経営協議会

天野 平八郎         一般社団法人宮城県自動車会議所最高顧問長田公平           長田公平         日本経済新聞社参与           小野寺 正         KDDI 株式会社相談役           帯野 久美子         株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役           場田 宏         山台商工会議所会頭七十七銀行相談役           川田順 ー JXTG ホールディングス取締役副社長執行役員果田 帝子 中部大学総合工学研究所特任教授東日本旅客鉄道株式会社顧問日本政府観光局(JNTO)理事長東北経済連合会名誉会長東北経済連合会名誉会長東北電力株式会社相談役仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長由立研究開発法人産業技術総合研究所理事長国立研究開発法人情報通信研究機構監事奈良先端科学技術大学院大学理事公益財団法人トヨタ財団顧問元文部科学大臣国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授東北大学名誉教授新社・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授第十年の北・ルディングス社外取締役宇部興産株式会社社外取締役宇部興産株式会社社外取締役宇部興産株式会社社外取締役宇部興産株式会社社外取締役事本による社社外取締役第十年の北・ルディングス株式会社代表取締役会長日本たばこ産業株式会社社外取締役           渡渡 選 光一郎         協・大学を書教授第十年のホールディングス株式会社代表取締役会長日本たばこ産業株式会社社外取締役	学外委員		
小野寺 正   KDDI 株式会社相談役   株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役   仙台商工会議所会頭   七十七銀行相談役   七十七銀行相談役   七十七銀行相談役   東日本旅客鉄道株式会社顧問   日本政府観光局 (JNTO) 理事長   東北経済連合会名誉会長   東北電力株式会社相談役   仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長   東北電力株式会社相談役   仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長   国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長   国立研究開発法人債報通信研究機構監事   奈良先端科学技術大学院大学理事   公益財団法人トヨタ財団顧問   元文部科学大臣   国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員   東北大学名誉教授   株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役   宇部興産株式会社 社外取締役   宇部興産株式会社 社外取締役   安市・産業技術総合   京次大学名誉教授   株式会社でブン&アイ・ホールディングス 社外取締役   大学名誉教授   株式会社でブン&アイ・ホールディングス 社外取締役   大学名誉教授   第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長   第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	天 野 平/	郎	一般社団法人宮城県自動車会議所最高顧問
# 野 久美子 株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役	長 田 公	平	日本経済新聞社参与
## 田 宏   仙台商工会議所会頭   七十七銀行相談役   日本政府銀光高大学総合工学研究所特任教授   東日本旅客鉄道株式会社顧問   日本政府観光局(JNTO)理事長   東北経済連合会名誉会長   東北経済連合会名誉会長   東北経済連合会名誉会長   東北経済連合会名誉会長   東北電力株式会社相談役   仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長   日本政府開発法人産業技術総合研究所理事長   日本政府開発法人育報通信研究機構監事   奈良先端科学技術大学院大学理事   公益財団法人トヨタ財団顧問   元文部科学大臣   国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員 東北大学名誉教授   株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役   野村不動産ホールディングス 社外取締役   野村不動産ホールディングス 社外取締役   宇部興産株式会社 社外取締役   安成大学名誉教授   第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長   第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	小野寺	正	KDDI 株式会社相談役
## 田 宏	帯 野 久美	€子	株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役
世十七銀行相談役  川 田 順 - JXTG ホールディングス取締役副社長執行役員 黒 田 玲 子 中部大学総合工学研究所特任教授 東日本旅客鉄道株式会社顧問 日本政府観光局 (JNTO) 理事長 東北経済連合会名誉会長 東北電力株式会社相談役 仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長 中 鉢 良 治 国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長 土 井 美和子 国立研究開発法人情報通信研究機構監事 奈良先端科学技術大学院大学理事 公益財団法人トヨタ財団顧問 元文部科学大臣 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授 東 哲 郎 株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役野村不動産ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役第十十十年で発表の総合開発機構技術、関係である。 東 哲 郎 株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役野村不動産ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役第十十年の大学法人首都大学東京理事 第波大学名誉教授 第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	¢# [T]	<b>~</b>	仙台商工会議所会頭
無田 玲子 中部大学総合工学研究所特任教授 東日本旅客鉄道株式会社顧問 日本政府観光局 (JNTO) 理事長 東北経済連合会名誉会長 東北電力株式会社相談役 仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長 中 鉢 良 治 国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長 土 井 美和子 国立研究開発法人情報通信研究機構監事 奈良先端科学技術大学院大学理事 公益財団法人トヨタ財団顧問 元文部科学大臣 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授 東 哲 郎 株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役野村不動産ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役第十年のまた。 京 邉 光一郎 第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	球 □	丛	七十七銀行相談役
清野         智         東日本旅客鉄道株式会社顧問 日本政府観光局 (JNTO) 理事長 東北経済連合会名誉会長 東北電力株式会社相談役 仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長           中 鉢 良 治         国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長           土井美和子         国立研究開発法人情報通信研究機構監事 奈良先端科学技術大学院大学理事           遠山教子         公益財団法人トヨタ財団顧問 元文部科学大臣           国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授           東古郎         株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役第十年命ホールディングス株式会社代表取締役会長           渡邊光一郎	川田順	_	JXTG ホールディングス取締役副社長執行役員
一日本政府観光局 (JNTO) 理事長   東北経済連合会名誉会長   東北経済連合会名誉会長   東北電力株式会社相談役   仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長   田立研究開発法人産業技術総合研究所理事長   国立研究開発法人情報通信研究機構監事   奈良先端科学技術大学院大学理事   公益財団法人トヨタ財団顧問   元文部科学大臣   国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー   前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員   東北大学名誉教授   東北大学名誉教授   株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役   宇部興産株式会社 社外取締役   宇部興産株式会社 社外取締役   安市・東京理事   筑波大学名誉教授   第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	黒 田 玲	子	中部大学総合工学研究所特任教授
日本政府観光局(JNTO)理事長 東北経済連合会名誉会長 東北電力株式会社相談役 仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長 中 鉢 良 治 国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長 土 井 美和子	(主 田文	矢口	東日本旅客鉄道株式会社顧問
高橋宏明         東北電力株式会社相談役 仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長           中鉢良治         国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長           土井美和子         国立研究開発法人情報通信研究機構監事奈良先端科学技術大学院大学理事 公益財団法人トヨタ財団顧問元文部科学大臣           原山優子         国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授野村不動産ホールディングス社外取締役野村不動産ホールディングス社外取締役宇部興産株式会社社外取締役宇部興産株式会社社外取締役第一年命ホールディングス株式会社代表取締役会長第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長           渡邊光一郎         第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	<b>河</b> 野	笞	日本政府観光局 (JNTO) 理事長
中 鉢 良 治         国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長           土 井 美和子         国立研究開発法人情報通信研究機構監事奈良先端科学技術大学院大学理事           遠 山 敦 子         公益財団法人トヨタ財団顧問元文部科学大臣           国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授株式会社セブン&アイ・ホールディングス社外取締役野村不動産ホールディングス社外取締役宇部興産株式会社社外取締役宇部興産株式会社社外取締役宇部興産株式会社社外取締役宗部興産株式会社社外取締役第六学名誉教授第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長           渡 邊 光一郎			東北経済連合会名誉会長
中 鉢 良 治         国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長           土 井 美和子         国立研究開発法人情報通信研究機構監事 奈良先端科学技術大学院大学理事           遠 山 敦 子         公益財団法人トヨタ財団顧問 元文部科学大臣           国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授           東 哲 郎         株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役野村不動産ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役第十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	高 橋 宏	明	東北電力株式会社相談役
土 井 美和子         国立研究開発法人情報通信研究機構監事           奈良先端科学技術大学院大学理事         公益財団法人トヨタ財団顧問           元文部科学大臣         国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授           東 哲 郎 株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役野村不動産ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役第一年命ホールディングス株式会社代表取締役会長           店 武 博 通         公立大学法人首都大学東京理事           演波大学名誉教授第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長			仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長
土 井 美和子     奈良先端科学技術大学院大学理事       遠 山 敦 子     公益財団法人トヨタ財団顧問       元文部科学大臣     国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授       東 哲 郎     株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役野村不動産ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宗部興産株式会社 社外取締役第六学法人首都大学東京理事筑波大学名誉教授第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	中鉢良	治	国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長
京良先端科学技術大学院大学理事遠山教子公益財団法人トヨタ財団顧問 元文部科学大臣原山優子国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー 前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授東本大学名誉教授株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役野村不動産ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役第一年命ホールディングス株式会社代表取締役会長	十 ++ 羊手	n.Z	国立研究開発法人情報通信研究機構監事
遠 山 敦 子         元文部科学大臣           原 山 優 子         国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役野村不動産ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宗部興産株式会社 社外取締役第一大学法人首都大学東京理事筑波大学名誉教授第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	上 # 天作	пТ	奈良先端科学技術大学院大学理事
元文部科学大臣  国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員東北大学名誉教授 東 哲 郎 株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役野村不動産ホールディングス 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役宇部興産株式会社 社外取締役第六学法人首都大学東京理事策波大学名誉教授第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	法山苗	7	公益財団法人トヨタ財団顧問
原 山 優 子 開発機構技術戦略研究センター客員フェロー 前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員 東北大学名誉教授 株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役 野村不動産ホールディングス 社外取締役 宇部興産株式会社 社外取締役 空部興産株式会社 社外取締役 公立大学法人首都大学東京理事 筑波大学名誉教授 第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	<b>述 川 </b>	7	元文部科学大臣
東 哲 郎 株式会社セブン&アイ・ホールディングス 社外取締役 野村不動産ホールディングス 社外取締役 宇部興産株式会社 社外取締役 宇部興産株式会社 社外取締役 公立大学法人首都大学東京理事 筑波大学名誉教授 第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	原山優	子	前総合科学技術・イノベーション会議常勤議員
東 哲 郎 野村不動産ホールディングス 社外取締役 宇部興産株式会社 社外取締役 公立大学法人首都大学東京理事			東北大学名誉教授
吉 武 博 通 筑波大学名誉教授 第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	東哲	郎	野村不動産ホールディングス 社外取締役
筑波大学名誉教授 第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長	<b>士 :                                   </b>	<b>.</b> 密	公立大学法人首都大学東京理事
渡邉光一郎	古 此	坦	筑波大学名誉教授
	· 油	白R	第一生命ホールディングス株式会社代表取締役会長
	√皮 定 兀¯ 		日本たばこ産業株式会社社外取締役

学内委員	
大 野 英 男	総長
青 木 孝 文	理事·副学長
滝 澤 博 胤	理事·副学長
早 坂 忠 裕	理事·副学長
植木俊哉	理事·副学長
原 信義	理事·副学長
下 間 康 行	理事
矢 島 敬 雅	理事
富 永 悌 二	副学長(病院長)
山口昌弘	副学長
大 隅 典 子	副学長
植木誠	副学長

#### (令和元年7月1日現在)

=				
大	野	英	男	総 長
青	木	孝	文	理事·副学長
滝	澤	博	胤	理事・副学長(高度教養教育・学生支援機構長)
早	坂	忠	裕	理事·副学長
植	木	俊	哉	理事·副学長
原		信	義	理 事・副学長
下	間	康	行	理事
矢	島	敬	雅	理事
富	永	悌	=	副学長(病院長)
山		昌	弘	副学長
大	隅	典	子	副学長
植	木		誠	副学長
森	本	浩	_	総長補佐(文学研究科長)
八直	重樫	伸	生	総長補佐 (医学系研究科長)
長	坂	徹	也	総長補佐(工学研究科長)
高	梨	弘	毅	総長補佐(金属材料研究所長)
八	鍬	友	広	教育学研究科長
成	瀬	幸	典	法学研究科長
照	井	伸	彦	経済学研究科長
寺	田	眞	浩	理学研究科長
佐	々木	啓	_	歯学研究科長
根	東	義	則	薬学研究科長
阿	部	敬	悦	農学研究科長
高	橋	大	厚	国際文化研究科長
中	尾	光	之	情報科学研究科長
杉	本	亜砂	少子	生命科学研究科長
土	屋	範	芳	環境科学研究科長
厨	Ш	常	元	医工学研究科長
JII	島	隆	太	加齢医学研究所長
大	林			流体科学研究所長
塩	入		諭	電気通信研究所長
村	松	淳	司	多元物質科学研究所長
今	村	文	彦	災害科学国際研究所長
髙	橋		哲	病院総括副病院長
高	倉		樹	東北アジア研究センター長
小	—— 谷	元	子	高等研究機構長(材料科学高等研究所長)
<u>-</u> 山	本	雅	_ <u>-</u> 之	東北メディカル・メガバンク機構長
柳	 原	敏	昭	文学研究科教授
小	嶋	秀	樹	教育学研究科教授
中	原	茂	樹	法学研究科教授
日	- 31		聡	経済学研究科教授
小		隆	博	理学研究科教授
<u>·</u>	内	_		医学系研究科教授
	橋	信	博	歯学研究科教授
<u></u> 岩	渕	 好	····· 治	
<del>U</del>	//·J	ΥJ	/口	木丁 川ノいておりと

**教育研究評議会** 

	猪	股		宏	工学研究科教授
	高	橋	英	樹	農学研究科教授
	佐	藤		透	国際文化研究科教授
ĺ	橋	本	浩	_	情報科学研究科教授
ĺ	田	村	宏	治	生命科学研究科教授
ĺ	吉	岡	敏	明	環境科学研究科教授
ĺ	西	條	芳	文	医工学研究科教授
ĺ	佐々	? 木	孝	彦	金属材料研究所教授
	本	橋	ほづ	み	加齢医学研究所教授
	丸	田		薫	流体科学研究所教授
ĺ	羽	生	貴	弘	電気通信研究所教授
	寺	内	正	己	多元物質科学研究所教授
	丸	谷	浩	明	災害科学国際研究所教授
	伊	藤	千	裕	高度教養教育·学生支援機構教授
•					

部 局	職種	総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務·技術 職員等	計
総 長		1									IM J C 13	
里事			7									
监事	,			2(1)								
	本部事務機構										2	
	総長・プロボスト室						1			1	9	
	総務企画部							1	1	2	52	
	人事企画部										58	
本部事務機構	教育・学生支援部										91	
トロレーティカルな「日	財務部										72	
	研究推進部										26	
	施設部										42	
	情報部										21	
	監査室										6	
文学部・文学研究科	·				43	34		13	2	92	20	1
<b>教育学部・教育学研</b>					16	19		7		42	10	
去学部・法学研究科					38	14		5	2	59	14	
経済学部・経済学品					33	18	5	4	6	66	18	
里学部·理学研究科					71	77	5	79	4	236	71	3
医学部・医学系研究					86	60	31	107	17	301	41	3
対学部・歯学研究科					22	15	10	52		99	18	1
ま学部・薬学研究科 エヴァス					18	10	7	29	3	67	15	
L学部・工学研究科					115	109	5	108	11	348	107	4
農学部・農学研究科	7				40	37	,	37	2	116	28	1
国際文化研究科					20	16	1	1		38	15	
青報科学研究科					33	36	1	24		94	11	1
<b>上命科学研究科</b>					27	12	2	33	4	74	13	
環境科学研究科					16	15		15	4	50	7	
医工学研究科					18	5	1	4		28	4	
金属材料研究所 一					28	35	1	63	4	131	36	1
加齢医学研究所					14	10	3	26		53	13	
流体科学研究所 原有深信研究系					18	9		19		46	11	
電気通信研究所	ir.				20	21		24		65	15	
多元物質科学研究所 5年到学园際研究					46	30	8	73	1	158	28	1
災害科学国際研究的					18	17	2	13	2	52	9	
	図書館										27	
	医学分館										6	
図書館	北青葉山分館										3	
	工学分館										6	
<b>=</b> P <b>□</b>	農学分館				7 7	00	7.4	007		200	4	0.7
ち 院					11	22	74	227	65	399	1,788	2,1
青報シナジー機構	- 士 坪 徽 珙					20	10	22		100	2	-
高度教養教育・学生					23	38	18	22	2	103	18	1
	_高等研究機構 材料科学高等研究所				14	8	1	31	4	58	6	
高等研究機構					14	0	- 1	<u> </u>	4	58 5	О	
	学際科学フロンティア研究所				4	3		41		48	2	
国際連携推進機構	テホイナノロノノイグ 断九所				4	1		41		1	1	
国际連携推進機構 学位プログラム推)					1					<u>_</u>	- 1	
チ位フログラム推り 全学連携機構	<b>≟1/X</b> 1円				2					2	19	
ェチ選拐城博 研究推進・支援機構	<b>K</b>				1	1			1	3	13	
がた。 大阪 である お 業 支 援 機 構	7				1	2	1	4		8	367	3
	ジオアイソトープセンター				5		1	4	3	13	557	
関係では 関係では 関係である。 関係である。							'			10	3	
主威文化労調査室 東北アジア研究セ:	·/ター				10	6		8		24	U	
学術資源研究公開・					3	4		6		13		
13.000 (13.00 (					4	5		7		16		
								1		10		
					Δ					13	2	
ナイバーサイエン					3	5 3	1	6				
ナイバーサイエン: ニュートリノ科学{	研究センター				3	3	1	6				
ナイバーサイエン: ニュートリノ科学( 男女共同参画推進	研究センター センター					3	1			2	1	
ナイバーサイエン: ニュートリノ科学? 男女共同参画推進 スピントロニクス:	研究センター センター 学術連携研究教育センター				3	3	1	1		2	1	
ナイバーサイエン: ニュートリノ科学? 男女共同参画推進 スピントロニクス: 效理科学連携研究t	研究センター センター 学術連携研究教育センター 2ンター				3	3	1	1	1	4	1	
ナイバーサイエン: ニュートリノ科学? 月女共同参画推進 スピントロニクス: 牧理科学連携研究t スマート・エイジン	研究センター センター 学術連携研究教育センター 2ンター /グ学際重点研究センター				3	3	1	1 1 6	1	4 8	1	
サイバーサイエン ニュートリノ科学科 男女共同参画推進 スピントロニクス 対理科学連携研究セ スマート・エイジン ヨッタインフォマ	研究センター センター 学術連携研究教育センター 2ンター バ学際重点研究センター ディクス研究センター				3	3	1	1	1	4		
ナイバーサイエン ニュートリノ科学 月女共同参画推進 スピントロニクス 牧理科学連携研究t スマート・エイジン ヨッタインフォマニ キャンパスデザイ	研究センター センター 学術連携研究教育センター 2/グラー 2/グ学際重点研究センター ディクス研究センター				3	3	1	1 1 6	1	4 8 1	3	
サイバーサイエン: ニュートリノ科学/ 男女共同参画推進 スピントロニクス: 牧理科学連携研究: スマート・エイジ: ヨッタインフォマ: キャンパスデザイ: も端スピントロニ	研究センター センター 学術連携研究教育センター ミンター ・・・/グ学際重点研究センター ティクス研究センター シ室 ウス研究開発センター				3	3	1	1 1 6	1	4 8	3	
ナイバーサイエン: ニュートリノ科学/ 月女共同参画推進 スピントロニクス: 牧理科学連携研究: スマート・エイジ: ヨッタインフォマ: キャンパスデザイ: も端スピントロニ・ オープンオンライ:	研究センター センター 学術連携研究教育センター ミンター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				1 1	1 2		1 1 6 1		4 8 1	3	
ナイバーサイエン、 ニュートリノ科学内 見女共同参画推進 スピントロニクス。 牧理科学連携研究・セスマート・エイジン ヨッタインフォマー トャンパスデザイン 大端スピントロニ オーブンオンライ: 未来科学技術共同	研究センター センター 学術連携研究教育センター ミンター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				3	3	1	1 1 6	1	4 8 1 4 56	3	
ナイバーサイエン: ニュートリノ科学科 男女共同参画推進 な理科学連携研究 なマート・エイジ: ヨッタインフォマ: キャンパスデザイ: も端スピントロニクス ・ボーブンオンライ、 未来科学技術共同。 環境保全センター	研究センター センター 学術連携研究教育センター センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				1 1 20	20		1 1 6 1	4	4 8 1 4 56	3	
サイバーサイエン ニュートリノ科学科 男女共同参画推進 及世科学連携研究な な世科学連携研究なマート・エイジン ヨッタインフォマ キャンパスデザイ た端スピントロー オ・来科学技術共同 環境保全センター 教育情報基盤セン	研究センター センター 学術連携研究教育センター 2グ学際重点研究センター アイクス研究センター ティクス研究センター シ室 ウス研究開発センター 少教育開発推進センター 研究センター				1 1	20	1	1 1 6 1		4 8 1 4 56 1 8	3	
サイバーサイエン ニュートリノ科学 男女共同参画推進 スピントロニクス 数理科学連携研究 スマート・エイジン ヨッタインフォマ キャンパスデザイ た端スピントロニ オーブンオンラ モ来発生なッター 数質情報基盤センタ 遺伝子実験センター	研究センター センター 学術連携研究教育センター 学術連携研究教育センター 2グ学際重点研究センター ディクス研究センター シマ室 ウス研究開発センター シ教育開発推進センター 研究センター				20	20	1 1	1 1 6 1 4 11 2	4	4 8 1 4 56 1 8	3	
サイバーサイエン。 ニュートリノ科学 男女共同参画推進 スピントロニクス! 数理科学連携研究! ヨッタインフォマ? キャンパスデザイ! も端スピントロニ! オーブンオンライ! 未来保保全セ数に 最質情報整盤センタ! 責にエメディカル・ン	研究センター センター 学術連携研究教育センター ジグター ジグ学際重点研究センター ディクス研究センター シ室 ウス研究開発センター シ教育開発推進センター 研究センター				20	3 1 2 20 3 1 9	1	1 1 6 1 4 11 2	1 10	4 8 1 4 56 1 8 1 75	3 1 8	
ナイバーサイエン: ニュートリノ科学/ 男女共同参画推進 スピントロニクス! 牧理科学連携研究! スマート・エイン ヨッタインフォママー キャンパスデザイ ・ ボスピントロニ オーブンオンライ・ 未来科学技術共同: 環境情報基盤とクター 数質伝子実験センター な者で、アイクロシステム はアイクロシステム	研究センター センター 学術連携研究教育センター ジグター ジグ学際重点研究センター ディクス研究センター シ空 ウス研究開発センター シ教育開発推進センター 研究センター ター ー くガバンク機構 融合研究開発センター				20 2 10 3	20	1 1	1 1 6 1 4 11 2	4	4 8 1 4 56 1 8 1 75	3 1 8	
サイバーサイエン: ニュートリノ科学ド 男女共同参画推進 な理科学連携研究 な理科学連携研究 コッタインフォマ キャンパスデザイ ・ ボーブンオスピントロニク 最情報基盤センター 教育情報基盤センター 数では、アディスピントロニオース では、アディカル・ステムドース は、アディカル・ステムドーステムトロステムトロステムトロステムトロステムトロステムト国際集積エレクト	研究センター センター 学術連携研究教育センター 2ンター ノグ学際重点研究センター ア・インマー ア・インマー ア・インマー ア・インマー ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インク機構 融合研究開発センター コニクス研究開発センター				20 20 3 10 3	3 1 2 20 3 1 9	1 1	1 1 6 1 4 11 2	1 10	4 8 1 4 56 1 8 1 75 10	3 1 8	
サイバーサイエン ニュートリノ科学科 男女共同参画推進 スマート・エイジン とロッタインフォマラー キャンパスデザイ・ もポスピントロニク 大端スピントロニク 大端スピンオンラー同 環境保全基盤センター 大変を表数をセンター 大変を表数をといる では、アイカルテム 国際集構をは、アイカルテム 国際集携先端材料 大変を表数をといる。	研究センター センター 学術連携研究教育センター 2ンター ノグ学際重点研究センター ア・インマー ア・インマー ア・インマー ア・インマー ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インク機構 融合研究開発センター コニクス研究開発センター				20 20 10 3 13 13	20	1 1	1 1 6 1 4 11 2	1 10	4 8 1 4 56 1 8 1 75 10 17	3 1 8 18 2 3	
サイバーサイエン ニュートリノ科学 男女共同参画推進 スピントロニ会研 数理科学連携研究 スピットのエクの究 スマート・エイジン ヨャンパスデザイン もポスピントンライ に 大一、エーリンオン 最近子 まなが で で で で で で の の の の の の の の の の の の の	研究センター センター 学術連携研究教育センター 2ンター ノグ学際重点研究センター ア・インマー ア・インマー ア・インマー ア・インマー ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インター ア・インク機構 融合研究開発センター コニクス研究開発センター				20 20 10 3 13 13 2	20	1 1	1 1 6 1 4 11 2	1 10	4 8 1 4 56 1 8 1 75 10 17 17 1	3 1 8	
サイバーサイエン ニュートリノ科学科 男女共同参画推進 スマート・エイジン ヨッタインフォマ キャンパスデザイ・ キャンパスデザイ・ も端スピントローク まで、サービー 大手、大手を 大手、大手を を は、サービー は は、サービー は は、サービー は は、サービー は は、サービー は は、サービー は は、サービー は は は、サービー は は は は は は は は は は は は は は は は は は	研究センター センター 学術連携研究教育センター 学術連携研究教育センター ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				20 20 10 3 13 13	20	1 1	1 1 6 1 4 11 2	1 10	4 8 1 4 56 1 8 1 75 10 17	3 1 8 18 2 3	

<sup>※</sup>再雇用職員含む。 ※休職者含む。 ※( )は非常勤で内数。

#### 学部

	学 科	学科目数	学科目
文学部			
1学科5学科目	人文社会学科	5	日本文化、東洋文化、西洋文化、人間文化、社会文化
	774 IV	77411 CD #F	PM TV I
教育学部	学科	学科目数	学科目
1学科2学科目	教育科学科	2	教育学、教育心理学
法学部	学 科	学科目数	学科目
1学科1学科目	法 学 科	1	法学·政治学
<b>₹₽₹₽₽</b>	学 科	学科目数	学科目
<b>経済学部</b> 2学科6学科目	経 済 学 科	3	基礎理論、応用経済、経済史
2字科0字科日	経 営 学 科	3	経営学、会計学、統計・数理科学
	学 科	学科目数	学科目
	数 学 科	1	数学
	物 理 学 科	1	物理学
理学部	宇宙地球物理学科	1	宇宙地球物理学
7学科7学科目	化 学 科	1	化学
	地 圏 環 境 科 学 科	1	地圈環境科学
	地球惑星物質科学科	1	地球惑星物質科学
	生物 学科	1	生物学
	学 科	学科目数	学科目
医学部			人体発生·構造学、分子生物·生化学、生理学、薬理学、病理学、感染·免疫学、
2学科 15学科目	医 学 科	15	内科学、外科学、小児科学、精神医学、皮膚科学、泌尿・産婦人科学、感覚器病学、 麻酔・救急医学、社会医学
フ講座	保健学科	7	基礎看護学、臨床看護学、地域保健看護学、放射線基礎技術学、
	体 连 子 竹	(講座)	放射線医療技術学、基礎検査学、臨床検査学
歯学部	学 科	学科目数	学科目
1 学科5 学科目	歯 学 科	5	口腔基礎生物学、解剖生理歯科学、口腔機能再建学、口腔保健発育学、 口腔病態基礎外科学
			mar non-two IIII
	学 科	学科目数	学科目
薬学部	薬  学  科	1	薬学
2学科2学科目	創薬科学科	1	創薬科学
		•	דרויאנט.
	学科	学科目数	学科目
	<del>5</del> 14	子们日奴	機能システム学、エネルギー学、材料メカニクス、ナノメカニクス、ロボットシステム、
			ナノシステム、航空システム、宇宙システム、原子核システム安全工学、エネルギー物
	機械知能・航空工学科	17	理工学、粒子ビーム工学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資 源循環プロセス学、環境創成計画学、バイオ・メディカルデバイス、バイオ・メディカル
			システム
工学部	雷気情報物理丁学科	11	エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、通信システム工学、 波動工学、電子物性工学、電子システム工学、計算機基礎工学、
5学科50学科目	# X/ II # 10 72 7 7 71	• •	知能情報処理工学、システム情報工学、応用物性物理学、応用材料物理学
	化学・バイオエ学科	9	環境資源化学、分子システム化学、有機材料合成化学、量子無機材料化学、 プロセス要素工学、プロセスシステム工学、超臨界流体工学、生体分子化学、生体機能化学
			プロセス安米エチ、プロセスクスプロエチ、短崎が川神工チ、王神ガエルチ、王神城郎ルチ 創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、材料環境学、ナノ材料物性学、
	材料科学総合学科	7	情報デバイス材料学、マイクロシステム学、生体材料システム学
	建築・社会環境工学科	6	基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、建築計画学、 建築構成学
			<b>性术IBI</b> 从于
	学科	学科目数	学科目
曲半如			
<b>農学部</b> 2学科13学科目	生物生産科学科	8	植物生産科学、植物適応形質学、農業資源経済学、動物資源開発学、動物生命科学、動物資源機能学、水圏生物機能学、水圏動物生産科学
	応用生物化学科	5	分子生物学、生物化学、植物分子生理学、生命有機化学、食品機能科学

# 大学院

	→ <i>*</i>	=# <u></u> w.	This plan
	専 攻       日 本 学	講座数	日本文化学、日本語科学、日本文学、日本歴史学
文学研究科	広域文化学	3	域際文化学、東洋文化学、西洋文化学
3専攻12講座	総合人間学	4	哲学倫理学、芸術人間学、心理言語人間学、社会人間学
		1	◎実践宗教学
教育学研究科	専 攻	講座数	講座
1専攻5講座	総合教育科学	5	教育学、教育心理学、教育情報アセスメント、○多文化教育論、○教育情報応用論
	専 攻	講座数	講座
法学研究科	総合法制(法科大学院)	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
3専攻8講座	公共法政策(公共政策大学院)	2	行政法政策、ガバナンス研究
	法政理論研究(研究大学院)	3	トランスナショナル法、グローバル政治分析、グローバル法文化分析
₽₽₩₹₩₽₽₽₽₩	専 攻	講座数	講座
<b>経済学研究科</b> 2專攻12講座	経済経営学	8	経済基盤、経営基盤、現代経済、システム科学、現代経営、医療福祉、地域政策、グローバルシステム
2.号次12.瞬/至	会計専門職(会計大学院)	4	会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理
	専 攻	講座数	講座
	数    学	5	代数学、幾何学、解析学、多様体論、応用数理
1田兴江120年3	物理学	16	量子基礎物理学、素粒子・核物理学、電子物理学、量子物性物理学、固体統計物理学、相関物理学、 領域横断物理学、○原子核理学、○高エネルギー物理学、○結晶物理学、○金属物理学、 ○分光物理学、○核放射線物理学、※加速器科学、※強相関電子物理学、※量子計測
<b>理学研究科</b> 6專攻48講座	天 文 学	3	天文学、理論天体物理学、※スペース宇宙科学
= \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	地 球 物 理 学	7	固体地球物理学、太陽惑星空間物理学、流体地球物理学、地球環境物理学、○地殼物理学、 ○惑星圏物理学、※固体地球物理学
	化    学	10	無機·分析化学、有機化学、物理化学、境界領域化学、先端理化学、○生体機能化学、 ○化学反応解析、○固体化学、※分離化学、※重元素化学
	地    学	7	地圈進化学、環境地理学、地球惑星物質科学、環境動態論、比較固体惑星学、※地圏物質循環学、※地球内部反応
	専 攻	講座数	講座
<b>医学系研究科</b> 4專攻58講座	医科学	46	細胞生物学、生体機能学、病理病態学、内科病態学、発生・発達医学、外科病態学、神経・感覚器病態学、情報健康医学、公共健康医学、〇四期制御学、〇加齢脳科学、〇サイクロトロン核医学、※分子・神経イメージング、※がん医科学、※先進成育医学、※がん生命科学、※地域精神医療、※先進循環器医学、※グローバル感染症学、※地域精神医療、※先進循環器医学、※グローバル感染症学、※立場県北先制医療学、※次世代小児医療、※新興・再興感染症学、※腎臓病関連疾患総合医療、※地域先進医療学、※次世代小児医療、※新興・再興感染症学、※腎臓病関連疾患総合医療、※地域先進医療学、※脳神経精神医学、※先進放射線核医学、※臨床呼吸器・感染症学、 《循環器EBM開発学、《循環器先端医療開発学、《利覚先端医療学、《大動脈疾患治療開発学、《予防精神医学、《網膜疾患制御学、《難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携、《眼科画像情報解析学、《先進呼吸管理学、《スポーツ・運動機能再建医学、《地域総合診療医育成、《感染制御インテリジェンスネッサワーク
	障 害 科 学	4	◇がPM ( ) が PM ( )
	保 健 学	6	基礎·健康開発看護学、家族支援看護学、医用情報技術科学、生体応用技術科学、基礎検査医科学、 臨床検査医科学
	公 衆 衛 生 学	2	情報健康医学、公共健康医学
	専 攻	講座数	講座
<b>歯学研究科</b> 1専攻11講座	歯 科 学	11	□時 「注」 □腔生物学、□腔機能形態学、□腔修復学、□腔保健発育学、□腔病態外科学、顎□腔創建学、 ○□腔腫瘍病態学、※□腔免疫病態制御学、※長寿□腔科学、 ◇次世代歯科材料工学、◇先端フリーラジカル制御学
	専 攻	講座数	講座
薬学研究科	分 子 薬 科 学	4	分子制御化学、分子解析学、○分子動態解析学、※分子イメージング薬学
3専攻9講座	生 命 薬 科 学       医 療 薬 学	2	生命解析学、生命情報薬学 医療薬学、○病態分子薬学、※医薬品評価学
	区 惊 栄 子		区原来子、○内忠力丁来子、※区条吅計Ⅲ子
	専 攻	講座数	講 座   機能システム学、エネルギー学、先進機械機能創成、○破壊機構学、○知能流体システム学、
	機械機能創成	6	○多元物質応用システム工学
	ファインメカニクス	8	材料メカニクス、ナノメカニクス、バイオメカニクス、先進ファインメカニクス、 ○破壊予知学、○ナノ流動学、○表面ナノ物理計測制御学、○損傷計測学
	ロボティクス	4	ロボットシステム、ナノシステム、先進ロボティクス、〇知的メカノシステム工学
工学研究科	航空宇宙工学	5	航空システム、宇宙システム、先進航空宇宙工学、○航空宇宙流体工学、※将来宇宙輸送工学 先進原子核工学、原子核システム安全工学、エネルギー物理工学、粒子ビーム工学、
18専攻95講座	量子エネルギー工学	12	○エネルギー材料工学、○エネルギー化学工学、○量子物性工学、○加速器放射線工学、 ※分子イメージング工学、※核融合炉システム工学、※核融合炉材料工学、※廃炉基盤工学
	電気エネルギーシステム	4	エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、○情報エネルギーシステム工学、 ◇先端電力工学
	通 信 工 学	4	知的通信ネットワーク工学、通信システム工学、波動工学、〇伝送工学
	電子工学	7	超微細電子工学、電子制御工学、物性工学、電子システム工学、○電子デバイス工学、 ○電子材料工学、○極限表面制御工学

	± 76	=# r <del>in</del> #4	Table code
	専 攻	講座数	講座
	応用物理学	5	応用界面物理学、応用物性物理学、応用材料物理学、○低温電子材料物性学、○電子・分光計測学
	応     用     化     学       化     学     工     学	4	原子・分子制御工学、環境資源化学、分子システム化学、○反応設計学 プロセス解析工学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、○反応分離プロセス
	ボイオエ学	4	応用生命化学、生体分子化学、生体機能化学、○生物有機化学
工学研究科	金属フロンティア工学	6	金属プロセス工学、創新創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、○プロセス設計学、 ○プロセス制御学、◇先進鉄鋼材料組織制御学(JFE スチール)
18専攻95講座	知能デバイス材料学	6	材料電子化学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、〇ナノ構造物質工学、〇物質機能創製学、
	材料システム工学	5	○材料表面機能制御学 接合界面制御学、マイクロシステム学、生体材料システム学、○物質構造評価学、 ○材料機能制御プロセス学
	土 木 工 学	5	○村村成祀が脚ノロセス子 数理システム設計学、基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学
	都市・建築学	4	都市・建築デザイン学、都市・建築計画学、サステナブル空間構成学、建築構造工学
	技術社会システム	2	実践技術経営融合、先端社会工学
	専 攻	講座数	講座
農学研究科	資源生物科学	9	植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、資源環境経済学、○沿岸生物生産システム学、 ○栽培植物環境科学、※資源環境政策学、※縁辺深海生態系動態学、◎家畜生産機能開発学
3専攻20講座	応用生命科学	4	環境生命科学、植物機能科学、動物機能科学、分子細胞科学
	生物産業創成科学	7	微生物機能開発科学、食品機能健康科学、天然物生物機能科学、生物産業情報科学、◎微生物資源学、 ◎発酵微生物学、◇ J-オイルミルズ油脂イノベーション
国際文化研究科	専 攻	講座数	講座
1 専攻8講座	国際文化研究	8	ヨーロッパ・アメリカ研究、アジア・アフリカ研究、国際日本研究、国際政治経済論、 国際環境資源政策論、多文化共生論、言語科学研究、応用言語研究
	専 攻	講座数	講座
	情報基礎科学	11	「情報基礎数理学、情報応用数理学、計算科学、ソフトウェア科学、○情報論理学、 ○コミュニケーション論、○高性能計算論、○情報セキュリティ論、○広域情報処理論、○データ 基礎情報学、※先進的計算システム論
情報科学研究科 4專攻34講座	システム情報科学	9	システム情報数理学、知能情報科学、生体システム情報学、知能ロボティクス学、○音情報科学、 ○高次視覚情報学、○情報コンテンツ学、○融合流体情報学、○ソフトウェア構成論
1,120,1997	人間社会情報科学	6	人間情報学、社会政治情報学、社会経済情報学、人間社会計画学、メディア情報学、 ○コミュニケーション心理学
	応 用 情 報 科 学	8	応用情報技術論、応用生命情報学、○情報通信ソフトウェア学、○情報ネットワーク論、 ○流動システム情報学、○ブレインファンクション集積学、○健康情報学、※複雑系統計科学
	専 攻	講座数	講座
<b>上</b> 会17出前的17	脳生命統御科学専攻	3	ーニーニー 神経ネットワーク、細胞ネットワーク、○分子制御ネットワーク
生命科学研究科 3専攻12講座	生態発生適応科学専攻	4	個体ダイナミクス、生態ダイナミクス、○多様性ダイナミクス、※生態複合ダイナミクス
3 守攻 1 と 調性	分子化学生物学専攻	5	ケミカルバイオロジー、分子ネットワーク、○階層的構造ダイナミクス、◎微生物進化機能開発、 ※ゲノム情報学
	専 攻	講座数	講座
1四1キエハシキアログロエハ	先 進 社 会 環 境 学	6	資源戦略学、エネルギー資源学、環境政策学、○環境応用政策学、 ※環境リスク評価学、◎環境物質政策学(DOWA ホールディングス)
境境科学研究科 2専攻18講座	先 端 環 境 創 成 学	12	都市環境・環境地理学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、 資源循環プロセス学、環境創成計画学、○地設環境システム創成学、○東北アジア地域社会論、 ○東北アジア地域文化論、○環境材料物理化学、○環境システム材料学、※環境適合材料創製学、 ※地球環境変動学
	専 攻	講座数	講座
<b>医工学研究科</b> 1 専攻 11 講座	医 工 学	11	計測・診断医工学、治療医工学、生体機械システム医工学、生体再生医工学、社会医工学、医療機 器創生医工学、○生体流動システム医工学、○人工臓器医工学、○生体材料学、○生体システム制 御医工学、○生体情報システム学
	専 攻	講座数	講座
専門職大学院	法 科 大 学 院	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
3専攻9講座	公共政策大学院	2	行政法政策、ガバナンス研究
	会 計 大 学 院	4	会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理

注) ○は協力講座を、※は連携講座を、◎は寄附講座を、◇は共同研究講座を表す。

# 附置研究所

金属材料	料研究所	
(国際共同利用	• 共同研究拠点	

部門数 研究目的及びその研究部門

材料科学に関する学理及びその応用の研究

金属物性論、結晶物理学、磁気物理学、量子表面界面科学、低温物理学、低温電子物性学、量子ビーム金属物理学、量子機能物性学、金属組織制御学、計算材料学、材料照射工学、耐環境材料学、原子力材料工学、配子材料物性学、ランダム構造物質学、構造制御機能材料学、錦体物性化学、非平衡物質工学、磁性材料学、結晶材料化学、水素機能材料工学、複合機能材料学、加工プロセス工学、アクチノイド物質科学、不定比化合物材料学、分析科学、先端・萌芽

加齢医学研究所 (共同利用・共同研究拠点)

部門数 研究目的及びその研究部門

加齢医学に関する学理及びその応用の研究

加齢制御、腫瘍制御、脳科学、◎認知機能発達(公文教育研究会)

流体科学研究所 (共同利用·共同研究拠点) 部門数 研究目的及びその研究部門

流動現象に関する学理及びその応用の研究

流動創成、複雑流動、ナノ流動、◇先端車輌基盤技術研究 (ケーヒン) Ⅱ

電気通信研究所 (共同利用・共同研究拠点) 部門数 研究目的及びその研究部門

高次情報通信に関する学理およびその応用の研究

情報デバイス、ブロードバンド工学、人間情報システム、システム・ソフトウェア

多元物質科学研究所 (共同利用·共同研究拠点) 部門数 研究目的及びその研究部門

多元的な物質に関する学理及びその応用の研究

有機・生命科学、無機材料、プロセスシステム工学、計測、◇非鉄金属精錬環境科学

災害科学国際研究所

部門数

5

4

27

4

研究目的及びその研究部門

災害科学に関する学理及びその応用の研究

災害リスク、人間・社会対応、地域・都市再生、災害理学、災害医学、情報管理・社会連携、 ②地震津波リスク評価(東京海上日動)

注) ◎は寄附研究部門を、◇は共同研究部門を表す。

# ■ 研究施設・組織・機構等

#### 機構

施設名	設置目的
情報シナジー機構	本学全体の情報基盤整備等に係る企画立案、調整及び協議を行い、並びにその実施を担うとともに、情報システムに係る整備、運用、管理及び利用に関する調整を行い、並びに情報基盤に基づく各種のサービスを提供するとともに情報セキュリティ対策の推進に必要な措置を講することにより、本学の情報化の推進を図る。
高度教養教育·学生支援機構 (教育関係共同利用拠点)	高度教養教育及び学生支援に関する調査研究、企画及び提言並びにそれらの方法の開発及び実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、本学の教育の質の向上に寄与する。
高等研究機構	世界最高水準の研究者が集結する優れた国際的研究環境を構築することにより、世界最高の研究成果及び既存の学問領域を超えた新しい学術分野を創出し、並びに世界をリードする横断的分野融合研究を推進するとともに、次代を担う若手研究者を養成する。
材料科学高等研究所	革新的材料科学に関する国際的な研究拠点として、原子・分子レベルにおける学理の深化及び異文化融合を通じて新たな原子分子制御法の確立及びこれに基づく革新的な高度実用材料の創出を図り、もって我が国の産業経済の持続的発展並びに当該学術分野における先端性及び優位性の維持及び進展に資する。
未来型医療創成センター	ゲノム医学を中核に基礎生命科学、情報科学等の卓越した研究力を結集した拠点として、ゲノム・オミックス情報その他の生体情報及び臨床情報を活用し、人工知能を含むデータ科学に基づく研究並びに遺伝要因及び環境要因と疾病との関係性の解明に関する研究並びにその成果の臨床実装を推進するとともに、これらを担う人材の養成を行うことにより、個別化医療及び個別化予防を柱とする未来型医療の実現に資する。
学際科学フロンティア研究所	異分野融合による学際的研究を開拓し、及び推進するとともに、各研究科、各附置研究所及び学位プログラム推進機構学際高等研究教育院との連携を通じて若手研究者の研究を支援することにより新たな知と価値を創出し、より豊かな人類社会の発展に貢献する。
国際連携推進機構	関係部局との連携の下、本学の国際化環境整備を促進し、職員及び学生の国際流動性の向上並びに教育研究における国際連携強化を 一体的に行う。
学位プログラム推進機構	学問領域の壁を超え、かつ、国境の壁を超えた先進的な大学院の学位プログラム等の実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、これまでの本学の教育の質の向上に寄与し、国際的な指導者として活躍する人材を育成することを目的とする。
産学連携機構	産業界と連携して研究開発を行う関係部局との連携の下、世界標準の産学連携マネジメントを基盤とした本学の産学官連携の推進に 関する業務を行うことにより、本学の研究成果の社会実装を図り、社会経済におけるイノベーションの推進に寄与する。
災害復興新生研究機構	関係部局との連携の下、本学が東日本大震災の被災地の中心に所在する総合大学として被災地域の課題を踏まえ、その特色及び資源を活用して行う研究、人材育成及び新産業創出等の取組を推進し、その成果を社会に発信し、及び実践を図ることにより、東日本大震災からの復興及び新生に寄与する。
研究推進・支援機構	本学における研究の推進及び支援を行うことにより、本学の研究の一層の発展に寄与し、分野融合及び新たな学問分野の創出を実現するとともに、その成果を社会に還元する。
事業支援機構	本学における適切な職場環境の形成及び教育研究に関する技術的支援を行うことにより、教育研究活動の一層の充実に資する。

# 研究施設・組織・機構等

# 学内共同教育研究施設

施設名	設置目的
サイクロトロン・ラジオアイソ トープセンター	サイクロトロン設備を多目的利用に供し、高レベル及び短寿命のラジオアイソトーブの取扱設備を共用させるとともに、放射線の安全管理に係る全学的業務を行い、併せて加速器並びに測定器に係る原子核物理学、核薬学、サイクロトロン核医学及び放射線管理に関する研究開発を行う。
埋蔵文化財調査室	本学の施設整備が円滑に行われるために、構内の埋蔵文化財に関する調査を行い、併せて資料の保管及びその活用を図る。
東北アジア研究センター	東北アジア(東アジア及び北アジア並びに日本をいう。)地域に関する地域研究を学際的及び総合的に行う。
学術資源研究公開センター	学術標本、歴史資料として重要な公文書その他の本学の歴史に関する資料、植物園の敷地内に生育する生物資源等、本学が所蔵する学術 資料の収集、保管又は保全及び研究を行い、もって学内の教育研究に資するとともに、これらを広く一般に公開して社会教育の振興にき 与する。
電子光理学研究センター (共同利用・共同研究拠点)	電子加速器から得られる様々なエネルギーの電子・光子ビームを主要な手段として、原子核物理学、加速器科学、物質科学等の物質諸階層の基礎と応用の研究を推進し、並びに新たな電子光ビームの開発を通じて、未踏研究分野の開拓及び新研究領域の創造を目指すとともに、電子光科学諸分野における研究者、技術者等の養成を行う。
サイバーサイエンスセンター (共同利用・共同研究拠点)	全国共同利用の学内共同教育研究施設等として、研究、教育等に係る情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、本学の情報化の推進において中核的な役割を担う。
ニュートリノ科学研究センター	低エネルギー・ニュートリノの観測及び極低放射能環境における実験的研究を通じて、素粒子物理学、宇宙物理学及び地球物理学の発展に寄与する。
男女共同参画推進センター	男女共同参画委員会の方針に基づき、女性研究者の育成支援等に係る施策を行うことにより、本学における男女共同参画を推進する。
スピントロニクス学術連携研究 教育センター	世界をリードする日本のスピントロニクス研究の国際競争力の向上、新産業の創出、現産業の強化及び次世代人材の育成を目指し、国内外の研究機関との共同研究を促進する連携ネットワークの拠点としての役割を担う。
数理科学連携研究センター	先端的社会実現に向けたテクノロジー及びイノベーションの原動力となる数学・数理科学の基礎基盤構築を促進し、異分野連携研究による新分野の創出及び社会の要請に応える研究教育活動を含めた総合的な数理科学の進展を行う。
スマート・エイジング学際重点 研究センター	基礎生命科学、人文社会科学その他の加齢科学に関する広範な学問領域が重層的かつ融合的に協同し、社会での認知症予防実践を提言する文理融合の学際的国際共同研究を行うことにより、真に有機的な融合科学としての加齢科学の構築を図り、もって超高齢社会における個人及び社会の活力維持に向けたスマート・エイジングを実現する。
ヨッタインフォマティクス 研究センター	人文社会科学、理工学及び情報科学の知を連携し、質・価値の概念を導入した情報処理手法の構築及び社会実装に向けた文理連携研究を行うことにより、情報質を取り扱う新たな情報学を確立し、もって多様な価値を享受できる社会の実現に貢献する。
タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター	先端的な推論・認識能力と高機能計算基盤を持つロバストなフィジカルシステム及びサービスに関する研究開発を通して、無限定な実世界で安定して稼働するタフ・サイバーフィジカル AI を実現するとともに、産官学連携の下、社会課題の解決に向けた研究成果の社会実装及び若手人材の育成を行い、もってレジリエントでスマートな社会の発展に貢献する。
先端スピントロニクス 研究開発センター	基礎から応用にわたる幅広い分野の卓越した研究者を海外有力大学との共同研究を通じて戦略的に結集し、スピントロニクスにおける基礎物性及び新規材料の研究並びに革新的デバイス及びその集積化に向けた研究開発を推進することにより、スピンを基礎に置いた科学技術を世界に先駆けて切り拓くとともに、本学における研究イノベーションシステムの構築に寄与する。
キャンパスデザイン室	本学の伝統を継承し、及び長期的視点に立ったキャンバスのデザインに関する調査及び研究を行い、専門的な観点から国立大学法人東北大学キャンバス総合計画委員会を支援する。
オープンオンライン 教育開発推進センター	本学における大規模公開オンライン講座に関する研究開発、企画及び支援を関係部局との連携の下、一体的に行うとともに、本学の教育研究成果をオンライン教育により国内外へ発信及び公開することにより、本学の教育研究の一層の発展に寄与する。
施設名	設置目的
未来科学技術共同研究センター	社会の要請に応える新しい技術・製品の実用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを目指し、産業界等との共同研究の推進を図り、先端的かつ独創的な開発研究を行う。
環境保全センター	本学の教育研究活動に伴って生する有害物質を含む排水、廃油及び廃有機溶剤(放射性物質を含む廃棄物を除く。)を適正に処理し、及ひその処理に関する技術開発等を行うとともに、化学原料化において2次公害となる物質の排出を抑制する技術を確立することにより、環境の保全に資する。
教育情報基盤センター	本学における教育の情報化及び情報教育に関する研究開発及び支援を行うとともに、教育上の情報システムに関する管理運用を一元的に 行い、もって本学における教育の高度化及び学生サービスの充実に資する。
動物実験センター	環境・安全委員会動物実験専門委員会が行う動物実験計画の審査、動物実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに動物実験実施者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における動物実験の適法性を確保し、及び動物実験に係る安全管理を 推進する。
遺伝子実験センター	環境・安全委員会遺伝子組換え実験安全専門委員会が行う遺伝子組換え実験計画の審査、遺伝子組換え実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに遺伝子組換え実験従事者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における遺伝子組換え実験の適法性を確保し、及び遺伝子組換え実験に係る安全管理を推進する。
東北メディカル・メガバンク機構	東日本大震災における被災地の長期健康調査のための大規模コホート調査による医療健康福祉情報とゲノム情報をつなぐ新たな複合バイオバンクの構築及び次世代生命医療情報システムの研究拠点形成を通じた人材養成の推進により、医療資源の有効的活用等による医療避疎問題の改善及び先進的ゲノム医療の実現を図り、もって東北地方の復興に資する。
マイクロシステム融合研究開発 センター	集積化マイクロシステムの研究開発拠点として、企業等との連携によりマイクロシステム融合技術の開発を推進して半導体集積回路分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、情報・通信、製造、医療等の多様な分野において当該技術の実用化を図る。
電気通信研究機構	本学の電気、通信、電子及び情報の各分野の研究者及び技術者の英知を結集し、災害に強い情報通信ネットワークの構築及び世界をリードする革新的研究開発を通じて、被災地である東北における情報通信・エレクトロニクス産業の興隆、さらに我が国における新しい情報通信・エレクトロニクス分野の新産業創出に寄与し、社会的課題にこたえる戦略的研究の推進、地域政策及び国家政策への貢献並びに産学連携研究の推進を行う。
国際集積エレクトロニクス 研究開発センター	集積エレクトロニクス技術を研究開発し、及びその技術に係る国際的産学連携拠点の構築を図ることにより、次世代集積エレクトロニクス分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、当該分野の技術の実用化及び新産業の創出を目的とする。
産学連携先端材料 研究開発センター	産学官による連携体制を構築し、未来の社会を支える新しい材料に係る加工、製造、処理、分析及び評価の各プロセスにおける技術の研究 開発及び実用化を促進することにより、東北地域の産業復興及び我が国の材料分野における国際競争力の強化に寄与する。
レアメタル · グリーンイノベー ション研究開発センター	産学官による共同研究とコンソーシアムの形成を通じ、レアメタルのサプライチェーンの構築ならびにグリーンイノベーションを推進して、レアメタルを効率的に利用する産業構造の構築及び省エネルギーによる低炭素社会の実現に資するとともに、これらの研究を通じて次代を担う研究者及び技術者の教育及び育成に貢献する。
原子炉廃止措置基盤研究セン ター	東京電力株式会社福島第一原子力発電所における原子炉の安全かつ着実な廃止措置に資する基盤技術の研究開発及び原子炉の廃止措置等に関する基盤研究を行うことにより、東日本大震災からの復興及び我が国の原子力分野における国際競争力の強化に寄与する。
国際戦略室	本学の戦略的な国際協働並びに包括的な国際化に向けた体制強化を図るための戦略及び施策の立案を行う。
社会連携推進室	卒業生、一般市民、地域団体など社会全体への知の循環及び共有を通じて、本学と社会との互恵関係の維持発展を図るとともに、基金活動の推進及びその活動を通じた社会との新しい関係の構築を図る。
アセットマネジメントセンター	本学の供用可能スペースその他の保有資産の利用を一元的に管理するとともに、その活用について企画し、及び情報を広く学内外に提供することにより、資産の有効活用を図り、もって戦略的な大学経営の推進に資する。
オープンイノベーション戦略機構	事業戦略に深く関わる大型の共同研究を専門的な人材による集中管理体制の下で戦略的に企画及び推進することにより、社会的インパク

**所蔵冊数** (平成31年3月31日現在)

区分		種別	本 館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
		和漢書	1,651,888	174,393	92,914	184,131	90,266	2,193,592
	図書	洋書	1,176,387	244,983	307,192	184,420	61,894	61,894 1,974,876
蔵書冊数		計	2,828,275	419,376	400,106	368,551	152,160	4,168,468
<b>慰音</b> 而奴		和雑誌	27,429	5,413	2,825	3,740	4,369	43,776
	雑 誌	洋雑誌	17,687	9,426	8,635	4,373	2,301	42,422
		計	45,116	14,839	11,460	8,113	6,670	86,198

利用状況 (平成30年度)

区分	本 館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
入館者	650,100	171,819	61,768	157,690	61,304	1,102,681
貸出図書	226,112	27,688	24,487	48,335	7,470	334,092
文献複写	6,152	7,109	1,477	3,542	500	18,780

#### 蔵書の特徴

1. 国 宝	史 記 孝文本紀第十 (平安時代) 類聚國史 巻第二十五 (平安時代)
2. 貴重図書	和漢書820点(うち狩野文庫574点)、西蔵大蔵経(デルゲ版)、漱石文庫、秋田家史料、洋書110点
3. 準貴重図書	狩野文庫(国宝・貴重図書を除く)、和算関係資料、晩翠文庫、櫛田(民蔵)文庫、ヴント文庫(Wilhelm Wundt)、ケーベル文庫(Raphael von Koeber)、シュタイン文庫 (Friedrich Stein)、ゼッケル文庫 (Emil Seckel)、チーテルマン文庫 (Ernst Zitelmann)、古文書 資料群、ヴィルヘルム・ヴィンデルバント直筆ノート (Wilhelm Windelband)
4. その他特殊 文庫等	阿部 (次郎) 文庫、大類 (伸) 文庫、児島 (喜久雄) 文庫、石津 (照璽) 文庫、梅原 (末治) 文庫、矢島 (玄亮) 文庫、和田 (佐一郎) 文庫、須永 (重光) 文庫、木下(彰) 文庫、高柳 (真三) 文庫、宮田 (光雄) 文庫、伊東 (信雄) 文庫、河野 (与一) 文庫、中野 (正) 文庫、中村 (吉治) 文庫、平山 (諦) 文庫、松本 (金寿) 文庫、柳瀬 (良幹) 文庫、金谷 (治) 文庫、芹澤 (長介) 文庫、武内 (義雄) 文庫、ヴュルフェル文庫 (Georg Würfel)、晴山文書、齋藤養之助家史料、第二特殊文庫資料群



ラーニング・コモンズ



グローバル学習室



国宝(史記 孝文本紀 第十)

## 病院

(令和元年5月1日現在)

部門	診療科		病床数				
	内科	総合診療科、循環器内科、総合感染症科、腎・高血圧・内分泌科、血液・免疫科、糖尿病代謝科、消化器内科、加齢・老年病科、漢方内科、心療内科、呼吸器内科、腫瘍内科					
	外科	総合外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、麻酔科、緩和医療科、救急科					
	産婦人科·泌尿生殖器科	婦人科、産科、泌尿器科					
医科部門	脳·神経·精神科	脳神経内科、脳神経外科、精神科					
	小児科、遺伝科、小児外科、小児腫瘍外科、小児腫瘍科						
	感覚器・理学診療科	皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、肢体不自由リハビリテーション科、てんかん科、 内部障害リハビリテーション科、高次脳機能障害科	1,207				
	放射線科	放射線治療科、放射線診断科					
	口腔育成系診療科	予防歯科、小児歯科、矯正歯科					
歯科部門	口腔維持系診療科	口腔診断科、歯科顎口腔外科、歯科麻酔疼痛管理科					
图作行门	口腔修復系診療科	保存修復科、咬合修復科、歯内療法科					
	口腔回復系診療科	咬合回復科、歯周病科、口腔機能回復科					

#### 患者数

(平成30年度)

部門/入院	延患者数	1日平均患者数
医科部門	344,412	944
歯科部門	10,527	29
部門/外来	延患者数	1日平均患者数
医科部門	562,676	2,306
歯科部門	156,608	642

**先進医療** (令和元年5月1日現在)

泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術

歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法

重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植

パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボブラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法

初発中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する照射前大量メトトレキサート療法後のテモゾロミド併用放射線治療+テモゾロミド維持療法

LDL アフェレシス療法

ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断 (PCR法)

細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断 (PCR法)

リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法

テモゾロミド用量強化療法

自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術および十二指腸空腸バイパス術

内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術子宮頸がん (FIGO による臨床進行期分類がⅠ B 期以上及びⅡ B 期以下の扁平上皮がん又はFIGO による臨床進行期分類がI A2 期以上及びⅡ B 期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)

微小肺病変に対する切除支援マイクロコイル併用気管支鏡肺マッピング法



### ■ 学生数

(令和元年5月1日現在)

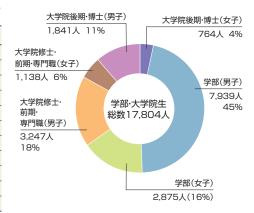
#### 学生総数

					内 留学生数		研究生 - 特別聴講学生	
区分	学生定員	在筆	籍者	国費	私費	計	特別研究学生 特別研究学生 科目等履修生 学部入学前教育受講生 日本語研修コース	
学部学生	10,040	10,814	(2,875)	59	143	202	319	
大学院学生(修士·前期·専門職)	3,836	4,385	(1,138)	110	731	841	184	
大学院学生(後期・博士)	2,543	2,605	(764)	202	504	706	104	
計	16,419	17,804	(4,777)	371	1,378	1,749	503	
附属学校	40	27	(13)					
研究所	_	_	_	_	_	_	25	
その他	_	_	_	_	_	_	28	
合計	16,459	17,831	4,790	_	_	_	556	

<sup>( )</sup>の数は女子で内数。私費留学生については、政府派遣留学生を含む

#### 学部

	学部名		総定員	₹:	E 籍 者	<b>当</b>
文	学	部	840	958	(501)	[18]
教	育 学	部	280	303	(157)	[0]
法	学	部	640	722	(247)	[7]
経	済 学	部	1,080	1,184	(225)	[11]
理	学	部	1,296	1,370	(215)	[44]
医	学	部	1,386	1,423	(600)	[5]
歯	学	部	318	325	(149)	[6]
薬	学	部	360	387	(134)	[0]
I	学	部	3,240	3,489	(394)	[91]
農	学	部	600	653	(253)	[20]
	計		10,040	10,814	(2,875)	[202]



#### 大学院

研究科等名		修士・前期	・専門職		後期・博士			
侧九件守石	総定員	在	籍 者		総定員	在	籍者	
文 学 研 究 科	178	211	(114)	[82]	128	181	(78)	[57]
教育学研究科	90	90	(55)	[29]	48	69	(28)	[7]
法 学 研 究 科	230	171	(47)	[22]	44	45	(12)	[24]
経済学研究科	180	199	(92)	[136]	60	47	(17)	[24]
理 学 研 究 科	524	598	(98)	[61]	390	250	(42)	[79]
医学系研究科	184	219	(120)	[32]	583	745	(239)	[72]
歯 学 研 究 科	12	15	(10)	[0]	168	186	(80)	[37]
薬学研究科	108	125	(30)	[12]	70	48	(8)	[9]
工 学 研 究 科	1,272	1,544	(202)	[215]	522	502	(86)	[191]
農学研究科	218	283	(119)	[41]	111	114	(40)	[34]
国際文化研究科	70	64	(46)	[51]	48	55	(35)	[31]
情 報 科 学 研 究 科	280	332	(49)	[74]	126	120	(25)	[40]
生命科学研究科	212	209	(82)	[26]	107	75	(21)	[23]
環 境 科 学 研 究 科	200	231	(53)	[49]	99	102	(39)	[64]
医工学研究科	78	93	(21)	[10]	34	48	(6)	[13]
教育情報学教育部	_	1	(0)	[1]	5	18	(8)	[1]
計	3,836	4,385	(1,138)	[841]	2,543	2,605	(764)	[706]

<sup>( )</sup>の数は女子で内数、[ ]の数は留学生で内数

#### 附属学校

学校名	定員	入学者	在籍者
歯学部附属歯科技工士学校	20×2学年	17 (12)	27 (13)

<sup>( )</sup>の数は女子で内数

<sup>()</sup>の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数

#### 入学状況

(平成31年度)

#### 学部

	学部名			入学 定員	入学	志願者	入学者	
文	学	部		210	605	(311)	223	(118)
教	育 学	部		70	295	(144)	73	(33)
法	学	部		160	465	(138)	165	(55)
経	済 学	部		260	1,028	(184)	277	(47)
				20	45	《10》	4	<b>《</b> O》
理	学	部		324	1,722	(260)	330	(45)
医	学	部	医学科	135	588	(157)	137	(26)
			保健学科	144	353	(265)	148	(110)
歯	学	部		53	229	(102)	53	(26)
薬	学	部		80	270	(103)	87	(28)
I	学	部		810	2,353	(370)	817	(88)
農	学	部		150	464	(192)	151	(55)
	=1			2,396	8372	(2,226)	2,461	(631)
	計			20	45	<b>《10》</b>	4	<b>《</b> O》

( )の数は女子で内数。下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、《 》の数は女子で内数

#### 大学院

研究科等名	修士·前期·後期· 博士·専門職別	入学 定員	入学?	志願者	入章	学者
文学研究科	前期	89	159	(86)	102	(52)
	後期	38	55	(30)	41	(22)
教育学研究科	前期	45	109	(66)	43	(23)
	後期	15	21	(11)	12	(7)
法 学 研 究 科	前期	10	10	(5)	7	(3)
	後期	12	9	(4)	4	(1)
	専門職	80	160	(37)	76	(23)
経済学研究科	前期	50	74	(42)	28	(11)
	後期	20	7	(3)	5	(2)
	専門職	40	78	(24)	36	(7)
理学研究科	前期	262	342	(50)	267	(46)
	後期	130	59	(12)	58	(11)
医学系研究科	修士	40	60	(34)	47	(26)
	博士	130	109	(29)	103	(27)
	前期	52	63	(32)	52	(27)
	後期	21	24	(13)	21	(13)
歯 学 研 究 科	修士	6	6	(4)	6	(4)
	博士	42	38	(17)	37	(16)
薬学研究科	博士	4	0	(0)	0	(0)
	前期	54	72	(19)	63	(16)
	後期	18	7	(0)	7	(0)
工学研究科	前期	636	979	(125)	709	(83)
	後期	174	111	(16)	99	(16)
農学研究科	前期	109	172	(75)	133	(55)
	後期	37	28	(13)	27	(13)
国際文化研究科	前期	35	42	(33)	26	(20)
	後期	16	20	(15)	13	(9)
情報科学研究科	前期	140	203	(21)	149	(15)
	後期	42	22	(3)	19	(3)
生命科学研究科	前期	106	117	(51)	105	(46)
	後期	30	19	(4)	19	(4)
環境科学研究科	前期	100	116	(28)	96	(23)
	後期	33	23	(7)	22	(7)
医工学研究科	前期	39	68	(16)	50	(13)
	後期	12	10	(3)	8	(2)
	修士	46	66	(38)	53	(30)
	博士	176	147	(46)	140	(43)
計	前期	1,727	2526	(649)	1,830	(433)
	後期	598	415	(134)	355	(110)
	専門職	120	238	(61)	112	(30)

()の数は女子で内数







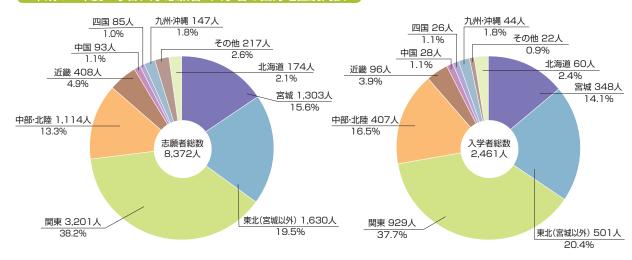
平成31年度入学式 平成31年4月4日

#### 出身都道府県別学部入学志願者・入学者

北海道地区	志願者	入学者	中部・北陸地区	志願者	入学者							
①北海道	174	60	15新 潟	254	107							
			16富 山	94	46		)					
東北地区(宮城)	志願者	入学者	⑩石 川	85	35			27				
④宮 城	1,303	348	18福 井	13	5			1	2			
			⑩山 梨	53	14				لسمرحي			
東北地区(宮城以外)	志願者	入学者	②長 野	169	54	ے	~					
②青 森	306	93	②岐 阜	35	14	{						
③岩 手	373	102	②静 岡	223	79							
⑤秋 田	312	102	②愛 知	188	53	(	5					
⑥山 形	282	98										
⑦福 島	357	106				1	2		中国地	X	志願者	入学者
						$\mathcal{J}$			31鳥	取	12	3
関東地区	志願者	入学者				$\sim$	5 3	<b>,</b>	32島	根	4	1
⑧茨 城	321	110					. ( }		33間	Щ	26	7
9栃 木	249	90					J. J. J.		34広 .	島	42	13
⑩群 馬	281	100				( L.	6 4		35山		9	4
①埼 玉	626	169			(	3	K					
⑫千 葉	296	98		,	3	15	7		四国地	X	志願者	入学者
⑬東 京	1,040	263		4	5				36香	Ш	19	7
⑭神奈川	388	99		(17)	16	10 9	_ /		③7徳 .	島	35	12
				18	20		8		38愛	媛	24	5
			3)	2	20 🤇	19 (13			39高	知	7	2
		3		26 25		(14)	(12)					
	-		33 28 33 34		23 2				九州·沖縄	地区	志願者	入学者
		35	36	Ø 29 24	}				@福	岡	49	14
	40			30					④佐	賀	6	1
<u> </u>	41)	44	39						變長 □	崎	21	9
4	2 43	<b>4</b>				近畿地区	志願者	入学者	43熊	本	13	3
		45/	~~			29三 重	36	5	44大 :	分	4	2
	46					②滋 賀	20	5	45宮 1	崎	8	2
	782	7				26京 都	66	12	46鹿児	島	23	6
		/				②大 阪	117	31	47沖	縄	23	7
						28兵 庫	114	31				
			47			29奈 良	40	7			志願者	入学者
						30和歌山	15	5	その他		217	22
									※その他に	十 温度	4 往 高重	1年の 三校

※その他は、帰国生徒、高専等の高校 以外、高等学校卒業程度認定試験、 私費外国人留学生及び国費外国人留 学生等の数である。

## 平成31年度 学部入学志願者・入学者の出身地区別内訳



# ■学部卒業生数・学位授与者数

#### 学部卒業生数

(平成31年3月31日現在)

	区分		旧制 (昭和24年4月	新 (昭和24年5)	制 月以降入学者)
			以前入学者)	平成30年度	累計
文	学	部	1,277	220	11,660
教	育 学	部	_	71	7,028
法	学	部	3,844	165	13,010
経	済 学	部	1,446	270	15,006
理	学	部	2,747	336	17,517
医	学	部	3,290	283	8,620
歯	学	部	_	41	2,699
薬	学	部	_	86	4,138
I	学	部	3,953	868	50,017
農	学 部		679	156	9,493
	計		17,236	2,496	139,188

※農学部の旧制には、林学士59名を含む

#### 学位授与者数(修士)

(平成31年3月31日現在)

区分	平成30年度	累計
文 学 研 究 科	74	3,655
教育学研究科	28	1,310
法 学 研 究 科	5	607
経済学研究科	51	1,513
理 学 研 究 科	263	10,580
医学系研究科	97	1,205
歯 学 研 究 科	4	89
薬 学 研 究 科	60	2,516
工学研究科	735	26,041
農学研究科	121	4,422
国際文化研究科	36	916
情報科学研究科	165	3,369
生命科学研究科	95	1,641
環境科学研究科	103	1,447
医工学研究科	46	370
教育情報学教育部	14	190
計	1,897	59,871

#### 学位授与者数(専門職)

(平成31年3月31日現在)

区分	平成30年度	累計
公共法政策修士(専門職)	19	317
法務博士(専門職)	25	858
会計修士(専門職)	36	468
計	80	1,643

(平成31年3月31日現在)

#### 学位授与者数(博士)

	In the		(課程)		(論博)
区分	旧制 (昭和28年3月	100		利的 月以降入学者)	(mm 147)
	以前入学者)	平成30年度	累計	平成30年度	累計
文 学 研 究 科	96	23	565	9	316
教育学研究科	_	5	203	0	131
法 学 研 究 科	38	5	136	0	54
経済学研究科	50	14	316	1	118
理学研究科	944	77	3,220	0	1,270
医学系研究科	3,715	148	4,179	8	3,522
歯 学 研 究 科	_	40	864	1	211
薬学研究科	_	23	636	7	595
工学研究科	554	130	5,666	1	2,242
農学研究科	152	17	1,224	0	795
国際文化研究科	_	9	208	0	10
情報科学研究科	_	30	733	2	67
生命科学研究科	_	24	384	0	30
環境科学研究科	_	25	355	0	21
医工学研究科	_	10	80	0	4
教育情報学教育部	_	4	47	0	3
計	5,549	584	18,816	29	9,389





平成31年3月学位記授与式 平成31年3月27日



# 学部

	- FZ	分		***	-tz. #1-	. <del>н.</del> м	-br. 1814	原告 ご アガノ	e re- de	수는 무슨	-br. 1814		就職労			7.0	/II
	X	737		卒業	<b>有</b> 数	進学	<b>有</b>	臨床研	<b>廖</b> 达守	就職	<b>有</b>	県に	勺	県	外	その	שוי
文	学	部		220	(105)	36	(15)	_	_	151	(80)	36	(24)	115	(56)	33	(10)
教	育学	部		71	(31)	14	(6)	_	_	53	(24)	13	(8)	40	(16)	4	(1)
法	学	部		165	(44)	25	(8)	_	_	131	(36)	25	(9)	106	(27)	9	(0)
経	済 学	部		270	(56)	17	(2)	_	_	238	(52)	25	(6)	213	(46)	15	(2)
理	学	部		336	(53)	273	(44)	_	_	44	(8)	9	(2)	35	(6)	19	(1)
医	学	ψD	6年	143	(19)	0	(0)	136	(19)	1	(0)	0	(0)	1	(0)	6	(0)
达	子	部	4年	140	(101)	43	(24)	_	_	94	(74)	57	(46)	37	(28)	3	(3)
歯	学	部		41	(17)	0	(0)	40	(17)	0	(0)	_	_	_	_	1	(0)
薬	学	部	6年	19	(4)	0	(0)	_	_	19	(4)	2	(0)	17	(4)	0	(0)
采	子	印	4年	67	(16)	60	(15)	_	_	2	(0)	0	(0)	2	(0)	5	(1)
I	学	部		868	(114)	768	(92)	_	_	66	(16)	8	(0)	58	(16)	34	(6)
農	学	部		156	(69)	124	(51)	_	_	27	(15)	3	(1)	24	(14)	5	(3)
	計			2,496	(629)	1,360	(257)	176	(36)	826	(309)	178	(96)	648	(213)	134	(27)

<sup>( )</sup>は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、帰国、未就職者等

# 研究科:前期2年の課程

区分	ねつ	-tz. #1-	'# 224.3	±. ₩	吹った エロル		±4 HOI:	<b></b>		就職的	た内訳		7.0	\ /IL
区分	118 J	者数	進学	白奴	臨床研修	多达寺	就職	<b>有</b>	県	为	県	外	その	שול
文 学 研 究 科	74	(41)	19	(9)	_	_	38	(23)	12	(8)	26	(15)	17	(9)
教育学研究科	28	(18)	3	(2)	_	_	20	(14)	7	(6)	13	(8)	5	(2)
法学研究科	5	(0)	2	(0)	_	_	3	(0)	1	(0)	2	(0)	0	(0)
経済学研究科	51	(24)	7	(5)	_	_	19	(8)	3	(1)	16	(7)	25	(11)
理学研究科	263	(50)	77	(16)	_	_	173	(32)	9	(0)	164	(32)	13	(2)
医学系研究科	47	(22)	11	(3)	_	_	30	(17)	12	(9)	18	(8)	6	(2)
薬学研究科	60	(14)	7	(0)	_	_	47	(10)	0	(0)	47	(10)	6	(4)
工学研究科	735	(84)	71	(16)	_	_	614	(61)	29	(4)	585	(57)	50	(7)
農学研究科	121	(47)	21	(9)	_	_	94	(34)	6	(3)	88	(31)	6	(4)
国際文化研究科	36	(22)	11	(5)	_	_	14	(9)	1	(1)	13	(8)	11	(8)
情報科学研究科	165	(26)	21	(5)	_	_	126	(13)	7	(1)	119	(12)	18	(8)
生命科学研究科	95	(36)	20	(4)	_	_	72	(31)	2	(1)	70	(30)	3	(1)
環境科学研究科	103	(24)	15	(8)	_	_	79	(13)	1	(1)	78	(12)	9	(3)
医工学研究科	46	(13)	7	(2)	_	_	38	(10)	1	(0)	37	(10)	1	(1)
教育情報学教育部	14	(5)	0	(0)	_	_	9	(1)	3	(0)	6	(1)	5	(4)
計	1,843	(426)	292	(84)	0	(0)	1,376	(276)	94	(35)	1,282	(241)	175	(66)

<sup>( )</sup>は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、帰国、未就職者等

# 研究科:後期3年の課程

区分	ねつ	_br_W	*# *** =	医蛋白	吹った ブロル		수는 무슨	<b>⇒</b> . ₩.		就職兒	· 尼内訳		2.0	\/\L	修了者ポストト	
区分	修了	百数	進学者	<b>三 教</b> 义	臨床研修	多达寺	就職	<b>有</b>	県	内	県	外	その	שול	小人下	
文 学 研 究 科	23	(14)	0	(0)	_	_	15	(7)	9	(5)	6	(2)	8	(7)	10	(7)
教育学研究科	5	(3)	0	(0)	_	_	2	(1)	1	(0)	1	(1)	3	(2)	2	(1)
法 学 研 究 科	5	(3)	0	(0)	_	_	4	(3)	3	(2)	1	(1)	1	(0)	0	(0)
経済学研究科	14	(5)	0	(0)	_	_	7	(2)	4	(1)	3	(1)	7	(3)	4	(2)
理学研究科	77	(14)	0	(0)	_	_	49	(8)	5	(2)	44	(6)	28	(6)	16	(1)
医学系研究科	17	(3)	0	(0)	_	_	15	(2)	9	(0)	6	(2)	2	(1)	0	(0)
薬 学 研 究 科	17	(3)	0	(0)	_	_	11	(1)	2	(0)	9	(1)	6	(2)	3	(0)
工学研究科	130	(16)	0	(0)	_	_	98	(8)	12	(1)	86	(7)	32	(8)	13	(4)
農学研究科	17	(6)	0	(0)	_	_	13	(3)	4	(2)	9	(1)	4	(3)	4	(1)
国際文化研究科	9	(7)	0	(0)	_	_	1	(0)	0	(0)	1	(0)	8	(7)	2	(2)
情報科学研究科	30	(1)	0	(0)	_	_	19	(1)	3	(0)	16	(1)	11	(0)	5	(0)
生命科学研究科	24	(8)	0	(0)	_	_	14	(4)	5	(1)	9	(3)	10	(4)	3	(0)
環境科学研究科	25	(4)	0	(0)	_	_	14	(2)	2	(0)	12	(2)	11	(2)	4	(0)
医工学研究科	10	(3)	0	(0)	_	_	8	(1)	0	(0)	8	(1)	2	(2)	0	(0)
教育情報学教育部	4	(1)	0	(0)	_	_	3	(0)	1	(0)	2	(0)	1	(1)	0	(0)
計	407	(91)	0	(0)	0	(0)	273	(43)	60	(14)	213	(29)	134	(48)	66	(18)

<sup>( )</sup>は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、帰国、未就職者等

#### 研究科:修士課程

R ⇔	☑ 分 修了者数		修了者数		修了者数		修了者数		修了者数		修了老数		進学者	<b>之 米</b> 力	臨床研修	医生	就職	<b>学</b> 米/r		就職免	七内訳		その	4th
<u> </u>	区 分 16 J 百分		<b>烂于</b> 有效		<b>咖水剂 19 区</b> 分		ANC HIX TEL XX		県内		県外		C 47 IB											
医学系研究科	50 (2	28)	16	(5)	_	_	28	(19)	6	(5)	22	(14)	6	(4)										
歯 学 研 究 科	4	(3)	0	(0)	_	_	3	(3)	1	(1)	2	(2)	1	(0)										
計	54 (3	31)	16	(5)	0	(0)	31	(22)	7	(6)	24	(16)	7	(4)										

<sup>( )</sup>は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

#### 研究科:博士課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先四	<b>为訳</b>	その他	修了者のうち ポストドクター	
	I≽ J 1∃ xX	<b>连</b> 子有效	咖水训修区守	孙 帆 扫 女	県内	県外	-( V) IB	となった者	
医学系研究科	131 (22)	0 (0)		111 (18)	70 (14)	41 (4)	20 (4)	5 (1)	
歯 学 研 究 科	40 (14)	0 (0)		35 (10)	20 (5)	15 (5)	5 (4)	5 (4)	
薬学研究科	6 (1)	0 (0)		6 (1)	2 (1)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	
計	177 (37)	0 (0)	0 (0)	152 (29)	92 (20)	60 (9)	25 (8)	10 (5)	

# (研究科:専門職学位課程)

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職兒	· 上内訳	その他
<u> </u>	修了合奴	進子有数	<b>阿</b> 尔	<b>汎 職 白 奴</b>	県内	県外	7 7716
法 学 研 究 科	19 (2)	0 (0)		18 (1)	1 (0)	17 (1)	1 (1)
法 学 研 究 科 ( 法 科 大 学 院 )	25 (7)	0 (0)		1 (0)	0 (0)	1 (0)	24 (7)
経済学研究科	36 (12)	0 (0)		24 (9)	0 (0)	24 (9)	12 (3)
計	80 (21)	0 (0)	0 (0)	43 (10)	1 (0)	42 (10)	37 (11)

<sup>( )</sup>は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

# 学部

区分	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	黄学部	薬学部	工学部	農学部	計
農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	1	0	1	5	0	0	0	0	5	0	12
製造業	13	3	10	31	5	0	0	9	23	5	99
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	3	6	0	0	0	0	1	0	11
情報通信業	27	8	19	37	8	1	0	1	15	3	119
運輸業、郵便業	7	1	4	12	4	0	0	0	4	0	32
卸売業、小売業	14	4	5	12	0	0	0	4	1	4	44
金融業、保険業	12	5	25	49	4	0	0	0	1	1	97
不動産業、物品賃貸業	2	1	1	2	1	2	0	0	0	0	9
学術研究、専門・技術サービス業	4	2	4	13	2	3	0	1	1	3	33
宿泊業、飲食サービス業	2	0	0	2	2	0	0	0	1	0	7
生活関連サービス業、娯楽業	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0	5
教育、学習支援業	18	6	2	1	11	0	0	0	2	1	41
医療、福祉	2	3	2	0	0	87	0	4	2	1	101
複合サービス事業	0	0	1	7	0	1	0	0	1	0	10
サービス業(他に分類されないもの)	6	1	5	6	3	0	0	0	1	1	23
公務(国家公務)	12	6	30	20	3	0	0	0	3	2	76
公務 (地方公務)	28	13	19	33	1	1	0	2	4	5	106
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	151	53	131	238	44	95	0	21	66	27	826

# 大学院

区分	文学研究科	教育学研究科	法学研究科	経済学研究科	理学研究科	医学系研究科	歯学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	計
農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	5
建設業	1	0	0	0	6	0	0	0	57	0	1	9	1	4	0	0	79
製造業	4	1	3	4	107	13	2	55	460	50	4	44	46	58	33	1	885
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	3	0	0	0	26	0	2	2	0	3	0	0	36
情報通信業	9	2	2	9	37	1	1	0	35	10	0	49	11	1	5	3	175
運輸業、郵便業	0	0	1	1	5	0	0	0	20	1	1	4	0	2	3	0	38
卸売業、小売業	3	3	0	5	3	1	0	0	6	4	1	0	0	1	0	0	27
金融業、保険業	2	0	5	6	4	0	0	0	6	0	1	4	0	1	0	0	29
不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
学術研究、専門・技術サービス業	1	0	2	9	21	13	0	3	42	10	0	13	11	9	1	1	136
宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3
教育、学習支援業	20	4	5	8	22	28	11	3	24	9	4	11	6	7	2	4	168
医療、福祉	0	6	0	1	0	119	23	2	0	1	0	0	1	0	0	0	153
複合サービス事業	0	0	1	0	0	1	0	0	2	5	0	1	0	0	0	0	10
サービス業(他に分類されないもの)	7	0	0	0	2	0	0	0	11	1	0	3	2	2	0	2	30
公務(国家公務)	1	3	3	4	5	1	0	0	4	6	0	2	1	1	1	0	32
公務 (地方公務)	5	3	3	1	4	7	1	1	9	9	0	1	4	1	1	1	51
その他	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	7
計	53	22	26	50	222	184	38	64	712	107	15	145	86	93	46	12	1,875

## ■ 学友会

大学の学問以外に、文化、体育などに関する自発的な活動のための全学的な組織が学友会です。 学友会は、本学の教職員・学生の全員で組織され、会員の会費により、その運営(大学祭、新入生歓迎会、海上運動会、サークル活動等の援助)が行われています。

## 中央各部

部名	部長名	部局	職名
総務部	小田中 直樹	経済学研究科	教 授
文化部	早川 美徳	教育情報基盤センター	教 授
体育部	永富 良一	医工学研究科	教 授
報道部	尾崎 彰宏	文学研究科	教 授

## 文化部

	部名	部長名	部局	職名
1	男声合唱部	小原 隆博	理学研究科	教 授
2	混声合唱部	八鍬 友広	教育学研究科	教 授
3	交響楽部	福島 洋	災害科学国際研究所	准教授
4	文芸部			
5	美術部	杉本 欣久	文学研究科	准教授
6	映画部	関口 仁子	理学研究科	准教授
7	演劇部	荻原 理	文学研究科	准教授
8	写真部	長岡 龍作	文学研究科	教 授
9	茶道部	成田 史生	工学研究科	教 授
10	能楽部	片岡 龍	文学研究科	教 授
11	邦楽部	長谷川 晃	工学研究科	教 授
12	放送研究部	桐島陽	多元物質科学研究所	教 授
13	アマチュア無線部	菅沼 拓夫	サイバーサイエンスセンター	教 授
14	落語研究部	山崎 武	理学研究科	准教授
15	E. S. S. 部	木村 敏明	文学研究科	教 授
16	囲碁部	大林 武	情報科学研究科	准教授
17	奇術部	金子 俊郎	工学研究科	教 授
18	軽音楽部	亀田 卓	電気通信研究所	准教授
19	マンドリン楽部	川又 政征	工学研究科	教 授
20	化学部	飛田 博実	理学研究科	教 授
21	オーディオ研究部	浜田 宏	文学研究科	教 授
22	吹奏楽部	木村 邦博	文学研究科	教 授
23	将棋部	高瀬 圭	医学系研究科	教 授
24	書道部	猪股 宏	工学研究科	教 授
25	生活部	井上 干弘	環境科学研究科	教 授
26	アカペラコーラス部	末松 和子	高度教養教育·学生支援機構	教 授



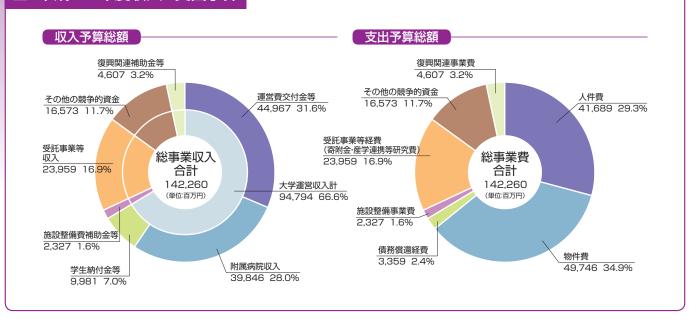
卓球部

## 体育部

	部名	部上	<del></del> 長名	部局	職	名
1	陸上競技部	佐藤	源之	東北アジア研究センター	教	授
2	硬式野球部		   史彦	未来科学技術共同研究センター	教	授
3	準硬式野球部	西村	太志	理学研究科	教	授
4	硬式庭球部	宮澤	陽夫	未来科学技術共同研究センター	教	授
 5	軟式庭球部	須藤	祐司	工学研究科	准	
6	ラグビー部	<b>本上</b>	洋	多元物質科学研究所	教	授
-	男子バレーボール部	土工	/+	シル物質付予が元が	叔	1X
7	女子バレーボール部	山口	健	工学研究科	准孝	姓
8	蹴球部	<b>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>	———	医学系研究科	教	授
	男子バスケットボール部	16/1	123	E J NUMBER	7^	100
9	女子バスケットボール部	須藤	彰三	理学研究科	教	授
10	卓球部	篠田	弘造	多元物質科学研究所	准教	7将
11	山岳部	押谷	仁	医学系研究科	教	授
12	水泳部	山家	<u> </u> 智之	加齢医学研究所	教	授
13	漕艇部	石井	誠一	医学系研究科	准	
14	ヨット部	田中	真美	医工学研究科	教	授
		永富		医工学研究科		
15	スケート部		良一		教	授
16	乗馬部		建太郎	歯学研究科	教	授
17	バドミントン部		明朗	医学系研究科	准	
18	柔道部	落合	芳博	農学研究科	教	授
19	スキー部	風間	聡	工学研究科	教	授
20	ハンドボール部	風間	基樹	工学研究科	教	授
21	航空部	伊藤	高敏	流体科学研究所	教	授
22	剣道部	福土	番	医学系研究科	教	授
23	弓道部	笹野	泰之	歯学研究科	教	授
24	空手道部	古谷	豊	経済学研究科	准教	好授
25	自動車部	田中	秀治	工学研究科	教	授
26	ワンダーフォーゲル部	土屋	範芳	環境科学研究科	教	授
27	ゴルフ部	西澤	松彦	工学研究科	教	授
28	合気道部	珠玖	仁	工学研究科	教	授
29	フェンシング部	朱	鴻民	工学研究科	教	授
30	応援団	八重	堅伸生	医学系研究科	教	授
31	サイクリング部	高橋	信	工学研究科	教	授
32	ボディビル部	鈴木	教郎	医学系研究科	准孝	姓
33	少林寺拳法部	米山	裕	農学研究科	教	授
34	体操部	綿村	哲	理学研究科	准孝	好
35	アメリカン・フットボール部	池尾	恭一	教育学研究科	准孝	)授
36	オリエンテーリング部	窪	俊一	情報科学研究科	准孝	好授
37	競技舞踏部	福山	博之	多元物質科学研究所	教	授
38	アーチェリー部	中山	亨	工学研究科	教	授
39	トライアスロン部	宗政	昭弘	情報科学研究科	教	授
40	男子ラクロス部	+	ELOD	TITE   44 T \ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	+·L	1
40	女子ラクロス部	吉岡	敏明	環境科学研究科	教	授
41	レーシングカート部	中村	智樹	理学研究科	教	授
42	新極真カラテ部	石井	圭一	農学研究科	准孝	)授
43	相撲部	阿部	宏	文学研究科	教	授
44	ソフトボール部	浅井	圭介	工学研究科	教	授
45	中国武術部	川合	安	文学研究科	教	授
46	防具空手道部				,,,,	
47	人力飛行部	中村		流体科学研究所	准表	姓授
48	フットサル部	伊藤	明宏	医学系研究科	教	授
.0	- / 1 / / / / / /	17 13/85	.73/14	- 3 VISWIN DIEI	-5^	,,,

他 準加盟·登録 112団体

## 平成30年度収入・支出予算



## ■ 研究費等受入状況

## 科学研究費助成事業交付実績

(平成30年度)

7.17の発口	松中/4米 //4	交付額 (千円)			
研究種目	採択件数(件)	直接経費	間接経費	計	
特別推進研究	3	181,000	54,300	235,300	
新学術領域研究	146	1,302,550	390,765	1,693,315	
基盤研究 (S·A·B·C) ※	1,378	4,469,380	1,340,814	5,810,194	
挑戦的萌芽研究※	58	42,300	12,690	54,990	
挑戦的研究 (開拓)	11	78,200	23,460	101,660	
挑戦的研究 (萌芽)	196	418,400	125,520	543,920	
若手研究 / 若手研究 (A·B) ※	515	762,550	228,765	991,315	
研究活動スタート支援	74	79,800	23,940	103,740	
奨励研究	15	6,920	0	6,920	
研究成果公開促進費(学術図書・データベース)	8	12,000	0	12,000	
特別研究員奨励費	303	265,100	13,440	278,540	
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (A·B))	23	204,900	61,470	266,370	
計	2,730	7,823,100	2,275,164	10,098,264	

<sup>※</sup>基金、一部基金分を含む

## 寄附金・受託研究等契約実績

区分			件数(件)	受入金額(千円)
寄附金	寄附金			3,387,580
	民間等との共同研究		1,348	4,820,865
		一般	401	6,998,986
受託研究等経費	受託研究	競争的資金	388	7,024,587
		小計	789	14,023,573
	小計		2,137	18,844,438
学術指導			309	199,602
計			5,385	22,431,620

## ■ 研究費等受入状況

## その他補助金交付実績

経費	採択件数(件)		交付額(千円)			
北 貝	13×1/(17 92 (17)	直接経費	間接経費	計		
科学技術人材育成費補助金	14	228,456	0	228,45		
厚生労働科学研究費補助金	9	95,405	27,717	123,12		
研究拠点形成費等補助金	8	1,059,952	166,007	1,225,95		
環境研究総合推進費補助金	1	9,025	2,708	11,73		
大学改革推進等補助金	3	512,065	0	512,06		
海洋生態系研究開発拠点機能形成事業費補助金	1	198,649	0	198,64		
国際化拠点整備事業費補助金	1	22,000	0	22,00		
国際化拠点整備事業費補助金(スーパーグローバル大学創成支援)	1	180,063	20,007	200,07		
加速器科学総合支援事業	1	700	0	70		
情報知能システム研究センター支援補助金	1	26,790	0	26,79		
原子力人材育成等推進事業費補助金	3	47,363	0	47,36		
中小企業経営支援等対策費補助金	12	83,075	16,553	99,62		
高性能汎用計算機高度利用事業費補助金	1	32,565	9,769	42,33		
がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	3	96,101	0	96,10		
水産関係民間団体事業補助金	1	2,134	0	2,13		
実践的な手術手技向上研修事業	1	7,108	0	7,10		
研究大学強化促進費補助金	1	371,550	0	371,55		
地域医療介護総合確保基金	14	181,074	0	181,07		
医療研究開発推進事業費補助金	15	4,787,768	66,205	4,853,97		
感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	2	20,569	0	20,56		
我が国周辺水産資源調査・評価推進事業	1	760	0	76		
移植対策 (造血幹細胞) 事業費補助金	1	28,286	0	28,28		
事業所内保育施設設置·運営等助成金	1	3,682	0	3,68		
大学教育再生戦略推進費	2	26,518	3,977	30,49		
地域ひとづくり総合推進費	1	15,948	0	15,94		
地域復興実用化開発等促進事業費補助金	3	35,544	1,211	36,75		
医療提供体制推進事業費補助金	5	49,019	0	49,01		
肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	1	655	0	65		
国立大学法人機能強化促進補助金	1	526,437	0	526,43		
企業主導型保育事業助成金	2	65,751	0	65,75		
宮城県受入困難事案受入医療機関支援事業補助金	1	757	0	75		
<b>全科医等確保支援事業</b>	1	796	0	79		
日本中央競馬会畜産振興事業	1	25,465	2,266	27,73		
宮城県原子力災害拠点病院体制強化事業	1	1,639	0	1,63		
宮城県原子力災害医療施設整備事業	1	48,214	0	48,21		
福島県再生可能エネルギー関連技術実証研究支援事業補助金	1	710	0	71		
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム	1	100,000	0	100,00		
<b>岁</b> 災疾病臨床研究事業費補助金	1	1,020	0	1,02		
也域産学官連携科学技術振興事業費補助金	1	124,685	0	124,68		
<u> </u>	120	9,018,298	316,420	9,334,71		

(令和元年7月1日現在)

(単位: m)

地区名/	而積		土地			建物	
<b>26</b> E-47	щи	所 有	借入	計	所 有	借入	計
宮城県 仙台市	片 平 地 区	229,582	31	229,613	199,522	_	199,522
	米ヶ袋地区	3,231	_	3,231	512	_	512
	川内·青葉山地区	2,561,166	15,840	2,577,006	541,730	_	541,730
	星陵地区	179,155	59	179,214	334,449	_	334,449
	三 条 地 区	52,911	_	52,911	26,384	_	26,384
	富沢地区	113,877	_	113,877	9,022	_	9,022
	評定河原地区	18,668	_	18,668	781	_	781
	東仙台地区	3,705	_	3,705	2,026	_	2,026
	郷 六 地 区	_	399	399	26	-	26
	南吉成地区	_	3,287	3,287	2,509	_	2,509
	秋 保 地 区	_	4	4	_	20	20
	芋 沢 地 区	_	30	30	_	-	_
	柏木地区	4,402	_	4,402	_	_	_
	八幡地区	1,327	_	1,327	926	_	926
	茂庭地区	_	1,825	1,825	_	_	_
	仙台市内各所(地震観測点)	_	_	_	_	5	5
	学生寄宿舎	28,308	_	28,308	43,385	_	43,385
	職員宿舎	80,439	_	80,439	42,708	-	42,708
	小計	3,276,771	21,475	3,298,246	1,203,980	25	1,204,005
仙台市外	蔵 王 地 区	_	30,405	30,405	399	9	408
	七ヶ浜地区	_	528	528	383	3	386
	女川・牡鹿地区	25,312	43,334	68,646	2,879	_	2,879
	鹿島台地区	10,077	_	10,077	270	1	271
	鳴子·川渡地区	18,541,862	3,541	18,545,403	20,227	6	20,233
	岩 沼 地 区	_	812	812	_	533	533
	釜 房 地 区	_	3,558	3,558	691	753	1,444
	気 仙 沼 地 区	_	112	112	_	337	337
	米 山 地 区	_	2,000	2,000	101	-	101
	若 柳 地 区	_	100	100	12	_	12
	その他の地区	_	813	813	_	4,334	4,334
	職員宿舎	3,562	_	3,562	59	_	59
	小 計	18,580,813	85,203	18,666,016	25,021	5,976	30,997
計		21,857,584	106,678	21,964,262	1,229,001	6,001	1,235,002

(令和元年7月1日現在)

(単位: m)

地区名/面積			土 地			建物	
	地位有/ 画镜		借入	計	所 有	借入	計
宮城県外	青森県	28,506	77,035	105,541	2,687	491	3,178
	秋田県	1,049	5,026	6,075	627	_	627
	山形県	_	1,350	1,350	298	16	314
	岩 手 県	10,014	16,062	26,076	873	18	891
	福島県	990	26,030	27,020	154	16	170
	新 潟 県	_	302	302	6	4	10
	東京都	_	_	_	_	5,250	5,250
	埼 玉 県	660	1	661	739	_	739
	茨 城 県	4,541	12,161	16,702	5,787	7	5,794
	栃木県	_	695	695	70	_	70
	岐 阜 県	_	716	716	424	_	424
	大 阪 府	_	_	_	_	30	30
	兵 庫 県	_	_	_	_	195	195
	岡山県	_	_	_	_	10	10
	鹿児島県	_	4	4		_	_
	計	45,760	139,382	185,142	11,665	6,037	17,702
合計		21,903,344	246,060	22,149,404	1,240,666	12,038	1,252,704



片平キャンパス 上空から

# Research, Education & Social contribution

## ■ 革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)

### 事業実施期間:平成25年度~令和3年度

研究開発テーマ	拠点名称	拠点概要
センター・オブ・ イノベーション (COI)プログラム	さりげないセンシングと日常人 間ドックで実現する自助と共助 の社会創生拠点	いつでも、どこにいても、自分や家族の生活や健康の状態がわかり、家族を超えて多世代間で応援支援が得られるさりげないセンシングによる「日常人間ドック」の開発を行います。「日常人間ドック」は、「はかる」、「わかる」、「おくる」という3つの要素からなり、各種のセンシング技術でさりげなく健康とその要因の情報を収集し、体質の情報とともにクラウド上にビッグデータ PHR として一元管理し、その理解・共有を図ることで、自助・共助の観点から様々に活用するものです。

### ○実現の鍵となる研究開発テーマ

- ■環境要因、生活因子のさりげないセンシングを実現する革新的なセンシングデバイス群
- ■遺伝的要因による体質、疾患リスク、薬剤応答性を迅速かつ安価に評価できるゲノム解析技術
- ■生活要因、環境要因、遺伝的要因の情報が一元管理される革新的 PHR プラットフォーム
- ■ヘルスケアビッグデータ解析に基づく将来の健康情報の提供サービス
- ■各種センサーデータを統合し、AI 解析とオープン API によるサービス連携で多種多様なビジネスを創出

## ■ 研究大学強化促進事業

## 事業実施期間:平成25年度~令和4年度

プログラム名	プログラム概要
研究大学強化促進事業	近年、我が国の論文数等の国際的シェアは相対的に低下傾向にあり大学等における研究体制・研究環境の全学的・継続的な改善や、研究マネジメント改革などによる国際競争力の向上が課題となっています。このような状況を踏まえ、世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強し、我が国全体の研究力の強化を図るために文部科学省が行う、大学等による研究マネジメント人材群の確保や集中的な研究環境改革等の研究力強化の取組を支援する平成25年度から令和4年度までの事業です。

### ○実現の鍵となる研究開発テーマ

- ■研究推進・支援機構に設置されているリサーチ・アドミニストレーションセンターを充実し、世界の研究・社会動向と本学の研究力を解析することで、研究戦略を"見える化"によって立案支援するとともに、ベンチマーク大学や研究機関・研究者を選定し、それらの大学等からの訪問・滞在研究者を増加させる。
- ■人類社会の共通課題解決に貢献し、東北大学発の先駆的研究領域を開発するため、訪問滞在型研究センター「東北大学知のフォーラム」を設置する。

名 称	フォーラム概要
東北大学知のフォーラム	知のフォーラムは国際的に開かれた訪問滞在型研究プログラムとして平成25年より開始。人類共通の課題や世界動向を踏まえた多様な分野の中から戦略研究テーマを設定し、そのテーマを牽引するノーベル賞級の研究者を招いて1~3カ月間じっくり研究を進め、新たな知見や融合領域の研究を創出するものです。また、滞在研究者と学生を含む若手研究者との交流の機会を広く設けることにより、研究の進展を図り、国際的人材育成にも貢献します。

- ■「海外リサーチ・ステーション」を置き、将来のグローバル・リーダーとなる若手研究者を中長期海外の研究機関に滞在させ、そこで生まれたアイディアを熟成するための国際共同研究・国際共同プロジェクトを格段に増加させる。
- ■訪問滞在研究者が円滑に定着するための支援を行う「リサーチ・レセプションセンター」や「国際対応事務部門」などの受入れ体制を整備し、リサーチ・レセプションセンター機能を有する高等研究機構等事務部国際推進係等を核に東北大学の事務国際化を加速する。

## ■ スーパーグローバル大学創成支援

東北大学は、グローバル30や経済社会の発展をけん引するグローバル人材育成支援をはじめとする教育の国際化と、 知のフォーラムや AIMR をはじめとする研究の国際化に関する先進的な取組を推進してきた実績をさらに加速するため、平成26年度に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(トップ型)」に申請し採択されました。この事業は、 我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により"徹底した国際化"を 進める大学に対し重点支援が行われ、トップ型には本学を含む13大学が採択されています。

本学が掲げる「東北大学グローバルイニシアティブ構想」は、グローバル時代を牽引する卓越した教育・研究を行う大学へと飛躍し、世界がその実力や実績を認め、敬意を持って評される大学となることを目指すためのものです。本構想実現のために、総長のリーダーシップによる機動的体制整備の一環として「機構化」による運営を取り入れ、機能結集型ガバナンスの実行を伴いながら主に以下の取組を行います。

グローバルイニシアティブ構想の 主な取組	事業概要
国際共同大学院プログラム	東北大学の強みや潜在性の分析をもとに、本学が力を発揮し世界を牽引できる分野、今後の発展が期待できる分野、人類が直面している課題・地球規模の問題に挑戦する分野において海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実施する7つの「国際共同大学院プログラム」群を創出するものです。平成30年度には、生命科学(脳科学)国際共同大学院(Neuro Global)、機械科学技術国際共同大学院(Integration of Mechanical Systems: GP-Mech)が開始され、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)、ワシントン大学等と連携し、教育力の向上と研究力強化の更なる向上を目指すとともに世界的な視野でアカデミアならびに産業界を牽引する人材を育成します。
	「国際化拠点整備事業 (グローバル30)」より推進してきた "Future Global Leadership (FGL) Program" をさらに発展させ、全ての研究科が英語で学位取得できる国際コースへ参画することを目指します。
グローバルリーダー育成の教育基盤整備(FGL プログラム、TGL プログラム、国際共同教育)	「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援 (全学推進型)」により進めてきた「東北大学グローバルリーダー育成プログラム (TGL プログラム)」を継続・発展させ、グローバルリーダーとしての素養を身に付けた学部学生の育成を推進します。
	海外の大学との組織的・継続的な教育連携を構築するため、国際共同大学院プログラム以外にも、複数の研究科で行っているダブルディグリープログラム等を積極的に推進します。

## <東北大学グローバルイニシアティブ構想>

世界から尊敬される「世界三十傑大学」の一員へ



## 基盤的な教育・研究の改革と国際化の加速

### グローバルリーダー育成の教育基盤整備

グローバルリーダー育成事業の継続・発展/魅力ある国際コースの充実/国際共同教育の飛躍的拡大

## 国際化環境整備

海外拠点の戦略的利活用/学術交流協定の教育への積極活用/国際交流サポート体制強化/国際情報発信力の強化/事務職員英語対応力強化

## ■ 教育

文部科学省が行っている「国公私立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進」の各プログラム等に、本学での以下の取組が採択されています。

### 卓越大学院プログラム

各大学が自身の強みを核に、これまでの大学院改革の成果を生かし、国内外の大学・研究機関・民間企業等と組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築することで、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材を育成するとともに、人材育成・交流及び新たな共同研究の創出が持続的に展開される卓越した拠点を形成する取組を推進する事業です。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成30年度~ 令和6年度	医学系研究科、歯学研究科等 13部局	未来型医療創造卓越大学院プログラム	東北大学が提唱する未来型医療 "Future Medicine supported by Data Science, Technology and Society (DTS)" (データ科学・技術・社会インフラにより健康・予防・治療を実現する医療) を牽引し、高齢者が自立して健康で幸福に生きることができる効率的で優しい社会づくりに貢献する人材を育成します。
平成30年度~ 令和6年度	工学研究科、情報科学研究 科 等 10 部局	人工知能エレクトロニクス 卓越大学院プログラム	第4次産業革命、超スマート社会の実現に向けて、人工知能エレクトロニクスの卓越した研究環境の下で、産学連携・社会連携を意識して「社会課題の解決」と「新たな価値の創出」を実現する『実践力』と、フィジカル空間とサイバー空間およびそれらを繋ぐあらゆる空間を見通せる『俯瞰力』を習得することで、異分野技術を巻き込み「継続的イノベーション」を起こすことができる卓越した博士人材を育成します。

## 博士課程教育リーディングプログラム

優秀な学生を広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、専門分野の枠を超えて世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成24年度~ 平成30年度	工学研究科、理学研究科、 文学研究科、災害科学国際 研究所 等 12部局	グローバル安全学トップ リーダー育成プログラム	東日本大震災に代表されるグローバルデザスターから人命・社会・産業を守ることに 貢献できるグローバル安全学リーダーをアカデミアのみならず、世界的企業や国際 機関などの多様な分野に輩出することを目指します。
平成25年度~ 令和元年度	工学研究科、理学研究科等11部局		多角的な視点や手法で物質・材料を理解し、新しい物質デザイン思想を現実化するだけの広く確かな基礎知識と幅の広い研究経験を有する物質リーダーとして、主に産業界で即戦力として活躍できる人財育成を目指します。

### 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

がん医療の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」を養成することで、我が国におけるがん医療の一層の推進を目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成29年度~ 令和3年度	医学系研究科	東北次世代がんプロ養成プラン	わが国のがん医療の課題解決のため、最新のがん医療に必要な学識・技能や国際レベルの臨床研究を推進する能力を育み、大学、行政、職能団体、がん拠点病院や診療所、患者会や学会が連携しがんゲノム医療・個別化医療、希少がん・難治がん、小児から高齢者のライフステージ毎の多様ながんの医療ニーズに応えるがん専門医療人を養成します。

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム

我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療を提供できる優れた医療人材を養成することを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成30年度~ 令和4年度	病院	コンダクター型災害保健 医療人材の養成	自然災害、CBRNE災害、それらを合わせた複合災害に対応でき、様々な職種とチームとして協働でき、他組織と連携し、急性期から慢性期にかけて現場でも後方でも機能する「コンダクター型災害保健医療マネジメント人材」を養成します。

## 成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成 (enPiT)

情報技術を高度に活用して社会の具体的な課題を解決できる人材の育成機能を強化するため、産学協働の実践教育ネットワークを形成し、課題解決型学習(PBL)等の実践的な教育を推進し広く全国に普及させることを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成28年度~ 令和2年度	情報科学研究科	践的人材育成コースの開	成長分野であり国家的に喫緊の課題であるサイバーセキュリティ分野の人材として、先進技術の知識に加え、理解・応用できる実践的能力の育成を指向して、教育コースを開発し実施します。

本学でも独自に以下の取り組みを行っています。

## 特色ある教育への取り組み

若手研究者の養成を推進するため、優れた学生を「修士研究教育院生」「博士研究教育院生」として選抜し、各種支援を行っています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成 19年度~	学位プログラム推進機構 学際高等研究教育院	修士·博士研究教育院生制 度	各研究科等との連携を通じて、異分野の融合領域における新たな研究分野の研究成果を基盤とした教育に関する研究開発、企画及び支援を行うことにより、新たな総合的知を創造し、かつ、国際的に通用する若手研究者の育成を目指します。

## ■ 寄附講座·寄附研究部門

寄附講座・寄附研究部門は、企業などからの寄附金によって、大学における教育・研究の豊富化、活性化を図ることを目的として、「寄附講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「寄附研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

## 寄附講座

(令和元年5月1日現在)

設置年度	名 称	設置期間
令和元年度	社会薬学マネジメント (医療経営研究所)	平成31年4月1日~令和4年3月31日
令和元年度(継続)	実践宗教学	平成31年4月1日~令和4年3月31日
令和元年度(継続)	大動脈疾患治療開発学	平成31年4月1日~令和4年3月31日
令和元年度(継続)	眼科画像情報解析学	平成31年4月1日~令和4年3月31日
令和元年度(継続)	先進呼吸管理学	平成31年4月1日~令和2年3月31日
平成30年度	感染制御インテリジェンスネットワーク	平成30年10月1日~令和3年9月30日
平成30年度	発酵微生物学	平成30年10月1日~令和6年3月31日
平成30年度(継続)	難治性高血圧·内分泌代謝疾患地域連携	平成30年6月1日~令和3年5月31日
平成30年度(継続)	視覚先端医療学	平成30年4月1日~令和3年3月31日
平成30年度(継続)	網膜疾患制御学	平成30年4月1日~令和3年3月31日
平成30年度(継続)	家畜生産機能開発学	平成30年4月1日~令和2年3月31日
平成29年度	地域総合診療医育成	平成29年10月1日~令和2年9月30日
平成29年度(継続)	循環器先端医療開発学	平成29年10月1日~令和4年9月30日
平成29年度(継続)	循環器 EBM 開発学	平成29年10月1日~令和4年9月30日
平成29年度(継続)	予防精神医学	平成29年10月1日~令和2年3月31日
平成29年度(継続)	先進感染症予防学	平成29年4月1日~令和2年3月31日
平成29年度	スポーツ・運動機能再建医学	平成29年4月1日~令和2年3月31日
平成29年度(継続)	環境物質政策学(DOWA ホールディングス)	平成29年4月1日~令和2年3月31日
平成28年度	微生物進化機能開発	平成28年10月1日~令和4年3月31日
平成27年度	微生物資源学	平成27年4月1日~令和2年3月31日

## 寄附研究部門

設置年度	名 称	設置期間
令和元年度(継続)	災害交通医療情報学	平成31年4月1日~令和4年3月31日
平成30年度(継続)	地震津波リスク評価(東京海上日動)	平成30年4月1日~令和3年3月31日
平成29年度(継続)	認知機能発達(公文教育研究会)	平成29年4月1日~令和2年3月31日
平成29年度(継続)	上廣歷史資料学	平成29年4月1日~令和4年3月31日

## ■ 共同研究講座·共同研究部門

共同研究講座・共同研究部門は、企業などから資金の他に研究者などを受け入れて、大学教員と目的を共有し、研究成果の実用化などを見据えた共同研究を促進することを目的として、「共同研究講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「共同研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

## 共同研究講座

(令和元年5月1日現在)

設置年度	部局名	名 称	設置期間
令和元年度	医学系研究科	漢方・統合医療学	平成31年4月1日~令和6年3月31日
令和元年度	医学系研究科	電磁気神経生理学(リコー)	平成31年4月1日~令和4年3月31日
令和元年度	工 学 研 究 科	インターコネクト・アドバンスト・テクノロジー(ICAT)	平成31年4月1日~令和6年3月31日
令和元年度	工 学 研 究 科	先端自動車トライボロジー材料研究(トヨタ自動車東日本)	平成31年4月1日~令和4年3月31日
令和元年度	農学研究科	J- オイルミルズ油脂イノベーション	平成31年4月1日~令和4年3月31日
平成30年度	医学系研究科	先進 MRI	平成30年10月1日~令和5年9月30日
平成30年度(継続)	工 学 研 究 科	先端電力工学	平成30年4月1日~令和3年3月31日
平成29年度	医学系研究科	眼科創薬	平成29年10月1日~令和2年9月30日
平成29年度	歯 学 研 究 科	先端フリーラジカル制御学	平成29年7月1日~令和2年3月31日
平成29年度	医学系研究科	抗体創薬	平成29年4月1日~令和4年3月31日
平成29年度	歯 学 研 究 科	次世代歯科材料工学	平成29年4月1日~令和2年3月31日
平成29年度(継続)	工 学 研 究 科	先進鉄鋼材料組織制御 (JFE スチール)	平成29年4月1日~令和2年3月31日

## 共同研究部門

			,
設置年度	部局名	名 称	設置期間
令和元年度	工 学 研 究 科	三菱ふそう実践的工学教育プログラム	令和元年5月1日~令和3年4月30日
令和元年度(継続)	電子光理学研究センター	凝縮系核反応	平成31年4月1日~令和5年3月31日
平成30年度	金属材料研究所	最先端金属積層造形技術 (JAMPT)	平成30年10月1日~令和3年9月30日
平成30年度	金属材料研究所	東京エレクトロン3D プリンティング材料加工プロセス工学	平成30年10月1日~令和3年9月30日
平成30年度	病院	腫瘍分子システム治療	平成30年7月1日~令和4年6月30日
平成30年度(継続)	サイバーサイエンスセンター	高性能計算技術開発	平成30年7月1日~令和2年6月30日
平成30年度	多元物質科学研究所	非鉄金属製錬環境科学	平成30年4月1日~令和5年3月31日
平成30年度(継続)	病院	造血器病理学	平成30年4月1日~令和2年3月31日
平成30年度(継続)	流体科学研究所	先端車輌基盤技術研究(ケーヒン)Ⅱ	平成30年4月1日~令和3年3月31日
平成30年度(継続)	工 学 研 究 科	電力エネルギー未来技術	平成30年4月1日~令和3年3月31日
平成28年度	病院	慢性腎臓病透析治療	平成28年10月1日~令和元年9月30日

### **産学官連携ポリシー**

東北大学は、建学以来、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」の理念を掲げ、世界トップレベルの研究・教育を創造してきました。また、研究成果は社会の直面する諸課題の解決に応えるとともに、社会の指導的人材を育成することで、人類社会の平和と繁栄に貢献してきました。東北大学は100年の歴史の中で継承してきた知の蓄積と、次の100年に向けて、絶えざる研究・教育の創造を通じ、人類社会に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指しています。

また、東北大学は「世界と地域に開かれた大学」の方針の下、大学の人的・知的資源及び総合力と地域や国際社会との連携により、人類社会全体の発展に貢献します。その一つであります産学官連携は、教育・研究に次ぐ大学の第3の使命である社会貢献の中核を成し、知の成果の社会還元を果たす要素として重要であり、大学として、以下の産学官連携ポリシーに基づき、積極的に取り組みます。

- 1. 建学以来の「実学尊重」の伝統と実践を礎に、学術成果を広く社会に還元すべく、産業界への技術移転を推進し、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます。
- 2. 国際的な産学官連携においては、技術移転や共同研究等に止まらず、世界をリードする技術革新を導く研究を推進します。
- 3. 地域が抱える諸課題の解決に向けた持続的な産学官連携を進め、地域イノベーションの原動力となることを目指し、我が国の経済・社会の発展に貢献します。
- 4. 大学に産学官連携を推進するための組織をおき、学内リソースの結集と国内外関係機関との連携により、国際的な視点に立って産学官連携活動を進めます。
- 5. 産学官連携を推進するにあたり、透明性を確保し、国内外の法令や国際間の条約等を遵守するなどの社会的説明責任を果たすことを基本とします。

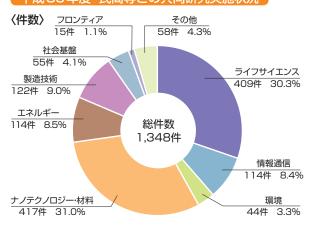
### 民間等との共同研究実施状況の推移

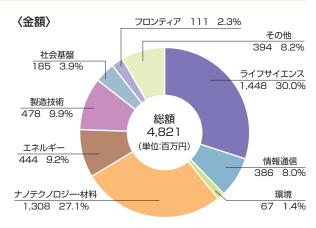
年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成30年度	1,348	4,821
平成29年度	1,195	4,211
平成28年度	1,106	3,878
平成27年度	1,012	4,040
平成26年度	974	3,549
平成25年度	897	4,127
平成24年度	831	3,084
平成23年度	862	2,840
平成22年度	854	2,956
平成21年度	837	2,692
平成20年度	786	2,459
平成19年度	698	2,086
平成 18年度	519	2,028
平成17年度	479	1,827
平成16年度	392	1,675
平成15年度	284	1,129

### 受託研究の受入状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成30年度	789	14,024
平成29年度	740	14,869
平成28年度	758	13,638
平成27年度	731	12,963
平成26年度	692	11,140
平成25年度	661	9,216
平成24年度	666	9,587
平成23年度	742	11,397
平成22年度	589	10,008
平成21年度	611	9,563
平成20年度	596	9,131
平成19年度	554	9,101
平成18年度	591	7,927
平成17年度	483	7,358
平成16年度	456	6,149
平成15年度	373	3,450

## 平成30年度 民間等との共同研究実施状況





## | 官民イノベーションプログラム (国立大学に対する出資事業) |

平成24年度に予算計上された本プログラムについては、大学の研究開発成果の事業化・実用化を推進するため、本学に対して政府出資金125億円、特別運営費交付金25億円が予算措置されています。

これを受けて、本学では「出資事業推進委員会」、「産学共同・事業化推進委員会」及び事業担当部署である「事業イノベーションセンター」を整備した上で、事業化の候補案件を「事業化推進事業型共同研究事業」として推進しています。

また、大学発ベンチャーに対して、資金供給等を行う事業 (特定研究成果活用支援事業) を実施するベンチャーキャピタルとして、本学 100%出資により東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社を平成27年2月に設立しました。

平成27年8月には、同社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合(ファンド)が組成され、本学発研究成果の事業化を目指すベンチャー企業への投資活動が開始されています。

## ■ 組織的連携

本学では、研究開発、人材育成、地域社会への責任、など相互の協力が可能な全ての分野において、大学全体として民間企業等と組織的連携を行い、具体的な協力を有機的に推進しています。  $(2\pi)$ 

組織的建携を行い、	呉体的は励力を有機的に推進	していまり。 (令和元年5月1日現在)
協定締結日	民間企業等名称	目 的
平成18年 1月19日	(株)日立製作所	電気、情報、材料、機械分野における共同研究や相互交流を目指す。
平成18年 1月31日	産業技術総合研究所 (AIST)	環境、材料、情報通信、エレクトロニクス分野等における共同研究および、「産総研・東北大 数理先端 材料モデリングオープンイノベーションラボラトリ(MathAM-Oll、)」の推進を目指す
平成18年 7月27日 ————————————————————————————————————	セイコーエプソン (株)	共同研究の推進、研究者の相互交流、教育及び人材の育成、留学生への奨学金支援業務及び国際交流助成を目指す。
平成18年12月26日	(株)河北新報社	共同研究・調査、イベント共催・協力、人材育成などの面での協力を軸に、教育・研究機能と、報道・情報 発信機能を連携させることを目指す。
平成19年 1月31日	(株)七十七銀行	東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援、東北大学シーズと地域企業とのマッチングコーディネート、技術相談、相互人材交流を目指す。
平成19年 3月 6日	DOWA ホールディングス (株)	共同研究の推進、研究者の相互交流、若手研究者の育成、研究施設、研究設備の相互利用を目指す。
平成20年 7月25日	実験動物中央研究所	ライフサイエンス分野、生命科学、材料科学並びに心理学、社会科学など相互協力が可能な全ての分野での共同研究、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 2月19日	高エネルギー加速器研究機構 (KEK)	素粒子原子核物理、物質生命科学、加速器科学の研究領域における共同研究のさらなる深化、共同研究体制の強化、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 3月 9日	自然科学研究機構核融合科学研究所	核融合炉に関する研究の更なる推進、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 4月14日	理化学研究所	理論と実験、計算科学と計算機科学の融合など、広範な学術領域の開拓を図り、計算科学によるイノベーションの創出、国際的に活躍できる人材の育成、人材交流を目指す。
平成22年 2月12日	NTT、NTT 東日本	情報通信分野における連携協力の更なる拡大、教育・研究活動の拡充、活性化、異分野融合型の研究開発の推進を目指す。
平成22年 6月 4日	住友金属鉱山(株)	非鉄金属素材に関する研究推進を図るため、さらなる共同研究、相互交流、人材育成の推進を目指す。
平成23年 7月26日	東京海上日動火災保険(株)	地震・津波のリスク評価に関連して、研究開発、人材育成等相互協力が可能な事項について、連携・協力を推進する。
平成23年11月10日	仙台市、筑波大学	生活排水を吸収して石油成分を生産する藻類バイオマスの研究・開発を推進する。燃料生産モデルと新しい循環型システムの実現を目指す。
平成24年 1月19日	情報通信研究機構 (NICT)	災害により強い社会の構築に向けて、情報通信ネットワーク及びその利活用の耐災害性強化のための情報通信技術の研究を効果的かつ効率的に推進する。
平成24年10月16日	海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	共同研究・プロジェクトの推進、人材交流、人材育成、学術資料・リサーチレポート等学術情報の交換、施設・設備等の利用等について、連携・協力を推進する。
平成25年 8月 1日	(株)東芝	「ヘルスケアビックデータに関する研究開発」に関連する研究領域において、研究開発、人材育成等の相 互協力が可能な事項について、連携・協力を実施する。
平成25年11月12日	物質·材料研究機構 (NIMS)	物質・材料分野において、両機関で連携・協力して研究開発や研究設備の相互利用・共同運営、人材交流等を行い、我が国の学術及び科学技術の振興と、社会の発展に寄与することを目指す。
平成25年12月18日	国土交通省東北地方整備局	双方が長年にわたり培ってきた信頼関係を基盤に、防災機能の向上及び地域社会の持続的発展に寄与することを目的に連携・協力の推進・強化を図る。
平成26年 3月28日	日本原子力研究開発機構 (JAEA)	研究施設・設備、研究成果、人材等を活用し、連携協力することにより、相互の研究開発及び人材育成の充実を図る。
平成26年 8月 1日	日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的医薬品の創出を目指して、新規創薬シーズ発掘のための連携・協力を推進する。
平成28年 4月 1日	人間文化研究機構	北東アジア地域研究を総合的に推進し、北東アジア地域研究の発展に寄与することを目的とする。
平成28年10月31日	医薬品医療機器総合機構 (PMDA)	双方が築き上げてきた資産、能力、人材等を相互に活用し合い、互恵の精神に基づき連携・協力することで我が国のレギュラトリーサイエンスの振興に資する。
平成28年11月 9日	量子科学技術研究開発機構(QST)	PET (陽電子断層撮像法)を利用した分子イメージング研究の高度専門人材育成を目指す。
平成29年 2月14日	中小企業基盤整備機構	大学発ベンチャーの創出、地域イノベーションの推進等を行うことを目的とした産学連携強化を目指す。 東北地域における産業の活性化と人材育成に貢献するため、あらゆる分野での連携・協力により地域の
平成29年 3月 1日	東北活性化研究センター	活力向上と人材育成を行うことで、持続的な発展に寄与する。 先端技術新事業の創出を目指し、地域産業の持続的成長促進に向けたイノベーションを担う創業人材の
平成29年 3月28日	アルプスアルパイン (株)	育成を図り、電子部品産業の振興と社会全体への発展に寄与する。
平成29年 4月20日	JFE スチール (株)	鉄鋼産業の振興と社会全体の発展に寄与する。 グローバル人材育成、農林水産業・食品産業海外展開支援、大学シーズのグローバル社会実装化支援等
平成29年 6月29日	日本貿易振興機構 (JETRO)	の連携プログラムにおいて連携協力を行う。
平成29年10月 3日	日本製鉄(株) (株) 七十七銀行、(株) 東京証券取引	鉄鋼産業の振興と社会全体の発展に寄与する。 ベンチャー企業及び地域企業の成長支援並びに起業家人材育成の推進に関して、地域の経済活性化・発
平成29年11月 8日	所	展に寄与する。
平成29年12月14日	石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)	双方の研究技術開発能力・人材・設備を補助的に活用することにより、資源・エネルギーに関する我が国の学術及び技術開発の発展に資する。
平成30年 1月26日	神戸大学、人間文化研究機構	日本の地域社会における歴史文化資料の調査研究と資料保全を目的とする全国広域ネットワーク事業と して構想した本事業を、連携3機関が中核として推進、もって、日本の地域社会における歴史文化の継 承と創成に向けた大学の教育・研究機能強化に資することを目的とする。
平成30年 6月26日	(株)フィリップス・ジャパン	デジタル技術 (ICT) を用いて「人々の行動変容」にフォーカスし、健康・予防・医療への新たな価値を生むヘルステックソリューションを創出する。
平成30年 7月18日	東京工業大学	量子コンピューティングを中心とした情報科学の基礎と応用の研究において、両大学の強みを活かして 組織的な連携を図ることにより、我が国における拠点を形成するとともに、世界的リーダーシップを発 揮することを目的とする。
平成30年 9月 5日	JX 金属(株)	非鉄金属産業における研究開発や人材育成など相互協力が可能な全ての事項において、持続的かつ組織的な連携協力を推進し、社会全体の発展に寄与する。
平成30年 9月19日	東京海上日動火災保険(株)	災害科学領域、ヘルスケア領域をはじめとする最先端研究成果を社会実装することにより、社会課題の 解決に取り組む。
平成30年10月 9日	経済産業研究所	学術研究の振興並びに研究成果による政策形成及び社会への貢献に資することを目的とする。
平成31年 3月20日	理化学研究所	相互に協力可能な全ての分野において、それぞれの研究、教育・人材育成などの具体的な連携・協力を、 互恵の精神に基づき効果的に実施することにより、我が国の学術及び科学技術の振興に資することを目 的とする。
平成31年 4月 2日	楽天(株)	のルスケア・医療、ロボティクス、人材育成をはじめとする様々な分野で互いの知見やアセットを活かしてイノベーションを創出し、スピード感を持って成果の社会実装を行う。

## ■ 社会との連携協力

### サイエンスカフェ

科学者が、科学に関心のある方々と飲み物を片手に気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

講師	所属	テーマ	開催日(平成30年度)
森口 周二 准教授	災害科学国際研究所	土砂災害入門 〜斜面はなぜ崩れるのか?〜	4月27日(金)
大関 真之 准教授	情報科学研究科	先生、それって量子の仕業ですか? ~量子力学とコンピュータの出会い~	5月25日(金)
尾定 誠 教授	農学研究科	貝類にまつわる切実な話 ~海の有効利用と人工繁殖~	6月29日(金)
正井 秀俊 助教	材料科学高等研究所	数学小噺 ~日常に数学を~	7月11日(水)
鈴木 匡子 教授	医学系研究科	見えるもの、見えないもの ~脳と視覚の不思議な関係~	8月31日(金)
岡部 真也 准教授	理学研究科	数学はお医者さんになれるか? ~がんのある治療法と数学の関わり ~	9月21日(金)
中山 啓子 教授	医学系研究科	がんは、何から出来てるの?	10月26日(金)
桑原 重文 教授	農学研究科	合成フェロモンを使って害虫防除	11月16日(金)
山本 雅哉 教授	工学研究科	医療に役立つソフトマテリアル	12月12日(水)
柿沼 薫 助教	学際科学フロンティア研究所·環境科学 研究科	モンゴル遊牧民の移動のふしぎ ~人と自然の関係を考える~	1月11日(金)
藪 浩 准教授	材料科学高等研究所	生き物に学ぶ材料開発	2月15日(金)
瀧宮 和男 教授	理学研究科	合成化学で機能を創る	3月22日(金)

## リベラルアーツサロン

文系の幅広い分野から、身近なテーマ・知識欲をかき立てるテーマを取り上げ、気軽に会話に興じるサロンの雰囲気で話し合う場です。

講師	所属	テーマ	開催日(平成30年度)
佐藤 嘉倫 教授	文学研究科	信頼をめぐる謎 一なぜ人は裏切られるかもしれないのに他人を信頼するのか?	6月8日(金)
野村 啓介 准教授	国際文化研究科	ワインの〈テロワール〉を歴史する 一近代フランスのワインづくり一	7月27日(金)
鈴木 岩弓 総長特命 教授	教養教育院	イエ亡き時代の死者のゆくえ ―"死者の記憶"のメカニズム―	9月28日(金)
福田 亘孝 教授	教育学研究科	少子高齢化と人口減少社会	11月9日(金)
瀬川 昌久 教授	東北アジア研究セン ター	親族・家族関係からみた日中両社会	1月25日(金)
若林 緑 准教授	経済学研究科	相関関係と因果関係を考える ~入門計量経済学~	3月15日(金)

## 産学官金連携フェア2019みやぎ

開催日	内容	開催地
平成31年1月22日	みやぎ産業振興機構主催の同フェアに特別共催機関として参画し、ロボット・AI、メディカルヘルスケア、IoT、マシン・マテリアル、エコロジカル・再生エネルギー、アグリ・バイオなどの各分野における研究と次世代放射 光施設に関する出展を行った。 中でも、実演コーナーにて災害復旧現場等での活動を想定したロボットを稼働展示し、高い技術力を広くアピー ルできた。	仙台国際センター

## 東北大学 MOOC

MOOC は、大規模公開オンライン講座 (massive open online course) の略称で、どなたでも無料のオンライン講義をオンデマンドで視聴でき、修了要件を満たした方には修了証が発行されます。

シリーズ名	講座名	講師	所属	オンライン講座開講期間 (平成30年度)	対面授業開講日 (平成30年度)
	男と女の文化史	高橋 章則 教授 他	文学研究科	5~7月、1~3月	-
東北大学で学ぶ高度 教養シリーズ	memento mori 一死を想え—	鈴木 岩弓 総長特命教授	教養教育院	10~12月	11月18日(京都) 11月25日(仙台)
	家族と民法	水野 紀子 教授	法学研究科	1~3月	-
東北大学 サイエンスシリーズ	東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学への アプローチ―災害科学の 役割	今村文彦 教授 他	災害科学国際研究所	9~11月	-
	解明:オーロラの謎	小原 隆博 教授	理学研究科	10月~ 12月	12月1日(仙台)

### **公盟講座**

## 部局主催

即向土准			
講座の名称	実施部局		
第53回東北大学教育指導者講座	教育学研究科		
先進材料システム加工プロセスと対価	工学研究科		
地球の未来を開くグリーンナノテクノロジー	工学研究科		
先端スピン工学	工学研究科		
エネルギーデバイス工学	工学研究科		
技術適応計画特論	工学研究科		
基盤構造材料学	工学研究科		
電気エネルギーシステム工学	工学研究科		
近代技術史学	工学研究科		
電子·分光計測学持論	工学研究科		
福島事故以降の安全学に向けて	工学研究科		
的場記念川渡セミナー	工学研究科		
軽水炉安全セミナー(原子炉廃止措置編)	工学研究科		
住居者の健康を中心とした、これからの建築環境の考え方	工学研究科		
第25回公開講座「国際文化基礎講座」世界で今 何が起きているか	国際文化研究科		
ものづくり基礎講座	金属材料研究所		
金属材料研究所第88回夏期講習会	金属材料研究所		
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開サイエンス講座 第1回 火星ってどんなところ?~人が住めるか考えよう~一地球物理学専攻・地学専攻編一	理学研究科		
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開サイエンス 講座 第2回 ブラネタリウムコンサートサックスカルテットで紡ぐ 「惑星」のお話一地球物理学専攻・地学専攻編一	理学研究科		
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開サイエンス講座 第3回 はやぶさ2で探る 太陽系と生命誕生の秘密ー地球物理学専攻・地学専攻編―	理学研究科		
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開 サイエンス講座 第4回 天の川銀河誕生の新たな 描像に迫る一地球物理学専攻・地学専攻編ー	理学研究科		
一般講演会「加速する宇宙とダーク成分」	理学研究科		
が	在するパノリイ		

### みやぎ県民大学大学開放講座

いくとボルハナハナ川川川田	
講座の名称	実施部局
超少子高齢社会にどのように備えるか:経済学からヒント	経済学研究科
学口のすゝめ〜お口から健康を考える〜	歯学研究科
社会・文化から考える環境	環境科学研究科
地球にやさしいエネルギーと環境・省エネルギー 技術〜半導体・超伝導・AI・植物の品種改良〜	金属材料研究所
ながれの科学	流体科学研究所
English Speech Craft Workshop	電気通信研究所
環境問題に寄与する材料プロセス	多元物質科学研究所

## 「学都仙台コンソーシアム」サテライトキャンパス公開講座

共成のない	shift to E
講座の名称	実施部局
マルチ人間大槻文彦一その仙台の文化への貢献一	文学研究科
マグロを科学する一生態から食品学的特徴に至るまで一	農学研究科
あなたの血管は何歳?―地球の上での日本人の血管	加齢医学研究所
震災後のエネルギーと環境	多元物質科学研究所
2020東京オリパラボランティアに向けて	多元物質科学研究所
仙台のスポーツボランティアと東京オリパラ	多元物質科学研究所
ブラタモリ風ぼうさいまち探検のススメ	災害科学国際研究所
繰り返す宮城県沖地震を通して見る仙台の歴史と防災	災害科学国際研究所
シネマを見ながら、"環境問題"を知る・考える	未来科学技術共同研究センター

## 高校生のための公開授業

講座の名称	実施部局
電気情報物理工学特別講義	工学部
日本社会・文化 A「言語としての手話入門」	全学教育
進化の過程に基づく生体機能のイメージ構成	全学教育

## 高校生のための公開講座

講座の名称	実施部局【講館	师派遣先高校】
ドイツ文学へのいざない	文学部	
量子ビームを活用した地球深部研究について	理学部	【佐沼高校  (地域開催)】
私たちの生活を支える材料科学	工学部	(-0-90//8/12/1
言葉の普遍性と多様性:日本語と英語の比較から	文学部	
学制改革の日独比較	教育学部	【仙台一高
刑事司法を考える―黙秘権を題材として	法学部	(地域開催)】
コンビニの経営学―セブンイレブンはなぜ強いのか―	経済学部	

 講座の名称	実施部局【講館	师派遣先高校】
文学部の学び一文献読解からフィールドワークまで一	文学部	
法学部における法学の意味と無意味	法学部	
計量経済学の第一歩	経済学部	
子どもの貧困について	経済学部	
地球生命の歴史	理学部	【仙台三高】
光を医療に応用する(仮)	工学部	
建築物における地盤の重要性とその性質(仮)	工学部	
エンジニアになるとは、そのために高校時代に今やるべきこと	工学部	
農学部での学びと研究内容のご紹介一私の専門は土壌肥料学です一	農学部	
文学の世界一フランス文学研究入門一	文学部	
教育学の世界	教育学部	
なぜ生物を研究するのか?―生物学入門―	理学部	【宮城野高校】
(半)正多面体を創る一オイラーの多面体定理を中心に	理学部	
高圧食品の世界	農学部	
社会学とはどのような学問か	文学部	
平成の時代を考える	文学部	
会社の誕生:世界が会社で支配されるとき	経済学部	
企業の海外進出と財務分析	経済学部	
創傷を有する対象への援助について	医学部	【泉高校】
環境問題解決のための材料ー水素社会における自動車と触媒開発ー	工学部	[SCI-DIX]
超音波・電磁波・マイクロ波の物理作用を利用した環境調和型材料プロセッシング	工学部	
海を守り、海から恵みを得るとはどういうことか	農学部	
精子の幹細胞の話	農学部	
所得の分配について考えてみよう	経済学部	
人工の眼を創ろう! 失われた視力を取り戻す次世代コンピューターチップ	工学部	【白石高校】
物語の面白さとそのメディア的特性	文学部	
歴史のなかの経済的・経営的意思決定:イギリス産業革命の事例から考える	経済学部	
火星探査を議論する	理学部	
ガリレオ・ガリレイの材料力学と宇宙行きエレベータ: loT+ 環境発電 + 植物繊維=?	工学部	
建築学のすすめ:人間と環境の関係をデザインする	工学部	【宮城第一高校】
向社会行動オキシトシン:動物やヒトの絆を支え		
るオキシトシン・受容体系から脳を考える	農学部	
言葉とコミュニケーションの心理学	災害科学国際研究所	
「ふるさとの古文書」を学ぶ意義とは	災害科学国際研究所	
創薬エンジニアリング:バイオ×化学×工学でがんに立ち向かう	工学部	[丁类宣长]
気候変動とアジアの稲作	農学部	【石巻高校】
触媒と化学でエネルギー・環境問題解決を目指すーバイオマスや二酸化炭素の変換	工学部	【角田高校】
意志決定論入門	経済学部	
ネットワークでみる経済	経済学部	【古川高校】
化学を使ってナノの世界で組み上げる新しい材料開発	工学部	
化石から探る過去の環境 500万年前の竜の口の海	理学部	【仙台向山高】
日本人と宗教リテラシー	文学部	
ゆとり教育とは何だったのか? 一グローバル人材養成のための教育改革 一	教育学部	
実定法解釈入門	法学部	
民主政治とポラリズム	法学部	
経済学からみる日本社会	経済学部	
人工衛星から植物の光合成を"視る"	理学部	
地球深部物質科学	理学部	
知っておきたい医学研究と医療の関係	医学部	【仙台二高】
東北大学の薬学部の授業・研究について	薬学部	
日本の住まいとまちづくり	工学部	
賃貸と共生する化学のものつくり	丁学部	
環境と共生する化学のものづくり マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へー	工学部  丁学部	
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へー	工学部	
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へー 微小な電力を制御する素子の開発	工学部 工学部	
マテリアルサイエンスとは何か -ナノからテラの世界へ- 微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学	工学部 工学部 農学部	
マテリアルサイエンスとは何か -ナノからテラの世界へ- 微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して	工学部 工学部 農学部 医工学研究科	
マテリアルサイエンスとは何か -ナノからテラの世界へ- 微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究-大槻文彦の位置づけに触れつつ-	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部	
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一 微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究一大槻文彦の位置づけに触れつつ一 法学部における法学の意味と無意味	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部	
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一 微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究-大槻文彦の位置づけに触れつつ一 法学部における法学の意味と無意味 経済成長について	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部 経済学部	
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一 微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究一大槻文彦の位置づけに触れつつ一 法学部における法学の意味と無意味 経済成長について ホタルの光を化学する! 〜バイオ分析化学への招待〜	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部 経済学部 理学部	
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究一大槻文彦の位置づけに触れつつー 法学部における法学の意味と無意味 経済成長について ホタルの光を化学する!~バイオ分析化学への招待~ 理学の世界・物理学の世界	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部 経済学部 理学部	FAILA ***
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一 微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究一大槻文彦の位置づけに触れつつー 法学部における法学の意味と無意味 経済成長について ホタルの光を化学する!~バイオ分析化学への招待~ 理学の世界・物理学の世界 脳科学から見た学びのメカニズム	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部 経済学部 理学部 医学部	[仙台一高]
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究-大槻文彦の位置づけに触れつつー 法学部における法学の意味と無意味 経済成長について ホタルの光を化学する!~パイオ分析化学への招待~ 理学の世界・物理学の世界 脳科学から見た学びのメカニズム 大学では何を学ぶのか	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 薬学部	【仙台一高】
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一 微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究-大槻文彦の位置づけに触れつつー 法学部における法学の意味と無意味 経済成長について ホタルの光を化学する! ~バイオ分析化学への招待~理学の世界・物理学の世界 脳科学から見た学びのメカニズム 大学では何を学ぶのか 環境問題解決に向けた化学の役割	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部 程学部 理学部 医学部 要学部 医学部 薬学部 工学部	【仙台一高】
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一 微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究一大槻文彦の位置づけに触れつつー 法学部における法学の意味と無意味 経済成長について ホタルの光を化学する! ~バイオ分析化学への招待~理学の世界・物理学の世界 脳科学から見た学びのメカニズム 大学では何を学ぶのか 環境問題解決に向けた化学の役割 世界のエネルギー問題理解のために	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部 程学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 工学部	【仙台一高】
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究-大槻文彦の位置づけに触れつつー 法学部における法学の意味と無意味 経済成長について ホタルの光を化学する! ~バイオ分析化学への招待~ 理学の世界・物理学の世界 脳科学から見た学びのメカニズム 大学では何を学ぶのか 環境問題解決に向けた化学の役割 世界のエネルギー問題理解のために 現代暗号のフロンティア~木の棒から数学・工学へ	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部 理学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 工学部	【仙台一高】
マテリアルサイエンスとは何か ーナノからテラの世界へ一微小な電力を制御する素子の開発 高圧食品の科学 医工学を知っていますか?工学による医療の革新を目指して 文学部の学問と言語研究-大槻文彦の位置づけに触れつつー 法学部における法学の意味と無意味 経済成長について ホタルの光を化学する! ~バイオ分析化学への招待~ 理学の世界・物理学の世界 脳科学から見た学びのメカニズム 大学では何を学ぶのか 環境問題解決に向けた化学の役割 世界のエネルギー問題理解のために	工学部 工学部 農学部 医工学研究科 文学部 法学部 程学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 工学部	【仙台一高】

## 学術交流協定締結等

### 大学間協定

### 35ヶ国・地域 229機関

### **<アジア>**

- \*東北大学(1983.8.5)
- \*中国科学技術大学(1998.6.15)
- \*清華大学(1998.8.31)
- \*南京大学(1999.9.1)
- \*北京大学(1999.11.10)
- \*吉林大学(2001.3.1)
- \*浙江大学(2001.4.9)
- \*復旦大学(2001.4.19)
- \*武漢理工大学(2001.4.30)
- \*重慶大学(2001.7.4)
- \*同済大学(2002.8.13)
- \*中国海洋大学(2002.10.21)
- \*北京科技大学(2002.10.25)
- \*南京航空航天大学(2003.3.10)
- \* 厦門大学 (2005.6.29)
- \*華中科技大学(2005.10.12)
- \*西安交通大学(2006.8.31)
- \*華東師範大学(2006.9.20)
- \*北京航空航天大学(2006.12.16)
- \*蘭州大学(2007.4.17)
- \*天津大学(2007.6.8)
- \*大連理工大学(2007.6.16)
- \*揚州大学(2008.6.20)
- 中国社会科学院 (2008.10.15)
- \*東南大学(2009.6.29)
- \*上海交通大学(2009.10.15)
- \*北京工業大学(2010.10.16)
- \*北京郵電大学(2010.10.17) \*香港科技大学(2011.2.1) \*上海海洋大学(2011.12.5)

- \*中国地質大学(武漢)(2012.2.6)
- \*香港城市大学(2012.3.17)
- \*東北財経大学(2013.3.19)
- \*上海大学(2014.5.7)
- \*西南大学(2018.1.3)
- \*四川大学(2018.6.26) 香港大学(2019.3.16)

- \*インド工科大学ボンベイ校(2000.8.21)
- \*インド科学大学(2008.12.18)

- \*インドネシア大学(2004.3.19)
- \*ガジャマダ大学(2006.12.16)
- \*バンドン工科大学(2008.6.4) \*ボゴール農科大学(2010.3.23)
- \*ブラウィジャヤ大学(2014.9.24)
- パジャジャラン大学(2016.1.21) \*セプル・ノーペンバー工科大学(2018.12.21)

\*マラヤ大学(2016.1.21)

- モンゴル科学アカデミー(2000.8.21)
- \*モンゴル科学技術大学(2001.11.16)

\*シンガポール国立大学(2000.9.16)

- \*全北大学校(1991.11.12)
- \*ソウル大学校(1998.7.8) \*光州科学技術院(2000.8.21)
- \* 釜慶大学校 (2000.8.21)
- \*浦項工科大学校(2000.9.22)
- \*韓国科学技術院(2001.4.24)
- \*忠南大学校(2001.7.9)
- \*慶北大学校(2002.9.2)
- \*嶺南大学校(2003.12.3)
- \*朝鮮大学校(2004.3.18)
- \*高麗大学校(2004.3.31)
- \*国立昌原大学校(2005.10.2)
- \*西江大学校(2007.2.2)
- \*延世大学校(2007.5.29) \*国立公州大学校(2007.7.29)
- \*中央大学校(2008.3.27)

- \* 慶熙大学校 (2010.3.5) \*成均館大学校(2012.3.15)
- \*国民大学校(2012.4.10)
- \*韓国科学技術研究院(2016.8.23)

\*モラトゥワ大学(2015.9.16)

- \*国立台湾大学(2000.11.18)
- \*国立中正大学(2003.11.14)
- \*国立成功大学(2005.8.9)
- \*国立交通大学(2005.12.15)
- \*国立中興大学(2009.3.30)
- \*国立清華大学(2009.12.2)
- \*国立政治大学(2011.4.22)
- \*東呉大学(2014.8.8)
- \*国立中央大学(2015.2.24)

- \*アジア工科大学院(1998.11.9)
- \*スラナリー工科大学(2001.3.1)
- \*キングモンクット工科大学ラカバン校(2004.4.15)
- \*チュラロンコーン大学(2011.2.3)
- \*タマサート大学(2012.4.5)
- \*チェンマイ大学(2012.4.10)
- \*キングモンクット工科大学トンブリ校(2012.11.26)
- \*泰日工業大学(2014.8.19)

- \*ベトナム国立大学ハノイ校(2009.7.6)
- \*貿易大学(2013.8.15)
- \*ホーチミン市工科大学(2014.10.14)
- \*チュイロイ大学(2019.2.23)

## イラン

\*テヘラン大学(1999.8.25)

## トルコ

- \*イスタンブール工科大学(2011.10.3)
- \*エーゲ大学(2017.7.13)

### **<アフリカ>**

\*ムハンマド5世大学-ラバト(2001.4.30)

- \*クワズールー・ナタール大学(2010.12.20)
- \* ヨハネスブルグ大学(2016.8.19)

## **<オセアニア>**

- \*シドニー大学(1993.1.8)
- \*ニューサウスウェールズ大学(2001.4.7) \*オーストラリア国立大学(2002.7.16)
- \*メルボルン大学(2014.11.7)
- \*マッコーリー大学(2017.7.13)

オークランド大学(2002.11.15)

## <北米>

## ( カナダ

- \*ウォータールー大学(2006.10.30)
- \*オタワ大学(2009.6.26)
- \*クィーンズ大学(2016.8.24)
- \*ブリティッシュ・コロンビア大学(2018.8.17)

- \*ペンシルベニア州立大学(1988.11.29)
- \*カリフォルニア大学(1990.3.15)

バークレー校

デービス校

アーヴィン校

ロサンゼルス校 マーセド校

リバーサイド校

令和元年5月1日現在

```
サンディエゴ校
  サンフランシスコ校
  サンタバーバラ校
  サンタクルス校
*ワシントン大学(シアトル)(1996.7.3)
*パーデュー大学(1997.9.23)
*アラスカ大学(1999.1.12)
*コロラド鉱山大学(2004.1.7)
*シラキュース大学(2008.11.19)
*国際教育協会(2009.1.27)
*テンプル大学(2010.6.7)
 ハーバード大学(2010.7.22)
*テキサス A&M 大学(2011.9.13)
*ハワイ大学マノア校(2012.3.11)
 保健社会福祉省国立衛生研究所(2013.5.9)
*ニューヨーク州立大学オールバニー校(2014.5.1)
*ノースカロライナ大学シャーロット校(2014.12.25)
*ケースウェスタンリザーブ大学(2015.7.29)
*ミシガン州立大学(2015.9.25)
*メリーランド大学カレッジパーク校(2016.2.22)
*モンタナ大学(2016.9.22)
 ライス大学(2017.7.21)
*デンバー大学(2017.10.17)
*ベイラー大学(2018.2.26)
*ジョージア工科大学(2018.3.16)
*ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校(2019.2.8)
```

### (ベネズエラ

\*シモン・ボリバル大学(2008.1.8)

### **<ヨーロッパ>**

### ( オーストリア

\* Ge4 - Global Education: Exchanges for Engineers and Entrepreneurs(2002.11.14)

\*ウィーン大学(2010.2.24)

ベルギー原子力研究センター (2005.6.16)

\*チェコ工科大学プラハ校(2016.5.9)

## フィンランド

- \*アアルト大学(2001.11.5)
- \*オウル大学(2004.8.9)
- \*タンペレ工科大学(2006.1.31)
- \*トゥルク大学(2016.11.29)

- \*ソルボンヌ大学(1999.8.19)
- \*レンヌ第2大学(1999.12.3)
- \*グルノーブル・アルプ大学連合(2000.3.31)
- \*ストラスブール大学(2000.3.31)
- \*レンヌ第1大学(2000.12.20)
- \*国立応用科学院リヨン校(2004.7.13)
- \*ボルドー大学(2005.7.28)
- \*国立中央理工科学校(2006.2.13)

リール校

リヨン校 マルセイユ校

ナント校 セントラルスピレック

- \*アルビ鉱山大学(2006.9.12)
- \*リヨン政治学院(2008.6.6)
- \*リヨン高等師範学校(2008.8.11)
- \*リヨン第2大学(2009.10.20)
- \*コンピエンヌ工科大学(2010.3.15)
- \*サンテティエンヌ国立高等鉱山学校(2012.4.5) \*ボルドー工科大学(2013.7.5)
- リヨン大学(2013.9.9)
- \*国立東洋言語文化研究大学(INALCO)(2017.1.31)
- \*パリ第7大学(2017.9.21)
- \*ロレーヌ大学(2018.2.26)

- \*アーヘン工科大学(1998.5.19)
- \*ドルトムント工科大学(1999.3.2)
- \*ザールラント大学(1999.10.5)
- \*ダルムシュタット工科大学(2003.4.30)
- \*ゲッティンゲン大学(2003.10.23)

- \*ドレスデン工科大学(2006.6.26)
- \*ベルリン工科大学(2009.8.26)
- \*ミュンヘン工科大学(2010.8.3)
- \*カールスルー工工科大学(2011.1.18)
- \*カイザースラウテルン工科大学(2012.2.1) \*ハイデルベルク大学(2012.2.2)
- \*ヨハネスグーテンベルク大学マインツ (2012.2.6)
- ドイツ航空宇宙センター(2013.3.1)
- \*パダボーン大学(2013.8.21)
- \*ケムニッツ工科大学(2013.10.31)
- \* レーゲンスブルク大学(2017.3.16) \* オルデンブルク大学(2017.7.13)

- ローマ大学「ラ・サピエンツァ」(1990.9.27)
- \*フィレンツェ大学(2009.8.21)
- \*トリノ工科大学(2010.11.24)
- \*ナポリ大学(2012.3.28)
- \*ミラノ工科大学(2013.5.14)
- \*ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学(2018.3.14)

- \*グローニンゲン大学(2011.11.17)
- \*トゥウェンテ大学(2015.8.21)
- \*デルフト工科大学(2016.1.11)

### ポルトガル

\*リスボン新大学(2017.9.18)

- \*ロシア科学アカデミー・シベリア支部(1992.8.10)
- \*モスクワ国立大学(1998.2.19)
- \* ノボシビルスク国立大学 (2003.7.4) ロシア科学アカデミー・極東支部 (2012.1.23)
- \*極東連邦大学(2012.3.19)
- \*ロシア国立高等経済学院 (HSE) (2014.9.30)
- \*サンクトペテルブルク国立総合大学(2014.10.1)

## スペイン

- \*グラナダ大学(2012.9.27)
- \*バリャドリッド大学(2014.6.11) マドリード・コンプルテンセ大学(2017.12.28)
- \*サラマンカ大学(2018.5.20)

### ( スウェーデン

- \*ウーメオ大学(1997.8.18)
- \*王立工科大学(2000.9.20)
- \* ウプサラ大学 (2002.3.20)
- \*ストックホルム大学(2003.1.14)
- \*チャルマースT科大学(2006.4.19)

- \*スイス連邦工科大学ローザンヌ校(2000.11.20) スイス連邦工科大学チューリッヒ校(2010.7.21)
- \*ジュネーブ大学(2015.10.20)

### ウクライナ

\*ウクライナ国立工業大学(キエフ工科大学)(2004.6.2)

ロンドン大学 "The School of Oriental and African Studies" (1989.4.10) ノッチンガム大学(2001.5.15)

- \*ヨーク大学(2004.06.07)
- \*シェフィールド大学(2009.8.21) ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(2013.11.21)
- \*イーストアングリア大学(2018.12.14)

### <国際機関>

ITER 国際核融合エネルギー機構 (2013.12.24) 国連大学環境・人間の安全保障研究所(2017.10.17) 国連大学サステイナビリティ高等研究所(2018.3.8)

注1)\*印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。 注2)協定機関名の後の括弧は協定締結年月日。

## 学術交流協定締結等

# 部局間協定 62ヶ国·地域 472機関

\$	国・地域	機 関	部局	締結年月日
ブア	バングラディシュ (2)	* ダッカ大学会計・情報システム学部	経済学部·経済学研究科	2015/04/2
	市国 (92)	ダッカ大学生物科学部・北京医院	農学部・農学研究科	2014/04/2
	中国 (83)	北京医院  * 北京師節大学教育学部	医学部・医学系研究科 教育学部・教育学研究科	1994/11/1 2013/05/0
		* 北京師範大学教育学部 中国医科大学	教育学部·教育学研究科 医学部·医学系研究科	1982/09/2
		中国医科ス字 * 中国石油(東中国)大学機械及び電子工学部	エ学部・工学研究科	2019/02/2
		* 中国政法大学商学院	経済学部·経済学研究科	2015/06/1
		* 中国政法大学政治学・公共管理学院	経済学部·経済学研究科	2015/05/1
		中国科学院長春光学精密機械物理研究所	多元物質科学研究所	2000/12/2
		* 中国科学院化学研究所	工学部・工学研究科	2006/11/0
		中国科学院化学研究所		2010/04/1
		中国科学院物理研究所	材料科学高等研究所	2010/04/1
		中国科学院书導体研究所	流体科学研究所	2007/05/2
		中国科学院上海有機化学研究所	電気通信研究所 農学部·農学研究科	2005/06/0
		中国科学院工海特梯化学研究所	法学部·法学研究科	2003/07/0
				2012/07/0
			流体科学研究所	
		大連市口腔医院  * 大連理工大学研究生院	歯学部・歯学研究科 工学部・工学研究科	2013/04/0 2000/06/1
		· VCENTING WINDING		
		F1446754111 4 3 11411 3 170	経済学部·経済学研究科	2005/05/0
		·	教育学部・教育学研究科	2013/11/2
			教育学部・教育学研究科	2013/11/2 2010/07/2
			工学部・工学研究科	
		1000	歯学部・歯学研究科	2013/04/0
		広東省民族宗教研究院 	東北アジア研究センター	2001/06/2
		* 貴州大学管理学院	経済学部·経済学研究科	2015/06/3
		* 杭州師範大学教育科学学院 * ハルビン工業大学	教育学部・教育学研究科	2013/03/2
		. , , , , , ,	工学部·工学研究科	1996/08/0
		ハルビン工業大学計算機科学・技術学院	情報科学研究科	2010/07/0
		* ハルビン医科大学	医学部・医学系研究科	2000/06/2
		* 河北師範大学商学院	経済学部・経済学研究科	2016/01/1
		華僑大学材料科学工程学院	多元物質科学研究所	2001/06/0
		* 湖南大学金融学院	経済学部・経済学研究科	2009/04/2
		内蒙古師範大学蒙古学学院	東北アジア研究センター	2008/04/0
		内蒙古師範大学旅游学院	東北アジア研究センター	2011/09/2
		内蒙古大学蒙古学学院	東北アジア研究センター	2008/09/2
		* 江南大学 Junyuan 学院	工学部・工学研究科	2016/03/1
		遼寧省腫瘤病院·遼寧省腫瘤研究所	加齢医学研究所	1998/12/0
		中央民族大学蒙古語言文学系	東北アジア研究センター	2014/02/2
		* 南京監査大学監査会計学院	経済学部·経済学研究科	2015/04/1
		* 南京師範大学教育科学学院	教育学部·教育学研究科	2010/11/2
		* 南京師範大学心理学院	教育学部·教育学研究科	2013/11/2
		* 南京大学化学·化学工学科	理学部·理学研究科	2014/03/2
		* 南開大学経済社会発展研究院	国際文化研究科	2017/06/3
		* 南開大学外国語学院	文学部·文学研究科	2015/12/1
		* 南開大学外国語学院	国際文化研究科	2015/12/1
		* 南開大学日本研究院	文学部·文学研究科	2016/02/2
		国家ナノ科学センター	医学部·医学系研究科	2015/01/1
		東北大学	工学部·工学研究科	1981/11/2
		* 東北師範大学教育学部	教育学部·教育学研究科	2014/11/1
		* 東北師範大学 MBA 教育センター会計専門職大学院	経済学部·経済学研究科	2015/09/2
		* 東北師範大学商学院	経済学部·経済学研究科	2015/03/1
		* 中国海洋大学	農学部·農学研究科	2001/12/2
		北京大学ナノ科学技術研究センター	多元物質科学研究所	1998/11/0
		北京大学日本研究センター	教育学部·教育学研究科	1999/05/1
		* 青島科技大学環境及び安全工学部	工学部·工学研究科	2017/02/2
		* 中国人民大学商学院	経済学部·経済学研究科	2004/10/1
		* 山東大学外国語学院	文学部·文学研究科	2018/10/2
		* 上海交通大学口腔医学院	歯学部·歯学研究科	2016/05/1
		* 上海交通大学環境科学与工程学院	環境科学研究科	2013/11/1
		* 上海海洋大学	農学部·農学研究科	2002/10/3
		* 四川大学商学院	経済学部·経済学研究科	2015/08/1
		* 四川大学経済学院	経済学部·経済学研究科	2015/09/0
		* 四川大学公共管理学院	経済学部·経済学研究科	2015/09/0
		四川大学華西薬学院	薬学部·薬学研究科	2010/02/1
		四川大学華西口腔医学院	歯学部·歯学研究科	2006/09/2
		* 蘇州大学薬学部	薬学部·薬学研究科	2014/12/2
		* 華南理工大学 電子·情報学院、建築学院、機械·自動車工程学院	工学部·工学研究科	2016/07/0
		* 東南大学経済管理学院	経済学部·経済学研究科	2010/07/2
		* 西南交通大学公共管理学院	経済学部·経済学研究科	2015/04/1
		西南大学材料・エネルギー学部	多元物質科学研究所	2017/03/2
		* 西南政法大学	法学部·法学研究科	2016/06/0
		* 中山大学光華口腔医学院	歯学部·歯学研究科	2018/03/1
		香港科技大学科学部	材料科学高等研究所	2010/04/0
		* 香港大学歯学部	歯学部·歯学研究科	2015/11/1
		* 香港大学 LI KA SHING 医学部	医学部·医学系研究科	2013/11/0
		* 天津医科大学口腔医学院	歯学部·歯学研究科	2010/07/0
		* 天津医科大学および TEDA 国際心血管病院	医学部·医学系研究科	2015/05/0
		* 電子科技大学	工学部·工学研究科	2009/06/2
		* 武漢大学哲学院	文学部·文学研究科	2015/03/1
		* 武漢大学哲学院	経済学部·経済学研究科	2018/05/3
		* 武漢大学口腔医学院	歯学部·歯学研究科	2018/12/2
		* 西安外国語大学日本文化経済学院	文学部·文学研究科	2017/05/1
		* 西安建築科技大学 環境·市政工程学院	環境科学研究科	2013/12/1
		* 西安電子科技大学	工学部・工学研究科	1999/08/1
		第一位女电子科技人子	多元物質科学研究所	2003/06/1
	インド (4)	* インド科学教育研究大学ボバール校	安九初貞科子研九州 医工学研究科	2019/04/0
	121 (4)	* インドイチ教育研究人子がバール校 * インド工科大学マドラス校	工学部・工学研究科	2013/04/0
			工学部・工学研究科工学部・工学研究科	1999/04/2
		プネ国立化学研究所		
	ノンドランフ (01)	* ボックカリガーラ・サンガ・デンタルカレッジ	歯学部・歯学研究科 ※等科学国際研究部	2014/07/0
	インドネシア(21)	アチェ津波博物館	災害科学国際研究所	2016/11/2
		* アイルランガ大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2015/02/1
		* アルハイラート大学医学部およびアヌタブラ病院	医学部·医学系研究科	2017/07/0
		ガジャマダ大学農学部	環境科学研究科	2014/06/1
		* ガジャマダ大学文化研究学部	文学部·文学研究科	2016/02/1
		* ガジャマダ大学大学院	文学部·文学研究科	2016/06/3
			## 574 44  ## 574 111 42 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	2015/03/1
		* ハサヌディン大学農学部	農学部·農学研究科	2015/03/1

令和元年5月1日現在

ノア	国・地域	機関	部局	締結年月日
7		* バンドン工科大学	工学部·工学研究科	2000/03/24
		バンドン工科大学	環境科学研究科	2008/01/17
		* シャリフ・ヒダーヤットゥラ国立イスラム大学 (UIN)ジャカルタ医療・健康科学学部	医学部·医学系研究科	2016/09/29
		* バジャジャラン大学数学・自然科学部 * バジャジャラン大学大学院	工学部·工学研究科 農学部·農学研究科	2011/01/31 2010/03/18
		* ヤファファフラス子ス子院 * セブル・ノーペンバー工科大学	工学部·工学研究科	2006/12/21
		シャクアラ大学数理学部	災害科学国際研究所	2014/06/01
		シャクアラ大学津波災害軽減研究センター	災害科学国際研究所	2016/11/22
		* ジェンベル大学歯学部	歯学部·歯学研究科	2017/06/15
		* 国立インドネシア教育大学教育学部・大学院研究科	教育学部·教育学研究科	2017/03/10
		* 北スマトラ大学歯学部  * ブラウィジャヤ大学 数学・自然科学部	歯学部·歯学研究科 理学部·理学研究科	2018/10/22 2013/11/17
		* フラウィンヤ アス子 奴子・日 ※ インフラインヤ アス子 奴子・日 ※ インフラインヤ アス子 奴子・日 ※ インフラインヤ アステ 女子・日 ※ インフラインヤ アステー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	工学部・工学研究科	2016/08/16
	マレーシア (2)	モナシュ大学サンウェイ校	医工学研究科	2014/01/06
		マレーシア工科大学土木工学研究科	環境科学研究科	2015/12/21
	モンゴル (5)	* マンダフバートゲル大学	経済学部·経済学研究科	2015/04/16
		* モンゴル医学アカデミー	医学部·医学系研究科	2010/03/24
		* モンゴル国立医療科学大学歯学部 * モンゴル農業大学大学院	歯学部·歯学研究科 農学部·農学研究科	2015/01/05 2013/02/28
		モンゴル科学技術大学ジオサイエンスセンター	東北アジア研究センター	2000/10/02
	ネパール (1)	トリブバン大学医学部	災害科学国際研究所	2016/11/01
	フィリピン (4)	アンヘラス大学	災害科学国際研究所	2014/11/03
		* ミンダナオ州立大学イリガン工科校	工学部·工学研究科	1999/09/09
		国立熱帯医学研究所 (RITM)	医学部·医学系研究科	2013/01/25
	シンガポール (4)	フィリピン大学マニラ校 * ナンヤン工科大学工学部	災害科学国際研究所 工学部·工学研究科	2014/06/20 2010/10/12
	22/3/K /V (4)	ナンヤン工科大学機械・航空宇宙工学部	流体科学研究所	2000/04/14
		シンガポールスピントロニクスコンソーシアム	スピントロニクス学術連携研究教育センター	2017/03/27
		テマセック・ポリテクニック	加齢医学研究所	2013/07/15
	韓国 (33)	* 全南大学校工科大学	工学部·工学研究科	2007/11/12
		全南大学校歯医学専門大学院 忠北大学校薬学大学	歯学部・歯学研究科 薬学部・薬学研究科	1991/08/30 1998/11/23
		思北大学校案学大学 * 忠南大学校工科大学	葉学部·葉学研究科 工学部·工学研究科	2000/07/20
		* 東国大学校文科大学	文学部·文学研究科	2012/07/04
		翰林大学校日本学研究所	文学部·文学研究科	2018/12/15
		韓南大学校ハイブリッド材料研究所	多元物質科学研究所	2003/01/17
		* 漢陽大学校工科大学及び大学院	工学部·工学研究科	2007/01/09
		* 漢陽大学校理工学部	流体科学研究所	2012/04/03
		済州大学校農科大学 * 建国大学校大学院、工学部、建築学部、情報通信学部、生命環境科学部	農学部·農学研究科 工学部·工学研究科	1984/08/07 2010/07/22
		* 国民大学校社会科学大学	法学部·法学研究科	2004/07/22
		韓国科学技術院電子部品・材料設計人力教育センター	金属材料研究所	2000/05/11
		韓国原子力研究所	金属材料研究所	2018/11/14
		韓国科学技術研究院 (KIST)	金属材料研究所	1989/11/15
		* 韓国科学技術研究院 (KIST) 未来融合技術研究部	医学部·医学系研究科	2014/11/10
		韓国国立海洋大学校工科大学 韓国極地研究所	金属材料研究所 理学部·理学研究科	2009/04/15 2017/12/11
		高麗大学校日本学研究センター	東北アジア研究センター	2008/04/25
		高麗大学校中国学研究所	東北アジア研究センター	2008/04/25
		* 高麗大学校師範大学	教育学部·教育学研究科	2011/12/10
		韓国原子力医学院・放射線医学研究所	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	2017/12/18
		* 金烏工科大学校	工学部·工学研究科	2015/04/27
		明知大学校社会教育大学院 * 釜慶大学校	教育学部·教育学研究科 工学部·工学研究科	2000/03/17 1995/02/13
		**	金属材料研究所	1996/10/28
		* ソウル大学校師範大学	教育学部·教育学研究科	2014/03/28
		ソウル大学校機械・航空宇宙工学部	流体科学研究所	2013/06/20
		順天大学校農業生命科学大学	生命科学研究科	2002/08/07
		成均館大学校情報通信用新機能性素材及び工程研究センター	多元物質科学研究所	2003/06/09 2010/04/23
		* 又松大学校保健福祉大学 * 延世大学校歯科大学	教育学部·教育学研究科 歯学部·歯学研究科	2016/09/08
		* 延世大学校工科大学	工学部・工学研究科	1999/08/24
	スリランカ(1)	* スリジャヤワルダナブラ大学公共管理学部	経済学部·経済学研究科	2017/02/16
	台湾 (39)	中央研究院中国文哲研究所	文学部・文学研究科	2004/09/24
		中央研究院地球科学研究所	理学部·理学研究科	2008/12/04
		中央研究院歷史語言研究所 中央研究院物理研究所	文学部・文学研究科 サイクロトロン・ラジオアイソトーブセンター	2003/08/05 2008/02/27
		中央研究院社会学研究所	文学部・文学研究科	2013/04/15
		* 長庚大学工学部	流体科学研究所	2011/07/20
		長庚大学健康加齢研究所	加齢医学研究所	2018/12/18
		* 天主教輔仁大学外語学院	文学部·文学研究科	2008/12/24
		工業技術研究院情報通信研究所	電気通信研究機構	2013/11/22
		工業技術研究院南分院 工業技術研究院南分院	工学部·工学研究科 多元物質科学研究所	2010/01/25 2009/11/27
		* 開南大学資訊学院	情報科学研究科	2009/05/05
		* 高雄医学大学口腔医学院	歯学部·歯学研究科	2018/03/29
		* 国立高雄大学人文社会科学院	文学部·文学研究科	2012/04/01
		財団法人金属工業研究発展センター	金属材料研究所	2015/12/18
		国立応用研究所ナノデバイス研究所	流体科学研究所	2004/07/21
		* 国立影化師範大学管理学院 * 国立政治大学教育学院	経済学部·経済学研究科 教育学部·教育学研究科	2018/03/05 2012/09/03
		* 国立政治大学社会科学院	経済学部·経済学研究科	2010/06/10
		* 国立暨南国際大学	情報科学研究科	2015/02/26
		* 国立東華大学管理学院	経済学部·経済学研究科	2015/07/13
		* 国立中山大学文学院中国文学系	文学部·文学研究科	1999/04/03
		* 国立台北大学法律学院	法学部·法学研究科	2017/07/03
		* 国立台北大学商学院 * 国立台北科技大学工程学院	経済学部・経済学研究科 理学部・理学研究科	2010/07/26 2015/05/02
		* 国立台北科技大学工程学院 国立台北科技大学工程学院	理学部·理学研究科 多元物質科学研究所	2018/05/02
		国立口北科权人子工住子院 * 国立台東大学師範学院	教育学部·教育学研究科	2008/12/05
		* 国立台湾師範大学教育学院	教育学部·教育学研究科	2011/03/04
		国立台湾大学人工知能・先端ロボットセンター	電気通信研究所	2018/07/31
		国立台湾大学気象災害研究センター	災害科学国際研究所	2015/03/17
		* 国立台湾大学社会科学院	経済学部·経済学研究科	2015/03/23
		* 国立台湾大学歯学部	歯学部·歯学研究科	2016/10/07
		* 国立陽明大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2016/10/07

注)\*印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。

## 部局間協定

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日
アジア		* 台北医学大学医学科	医学部·医学系研究科	2013/05/27
		* 台北医学大学口腔医学院 * 台北医学大学薬学科	歯学部・歯学研究科 ************************************	2017/04/15
		* 台北医学大学薬学科 台北医学大学公衆衛生栄養学院	薬学部·薬学研究科 農学部·農学研究科	2013/11/15 2006/04/28
		* 淡江大学	工学部・工学研究科	2015/12/10
	タイ (20)	* チェンマイ大学歯学部	歯学部·歯学研究科	2019/01/11
		チェンマイ大学理学部	多元物質科学研究所	2008/06/09
		チェンマイ大学理学部プラズマビーム物理研究施設	電子光理学研究センター	2016/12/06
		* チュラロンコーン大学医療学部	医学部·医学系研究科	2018/01/23
		* チュラロンコーン大学歯学部	歯学部·歯学研究科	2014/12/09
		* カセサート大学工学部	工学部・工学研究科	2013/11/11
		カセサート大学工学部 * カセサート大学水産学部	環境科学研究科 農学部·農学研究科	2017/02/24 2002/02/24
		コンケン大学歯学部	歯学部·歯学研究科	2015/02/19
		* コンケン大学管理科学学部	経済学部·経済学研究科	2010/08/02
		* コンケン大学公衆衛生学部	工学部·工学研究科	2019/01/09
		* マヒドン大学医学部 Ramathibodi 病院	医学部·医学系研究科	2013/11/01
		タイ国立開発行政大学院大学言語及びコミュニケーション研究科	国際文化研究科	2019/03/04
		* プリンス・オブ・ソンクラー大学歯学部	歯学部·歯学研究科	2015/01/05
		* ブリンス・オブ・ソンクラー大学工学部	工学部・工学研究科	2001/01/16
		* サイアム大学教養学部	文学部・文学研究科	2016/02/24
		* 泰日工業大学 * タマサート大学医学部	経済学部·経済学研究科 医学部·医学系研究科	2007/10/23 2018/04/03
		* タマサート大学シリントーン国際工学部	情報科学研究科	2008/01/21
		* タマサート大学シリントーン国際工学部	工学部・工学研究科	2015/12/22
	ベトナム (7)	* 貿易大学国際経済学部	経済学部·経済学研究科	2010/01/14
		* ハノイエ科大学	工学部·工学研究科	2009/03/27
		* チュイロイ大学	工学部·工学研究科	2007/01/30
		* ベトナム科学技術アカデミーアカデミー大学院大学	工学部·工学研究科	2017/05/12
		* ベトナム科学技術アカデミー材料科学研究所	工学部・工学研究科	2008/02/14
		* ベトナム原子力研究所	工学部·工学研究科 工学部·工学研究科	2017/11/16
東	イラン (1)	* ベトナム国家大学ホーチミン市・理科大学  * シラズ大学工学部	工学部·工学研究科 工学部·工学研究科	2009/07/20 2002/03/01
·/K	クウェート(1)	クウェート科学研究所	多元物質科学研究所	2013/02/18
	アラブ首長国連邦(1)	アラブ首長国連邦大学薬学・健康科学学部	加齢医学研究所	2016/07/10
'フリカ	エジプト(2)	アレクサンドリア大学スムーハ救命救急病院	流体科学研究所	2017/11/30
	, ,	* エジプト日本科学技術大学	工学部·工学研究科	2013/05/12
	ケニア (1)	* KCA 大学経営·公共管理学院	経済学部·経済学研究科	2015/05/05
	ナイジェリア (1)	* ナイジェリア大学 (ヌスカ) 物理学部	理学部·理学研究科	2016/02/26
	南アフリカ (2)	* ローズ大学理学部	理学部·理学研究科	2013/09/16
	+ 71 = 117 (4)	* ウィットウォータースランド大学	理学部·理学研究科	2017/04/19
セアニア	オーストラリア(4)	グリフィス大学医学部	医学部·医学系研究科	2015/07/02 2015/06/17
		* マッコーリー大学 マッコーリー大学・オーストラリアン・スクール・オブ・アドバンスト・メディシン	工学部·工学研究科 加齢医学研究所	2014/04/15
		シドニー大学	加齢医学研究所	2017/02/14
	ニュージーランド (2)	ニュージーランド地質・核科学研究所	理学部・理学研究科	2008/03/19
		ニュージーランド地質・核科学研究所	災害科学国際研究所	2014/09/01
比米	カナダ (9)	コンコーディア大学エドモントン	医学部·医学系研究科	2016/02/08
		マギル大学金属プロセス研究センター	多元物質科学研究所	1998/11/30
		マギル大学モントリオール神経研究所	加齢医学研究所	2010/06/08
		* モントリオール理工科大学	工学部·工学研究科	2017/10/12
		ブリティッシュコロンビア大学歯学部	歯学部·歯学研究科	2001/04/23
		トロント大学金属・材料科学科 * トロント大学応用理工学部	多元物質科学研究所 工学部·工学研究科	1998/12/01 2016/09/07
		* トロント大学応用理工学部 トロント大学航空宇宙研究所	流体科学研究所	1994/06/20
		* ビクトリア大学工学部	情報科学研究科	2009/12/21
	アメリカ (29)	カーネギー研究機構地球物理学研究所	理学部・理学研究科	2008/12/01
	,	コロンビア大学化学科	多元物質科学研究所	1995/11/22
		コロンビア大学理工学部地球・環境工学科	多元物質科学研究所	1998/10/15
		ハーバード大学ライシャワー日本研究所	災害科学国際研究所	2014/06/13
		マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所	工学部·工学研究科	2015/01/09
		マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所	金属材料研究所	2015/01/09
		マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所 マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所	電気通信研究所 多一物質科学研究所	2015/01/09 2015/01/09
		マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所 ノースイースタン大学工学部	多元物質科学研究所 流体科学研究所	2015/01/09
		ポートランド州立大学	経済学部·経済学研究科	2013/09/19
		ラトガース大学ワイヤレスネットワーク研究所(WINLAB)	電気通信研究所	2009/12/09
		* ニューヨーク州立大学オールバニー校	経済学部·経済学研究科	2012/08/06
		シラキュース大学工学部	流体科学研究所	2001/06/15
		テキサス A&M 大学科学部農学・生命科学部	農学部·農学研究科	2018/02/06
		* ニューヨーク市立大学シティカレッジ工学部	工学部・工学研究科	2010/12/13
		フォーサイス研究所	歯学部・歯学研究科 立学部・立学研究科	2005/12/09
		* オハイオ州立大学文理学部 (学部) * オハイオ州立大学文理学部 (大学院)	文学部・文学研究科	2016/08/01 2017/08/01
			文学部·文学研究科 材料科学高等研究所	2017/08/01
		カリフォルーア大学ロサンセルス松純粋は田教学研究所		2017/03/22
		カリフォルニア大学ロサンゼルス校純粋応用数学研究所 カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング	工学部・丁学研究科	
		カリフォルニア大学ロサンセル人校純粋心用数学研究所 カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * ハワイ大学マノア校社会科学部	工学部·工学研究科 経済学部·経済学研究科	2017/03/27
		カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング		
		カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * ハワイ大学マンア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所	経済学部·経済学研究科 工学部·工学研究科 加齢医学研究所	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29
		カリフォルニア大学リバーサイド校ポーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * ハワイ大学マンア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学シカゴ校	経済学部·経済学研究科 工学部·工学研究科 加齢医学研究所 理学部·理学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01
		カリフォルニア大学リバーサイド校ポーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * ハワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学シカゴ校 * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科	経済学部·経済学研究科 工学部·工学研究科 加齢医学研究所 理学部·理学研究科 医工学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29
		カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * バワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンサンゴ校 * イリノイ大学アーパケ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部	経済学部・経済学研究科 工学部・工学研究科 加齢医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17
		カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * バワイ大学マンア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学シカゴ校 * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科	経済学部・経済学研究科 工学部・工学研究科 加齢医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15
		カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * バワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンカゴ校 * イリノイ大学シカゴ校 * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科 * ワイオミング大学 * ワイオミング大学	経済学部・経済学研究科 工学部・工学研究科 加齢医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01
□南米	7   村5/年5//11	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * バワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンカゴ校 * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科 * ワイオミング大学 * ワイオミング大学 * ワイオミング大学工学部	経済学部 経済学研究科 工学部・工学研究科 加齢医学研究所 理学部 理学研究科 医工学研究科 医工学研究科 海体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22
南米	アルゼンチン (1) ブラジル (1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング  * バワイ大学スノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンサゴ校  * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科  * ワイオミング大学  プルオング大学工学部 アルゼンチン国立乳酸歯研究所(CERELA-CONICET)	経済学部・経済学研究科 工学部、工学研究科 加能医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 農学部・農学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17
南米	ブラジル(1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * バワイ大学工学が、バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンサゴ校 * イリノイ大学ンカゴ校 * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学企属工学科 * ワイオミング大学 * ワイオミング大学 アルゼンチン国立乳酸菌研究所(CERELA-CONICET) リオ・グランジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程	経済学部・経済学研究科 工学部・工学研究科 加能医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 農学部・選学研究科 法学部・法学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22
中南米		カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング  * バワイ大学スノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンサゴ校  * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科  * ワイオミング大学  プルオング大学工学部 アルゼンチン国立乳酸歯研究所(CERELA-CONICET)	経済学部・経済学研究科 工学部、工学研究科 加能医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 農学部・農学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17 2002/09/02
中南米	ブラジル(1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * バワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンカゴ校 * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科 * ワイオミング大学 * ワイオミング大学工学部 アルゼンチン国立乳酸菌研究所 (CERELA-CONICET) リオ・グランジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程 * アタカマ大学	経済学部 経済学研究科 工学部・工学研究科 加能医学研究所 理学部 理学研究科 医工学研究科 医工学研究科 海体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 理学部・工学研究科 農学部・農学研究科 法学部・法学研究科 工学部・工学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17 2002/09/02 2006/03/22
ӣӁ	ブラジル (1) チリ (2) キューバ (1) メキシコ (1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * バワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンカゴ校 * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科 ワイオミング大学 * ワイオミング大学 アルゼンチン国立乳酸菌研究所(CERELA-CONICET) リオ・グランジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程 * アタカマ大学 コンセブシオン大学 キューバーニューロサイエンス・センター * メキシコ国立工科大学	経済学部 経済学研究科 工学部・工学研究科 加能医学研究所 理学部 理学研究科 医工学研究科 医工学研究科 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・法学研究科 工学部・法学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17 2002/09/02 2006/03/22 2009/04/07 2008/03/11
	ブラジル (1) チリ (2) キューバ (1) メキシコ (1) ベルー (1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング  * バワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンカゴ校  * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンケッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科 * ワイオミング大学 アイオミング大学 アリイミング大学工学部 アルゼンチン国立乳酸簡研究所(CERELA-CONICET) リオ・グランジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程 * アタカマ大学 * コンセプシオン大学 キューバ・ニューロサイエンス・センター * メキショ面立工科大学	経済学部・経済学研究科 工学部、工学研究科 加能医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部、工学研究科 工学部、工学研究科 農学部・農学研究科 工学部・法学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17 2002/09/02 2006/03/22 2009/04/07 2008/03/11 2000/03/30 2018/03/20
中南米	ブラジル (1) チリ (2) キューバ (1) メキシコ (1) ベルー (1) オーストリア (1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * ハワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンプで、イングログログログログログログログログログログログログログログログログログログロ	経済学部・経済学研究科 工学部・工学研究科 加齢医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 知能医学研究所 工学部・工学研究科 级書科学国際所	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17 2002/09/02 2006/03/22 2009/04/07 2008/03/30 2018/03/20 2018/10/17
	ブラジル (1) チリ (2) キューバ (1) メキシコ (1) ベルー (1) オーストリア (1) ベラルーシ (1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * バワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ントプ・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ントプ・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ントプ・ディン・ヤング・校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科 ・ ワイオミング大学 * ワイオミング大学工学部 アルゼンチン国立乳酸菌研究所 (CERELA-CONICET) リオ・グランジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程 * アタカマ大学 * コンセブシオン大学 キューバ・ニューロザイエンス・センター * メキシコ国立工科大学 ベルー国立工科大学 ベルー国立工科大学 ベルー国立工科大学 インスブルック・マネジメントセンター * インスブルック・マネジメントセンター * インスブルック・マネジメントセンター ベラルーン国立科学アカデミールイコア熱物質輸送研究所	経済学部 経済学研究科 工学部・工学研究科 加能医学研究所 理学部 理学研究科 医工学研究科 医工学研究科 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・法学研究科 工学部・法学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 发播科学知晓所	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17 2002/09/02 2009/04/07 2008/03/12 2008/03/11 2000/03/30 2018/03/20 2018/03/20 2016/12/05 2016/12/05
	ブラジル (1) チリ (2) キューバ (1) メキシコ (1) ベルー (1) オーストリア (1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング  * バワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンカゴ校  * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンケッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科 * ワイオミング大学工学部 アルゼンチン国立乳酸菌研究所 (CERELA-CONICET) リオ・グラジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程 * アタカマ大学 * コンセプシオン大学 キューバ・ニューロサイエンス・センター * メキショ面立工科大学 ・ ベルー国立工科大学日本・ベルー地震防災センター ・ インスブルック・マネジメントセンター  * ベンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスプルック・マネジメントセンター  * ベーンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスプルック・マネジメントセンター  * ベーンスプルック・マネジメントセンター  * ベーンスプルック・マネジメントセンター	経済学部・経済学研究科 工学部、工学研究科 加能医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 基学部・法学研究科 工学部・大学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17 2002/09/02 2008/03/11 2008/03/21 2018/03/31 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20
	ブラジル (1) チリ (2) キューバ (1) メキシコ (1) ベルー (1) オーストリア (1) ベラルーシ (1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング * ハワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンカゴ校 イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科 ワイオミング大学 * ワイオミング大学 アルゼンチン国立工和厳研究所(CERELA-CONICET) リオ・グランジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程 * アタカマ大学 * コンセフシオン大学 キューバ・ニューロサイエンス・センター * メキシコ国立工科大学日本・ベルー地震防災センター * インスフルック・マネジメントセンター ベラルーショ立工科学学部 * ハート学文哲学部 * ハート学文哲学部 * ハート学文哲学部	経済学部・経済学研究科 工学部・工学研究科 加能医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 法学部・法学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 加能医学研究所 工学部・江学研究科 处害科学研究所 经済学部・経済学研究科 文学部・北学研究所 文学部・北学研究科 工学部・工学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17 2002/09/02 2006/03/22 2009/04/07 2008/03/11 2000/03/30 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20
	ブラジル (1) チリ (2) キューバ (1) メキシコ (1) ベルー (1) オーストリア (1) ベラルーシ (1)	カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング  * バワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクスティクス研究所 イリノイ大学ンカゴ校  * イリノイ大学アーバナ・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンケッキー大学工学部 ユタ大学金属工学科 * ワイオミング大学工学部 アルゼンチン国立乳酸菌研究所 (CERELA-CONICET) リオ・グラジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程 * アタカマ大学 * コンセプシオン大学 キューバ・ニューロサイエンス・センター * メキショ面立工科大学 ・ ベルー国立工科大学日本・ベルー地震防災センター ・ インスブルック・マネジメントセンター  * ベンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスプルック・マネジメントセンター  * ベーンスブルック・マネジメントセンター  * ベーンスプルック・マネジメントセンター  * ベーンスプルック・マネジメントセンター  * ベーンスプルック・マネジメントセンター	経済学部・経済学研究科 工学部、工学研究科 加能医学研究所 理学部・理学研究科 医工学研究科 流体科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 基学部・法学研究科 工学部・大学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科	2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17 1998/11/15 2016/12/01 2005/06/22 2016/10/17 2002/09/02 2008/03/11 2008/03/21 2018/03/31 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20 2018/03/20

### 令和元年5月1日現在

ロリア	国・地域	機関	部局	統結年日日
ーロッパ	画 地域	<b>(域   実)</b>	部局 工学部·工学研究科	<b>締結年月日</b> 2016/10/12
		* ブリュッセル自由大学ラ・カンブル=オルタ建築学部	工学部·工学研究科	2010/09/02
	クロアチア(1)	* ブーラ大学	文学部·文学研究科	2016/04/01
	チェコ (6)	チェコ科学アカデミー・物理研究所	金属材料研究所	2017/03/24
		チェコ科学アカデミー・プラズマ物理研究所	流体科学研究所	2000/01/25
		* マサリク大学医学部	医学部·医学系研究科	2008/05/28
		マサリク大学医学部	加齢医学研究所	2008/05/28
		マサリク大学理学部 * VSB - オストラバ工科大学	生命科学研究科 工学部·工学研究科	1997/11/10
	デンマーク (4)	* オールボー大学通信基盤研究センター	工学部·工学研究科	2010/11/26
		* デンマーク工科大学	工学部·工学研究科	2000/04/13
		コペンハーゲン大学ヘルシーエイジング研究センター	加齢医学研究所	2012/09/26
		* コペンハーゲン大学経済学部	経済学部·経済学研究科	2014/06/12
	エストニア(1)	* タリン工科大学経済経営学院	経済学部·経済学研究科	2015/05/27
	フィンランド (6)	* アアルト大学美術・デザイン・建築学部	工学部·工学研究科	2018/03/05
		* トゥルク応用科学大学ビジネス・ICT・化学工学部  * トゥルク応用科学大学電気通信・8 ビジネス学部	医工学研究科 工学部·工学研究科	2017/12/06 2010/02/22
		* 東フィンランド大学健康科学部薬学校	薬学部・薬学研究科	2016/07/13
		オウル大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2007/04/13
		* トゥルク大学社会科学部	文学部·文学研究科	2011/11/01
	フランス (22)	アルビ鉱山大学	多元物質科学研究所	1999/10/04
		* オバール海岸大学 オバール海岸工学校	工学部·工学研究科	2017/02/14
		* 国立高等レンヌ化学学校 * 国立高等原子内田士学院	理学部·理学研究科 工学部·工学研究科	2016/01/04 2016/09/19
		* 国立高等電子応用大学院 * 国立高等産業・企業情報科学大学	工学部·工学研究科	2018/05/19
		* 国立応用科学院トゥールーズ校	工学部・工学研究科	2006/06/13
		* トゥールーズ国立理工科大学	工学部·工学研究科	2015/12/09
		* 航空宇宙高等学院	工学部·工学研究科	2013/12/18
		* 国立モンペリエ高等建築大学	工学部·工学研究科	2007/07/12
		国立科学研究所マルセイユ・ナノサイエンス学際センター	電気通信研究所	2005/10/24
		オレンジ	電気通信研究機構	2013/01/09
		放射光施設ソレイユ 国立バリ高等情報通信大学	多元物質科学研究所 電気通信研究所	2013/06/27 2017/10/25
		国立ハリ高寺情報通信人子 * リヨン第一大学	電式通信研究所 理学部·理学研究科	2017/10/25
		* リヨン第一人子 * リヨン第一大学	工学部・工学研究科	2016/04/25
		* モンペリエ大学	工学部・工学研究科	2017/09/26
		リヨン第一大学発光材料物理化学研究所	金属材料研究所	1999/11/25
		ナント大学材料研究所	多元物質科学研究所	2014/12/08
		* ルーアン・ノルマンディー大学理工学部	薬学部·薬学研究科	2016/09/19
		*トロイエ科大学	工学部·工学研究科	2008/06/13
		* パリ第 1 大学 (パンテオン・ソルボンヌ)	法学部·法学研究科 工学部·工学研究科	2018/05/03 2011/05/26
	ドイツ (30)	* ベルサイユ大学 ドイツ航空宇宙センター・リモートセンシングデータセンター	災害科学国際研究所	2011/05/26
	1 1 7 (00)	* アーヘン応用科学大学航空工学科	工学部・工学研究科	2016/10/17
		* アーヘン応用科学大学ナノ・バイオテクノロジー研究所	医工学研究科	2019/04/14
		フラウンホーファーアルゴリズム・科学計算研究所 (SCAI)、材料メカニズム研究所 (IWM)	材料科学高等研究所	2013/08/06
		フラウンホーファー研究機構エレクトロ・ナノシステム研究所	材料科学高等研究所	2011/11/08
		* フラウンホーファー研究機構非破壊検査研究所	流体科学研究所	2012/09/26
		ベルリン自由大学物理学科	多元物質科学研究所	1997/11/03
		イエナ・フリードリッヒ・シラー大学固体物理研究所 ヘルムホルツセンター・ベルリン研究所	多元物質科学研究所 金属材料研究所	1999/07/27 2018/07/02
		アイエイチピー (IHP-Innovations for High Performance Microelectronics)	電気通信研究所	2001/01/22
		結晶成長研究所	多元物質科学研究所	2006/10/17
		* ヨハネスグーテンベルク大学マインツ物理学・数学・計算機科学部	理学部·理学研究科	2012/05/03
		* カールスルーエ工科大学	情報科学研究科	2009/10/26
		マックスプランク固体化学物理研究所及びマックスプランク微細構造物理学研究所	金属材料研究所	2017/03/10
		マックスブランク核物理研究所 * ロイトリンゲン大学	多元物質科学研究所	2009/12/24 2017/01/10
		* ロイトリングン大学 * ハンブルグ・ハールブルグ工科大学	経済学部·経済学研究科 工学部·工学研究科	1997/05/15
		* ブランシュバイク工科大学	工学部・工学研究科	2018/01/08
		* バイロイト大学	理学部·理学研究科	2016/02/05
		* ボン大学人文学部	経済学部·経済学研究科	2013/06/26
		* エルランゲン大学工学部	工学部·工学研究科	2004/10/05
		* フライブルグ大学マイクロシステム技術研究所	工学部·工学研究科	1999/06/08
		ゲッティンゲン大学法学部	法学部·法学研究科	2000/11/27
		* グライスバルト大学数学自然科学学部薬学研究所 ハイデルベルク大学法学部	薬学部·薬学研究科 法学部·法学研究科	2017/03/16 2003/09/16
		* ヒルデスハイム大学文化感性コミュニケーション学部	文学部·文学研究科	2018/03/13
		* パダボーン大学経済学部	経済学部・経済学研究科	2011/01/20
		* レーゲンスブルク大学物理学部	工学部·工学研究科	2009/09/22
		* シュトゥットガルト大学エネルギー技術・プロセス工学・生物工学部	工学部·工学研究科	2011/04/26
	#115 (3)	* ヴッパータル大学数学自然科学部	理学部·理学研究科	2012/01/23
	ギリシャ (1) ハンガリー (4)	アテネエ科大学機械工学部 * センメルワイス大学医学部	流体科学研究所	2004/02/10 2014/09/04
	ハンガリー (4)	* センメルワイス大字医字部 セントイストヴァン大学農学部及び食品学部	流体科学研究所 農学部·農学研究科	1990/07/02
		ハンガリー科学アカデミー・物理材料技術研究所	展子司·展子研九科 流体科学研究所	1999/04/26
		ミシュコルツ大学材料科学工学研究科	多元物質科学研究所	2014/06/19
	アイスランド(1)	* レイキャビク大学計算機科学学部	情報科学研究科	2010/06/26
	イタリア (19)	ボローニャ大学教育学部	文学部·文学研究科	2015/04/20
		トリエステ放射光研究所	多元物質科学研究所 理学部 : 理学研究科	2007/08/29
		* ビサ高等師範学校エニオ・デジョルジ数学研究センター  * ヴェネツィア大学「カ・フォスカリ」アジア・アフリカ地中海学部	理学部·理学研究科 文学部·文学研究科	2013/06/25 2014/06/05
		* フェラーラ大学	理学部·理学研究科	2012/06/27
		* ラキュラ大学生活衛生環境科学部	農学部·農学研究科	2004/02/09
		ミラノ大学法学部	法学部·法学研究科	2003/06/12
		* ミラノ大学薬学部	薬学部·薬学研究科	2003/07/16
		* ナポリ東洋大学	文学部·文学研究科	2014/07/18
		* パドヴァ大学文・哲学部	文学部·文学研究科	2015/08/01
		* ローマ大学「ラ・サビエンツァ」建築学部	工学部·工学研究科	2012/04/05
		* ローマ大学「ラ・サビエンツァ」情報工学、情報科学および統計学部 * ローマ大学「ラ・サビエンツァ」情報工学、情報科学および統計学部	工学部·工学研究科 特部科学研究科	2010/07/26
		* ローマ大学「ラ・サビエンツァ」情報工学、情報科学および統計学部 * ローマ大学「ラ・サビエンツァ」文学・哲学学部	情報科学研究科 文学部·文学研究科	2010/07/28 2010/03/15
		* ローマ大学「ラ・サビエンツァ」	文字部·文字研究科 理学部·理学研究科	2010/03/15
			文学部·文学研究科	2008/02/28
		* ローマ大学 フ・リヒエノツァ   泉洋学部		
		* ローマ大学「ラ・サビエンツァ」東洋学部  * トレント大学産業工学部および情報工学・コンピューターサイエンス学部	工学部·工学研究科	2017/10/06
				2017/10/06 2002/06/28 2011/07/21

注)\*印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。

## 学術交流協定締結等

## 部局間協定

エリア	国・地域	機関	部局	締結年月日
3ーロッパ	カザフスタン(1) キルギス(1)	※	流体科学研究所 国際文化研究科	2016/04/15
	ルクセンブルク(1)	* ルクセンブルク大学科学技術通信学部	工学部·工学研究科	2017/11/29
	オランダ(11)	* アイントホーヘン工科大学	情報科学研究科	2016/03/30
	3222 (1.1)	エラスムス大学エラスムスメディカルセンター疫学部門	東北メディカル・メガバンク機構	2014/08/11
		* エラスムス大学メディカルセンター	医工学研究科	2010/03/23
		* ライデン大学人文学部	文学部·文学研究科	2011/02/15
		* マーストリヒト大学健康医学生命科学部	医学部·医学系研究科	2014/05/30
		* ユトレヒト大学カレッジ	文学部·文学研究科	2018/09/26
		* アムステルダム大学理学部	理学部·理学研究科	2013/07/11
		* グローニンゲン大学経済学研究科	経済学部·経済学研究科	2012/09/20
		* ユトレヒト大学 Future Food Utrecht	農学部·農学研究科	2017/01/19
		* ワーゲニンゲン大学動物科学研究科	農学部·農学研究科	2016/01/28
		* ワーゲニンゲン大学実験植物科学研究科	農学部·農学研究科	2016/10/26
	ノルウェー (4)	* ノルウェー科学技術大学医学健康科学部	生命科学研究科	2017/04/28
	7,772 (1)	* ノルウェー科学技術大学医学健康科学部	医学部·医学系研究科	2017/04/27
		ノルウェー科学技術大学自然科学部及び工学部	工学部·工学研究科	2017/10/16
		ベルゲン大学医学部	加齢医学研究所	2017/05/10
	ポーランド (8)	* AGH 科学技術大学	工学部·工学研究科	2017/06/07
	,i. 331 (3)	ポーランド真空工学研究所	金属材料研究所	2000/06/09
		* ヤゲェウォ大学国際政治学部	文学部·文学研究科	2015/09/30
		マリア・キュリー・スクロドゥスカ大学法学部	法学部·法学研究科	2003/09/19
		ポーランド科学アカデミー・物理研究所	金属材料研究所	2000/12/08
		ポーランド科学アカデミー・物理研究所	電気通信研究所	1976/08/03
		* ヴロツワフ工科大学	工学部·工学研究科	2013/02/27
		* ヴロツワフ工科大学	流体科学研究所	2014/06/10
	ポルトガル (1)	* リスポン大学テクニコ校	工学部·工学研究科	2017/05/12
	ルーマニア (1)	レーザー・ブラズマ・放射物理国立研究所	多元物質科学研究所	2006/08/04
	ロシア (20)	* バウマン・モスクワ国立工科大学フォトニクス・赤外工学研究教育センター無線電子工学・レーザー工学研究所	電気通信研究所	2014/06/26
	227 (20)	ロシア科学アカデミー・総合物理学研究所	金属材料研究所	1993/01/27
		ロシア科学アカデミー・固体物理学研究所	多元物質科学研究所	1993/10/01
		ロシア科学アカデミー・レベデフ物理研究所	多元物質科学研究所	2000/07/21
		ロシア科学アカデミー・レベデフ物理研究所	流体科学研究所	2017/10/15
		ロシア科学アカデミー・地球化学・分析化学研究所/モスクワ国立大学化学部	多元物質科学研究所	2013/09/02
		ロシア科学アカデミー・極東支部経済研究所	東北アジア研究センター	2005/09/01
		ロシア科学アカデミー・極東支部自動制御プロセス研究所	多元物質科学研究所	2005/12/01
		ロシア科学アカデミー・シベリア支部人文学・北方民族問題研究所	東北アジア研究センター	2009/09/30
		ロシア科学アカデミー・シベリア支部 V.N. スカチョフ森林研究所	東北アジア研究センター	2002/10/01
		ロシア科学アカデミー・シベリア支部ソボレフ地質学鉱物学研究所	理学部・理学研究科	2008/11/07
		* イマニュエル・カントバルト連邦大学物理工学研究所	学際科学フロンティア研究所	2015/01/30
		モスクワ国立大学物理学部	流体科学研究所	2018/06/08
		モスクワ国立大学物理学部	電気通信研究所	2018/06/08
		モスクワ国立大学物理学部	多元物質科学研究所	2018/06/08
		* モスクワ国立大学心理学部	文学部·文学研究科	2013/10/09
		* ニジェゴロド国立農業アカデミー	農学部·農学研究科	2015/04/21
		スモレンスクステートメディカルアカデミー	加齢医学研究所	2003/07/18
		* サンクトペテルブルク電気工科大学	電気通信研究所	2016/11/22
		トムスク工科大学原子核物理研究所	多元物質科学研究所	1997/12/01
	スロバキア(1)	* ジリナ大学電気工学部	工学部·工学研究科	2017/06/13
	スロベニア (2)	ジョセフ・ステファン研究所	金属材料研究所	2000/10/05
	//L /-/ (L)	* リュブリャナ大学工学系4学部	工学部·工学研究科	1998/06/03
	スペイン (8)	* バルセロナ生物医学研究所	薬学部·薬学研究科	2016/08/01
	7( -12 (0)	マドリード・アウトノマ大学化学部	多元物質科学研究所	2013/06/26
		アリカンテ大学材料研究所	多元物質科学研究所	2014/02/21
		* カタルーニャエ科大学バルセロナ産業工学部	工学部·工学研究科	2016/04/11
		* カタルーニャ工科大学テラッサ産業、航空宇宙、オーディオビジュアル学部	工学部·工学研究科	2017/07/18
		カスティーリャ・ラ・マンチャ大学	加齢医学研究所	2017/07/10
		ビゴ大学	電気通信研究所	2011/02/25
		ビゴ大学理学部	農学部·農学研究科	1996/11/26
	スウェーデン(6)	* 王立工科大学	工学部·工学研究科	1990/05/22
	7,71 7,7 (0)	リンショーピン大学分析社会学研究所	文学部·文学研究科	2015/05/07
		* リンショービン大学工学部	工学部·工学研究科	1998/04/02
		* ソーラールダーレン大学イノベーション・デザイン・工学部	工学部·工学研究科	2016/03/10
		* スウェーデン農科大学農業・景観計画・園芸学部及び獣医学部	農学部·農学研究科	2002/05/22
		* イエテボリ大学協学部	歯学部・歯学研究科	2018/05/25
	スイス (1)	スイス連邦工科大学ローザンヌ校	工学部·工学研究科	1994/07/29
	ウクライナ (1)	材料科学基礎国立研究所	多元物質科学研究所	2006/09/20
	イギリス (13)	キングスカレッジロンドンデンタルインスティテュート	歯学部·歯学研究科	2006/08/01
		科学技術設備会議ダースベリ研究所	多元物質科学研究所	1996/10/01
		* マンチェスター大学物理工学部機械・航空・土木工学科	工学部・工学研究科	2007/03/26
		ケンブリッジ大学化学部	材料科学高等研究所	2011/01/18
		タフラウッシス字12字印 * ケンブリッジ大学工学部	工学部·工学研究科	2016/11/11
		** クノブリッシス子エ子部 ケンブリッシ大学材料科学・金属学部	大字部·工字研究科 材料科学高等研究所	2010/01/26
		* イーストアングリア大学保健学部	医学部・医学系研究科	2018/09/24
		* イーストアングリア大学薬学部	薬学部・薬学研究科	2017/11/29
		* イーストアングリア大学・政治・哲学・言語・コミュニケーション学部	法学部·法学研究科	2018/06/29
		レスター大学社会科学部	経済学部·経済学研究科	2001/02/12
		ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション	教育学部・教育学研究科	1999/04/26
		レディング大学心理学・臨床言語科学学部	加齢医学研究所	2016/09/14
		ヨーク大学教育学部	教育学部·教育学研究科	2005/02/04
		タシケント国立経済大学	国際文化研究科	1998/03/04
	ウズベキスタン(1) 国際機関(1)	国連開発計画	災害科学国際研究所	2015/08/0

注)\*印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。

## ■ 研究者等交流状況

	国人研究	日寸	ᆽ	./\	.1/\	. <i>//</i> L	•	,																															
地域	国・地域	合計	文学部·文学研究科	教育学部·教育学研究科	法学部·法学研究科	経済学部·経済学研究科	理学部·理学研究科	医学部·医学系研究科	歯学部·歯学研究科	薬学部·薬学研究科	工学部・工学研究科	<b>農学邓·農学开名</b> 科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	加齢医学研究所	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	災害科学国際研究所	明イハーサイエンスセンター	高度教養教育·学生支援機構	材料科学高等研究所	学際科学フロンティア研究所	国際ジョイントラボセンター	国祭車兆惟隹幾崙	を 学 車 外 機 帯 で かく	国際集積エレクトロニクス研究開発センター	東北メディカル・メガバンク機構	電気通信研究機構	知の創出センター	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	東北アジア研究センター	ニュートリノ科学研究センター	スピントロニクス学術連携研究教育センター製理報号選携研究センター	スマート・エイジング学生 重点研究センター	国際戦略室	
アジア	インド	45		4	1 2			4	1			2		6		6	2 !	5		1		4	1			3				3			夕 1			ター	ş İ		L
	インドネシア	78		2	2 4	. 7		11	5		2	Ę		1	0	8	2	2		_	0		1				1			1	1		1				2		
	韓国 カンボジア	199		10	33		4 3	5		2	6	1 1		25	2	16	7 :	3	3	_	3	3	1		-	2	1		10	U	6					-	:3		t
	シンガポール	26		5		_	1	_			Ţ				=	2	6	1			1						1										1		
	スリランカ タイ	6 52			11	_	3 1	3	1		2		1 1	1	-	1	3	5		1			_		-				1	_	1				-	1	12		H
	台湾	166		16		_	1	9	3		2	3		2	8	34 2		4 3		2	2	1				1	1			2	3						1		T
	中国	526				10	) 1	70	2	7	17	1 8	7	35	3	62	15 1	1 7	5		8	19	6	1		5	1	2	14	4 4	9		1			2 6	8		
	ネパール パキスタン	2		1		-		-	2	-	1		-		-			-		-		-	_		-		-			_						-	_		۰
	バングラデシュ	12			1	_		1	2		1			1	1	1	á	2	1							1													I
	フィリピン	16			5			3							_		1 ,	2		_	1	3			_	4	-			1			1	,			1		ĺ
	ベトナム マレーシア	20			5	i		5			1				1	1	-		1	-	- 1	J			-	4	-		_	1			1	- 1			1		f
	モンゴル	18				13	3							1	1			1												1	1								Ī
	アラブ首長国連邦 イエメン	6						3		+	1				-		1	1		-					-		-					1		_			-		1
	イスラエル	3						1												1												1							İ
	イラク	1		_		_		1		_	1				_	_	0	,		_	_	-	_	1	_	_	-	_	_	_					_	_	_		L
	オマーン	7				Н					1				-		3	-		-		-			-				-										
	サウジアラビア	6																6	-																				Ī
	トルコ ヨルダン	6	_			Н		-		-	1		-	1	-		-	1	1	1	1	-	_		-		-		-	_				_		-	_		ł
	アルジェリア	1						1																															İ
	エジプト	9	_					4							_		1	1			1				_									1					
	カメルーンコンゴ共和国	1								1					1										-														ł
	コンゴ民主共和国	1	_					1																															
	ザンビア タンザニア	3	_			Н		3		-			-		-		-	-		-		-	_		-		-	-	-	-				1		-	_	-	
	ナイジェリア	1				Н		Н		-			Н		-		-	1		_		-	-		-		+	-	-	-					-	-	-		i
	ボツワナ	2									1				1																								
	リビア 南アフリカ	1 8					4	ı							-	4							_				-		-	_						1	_		٠
	オーストラリア	41				1	1 1	5	1		3	1	3		3		1	6		2			1	2	1		1		1			2		1					Ī
比米	ニュージーランド アメリカ合衆国	339		2	2 2	, F	5 3/1	45		8	20	3 2	2 16	6	5	1 8	20 4	4 22	2 26	6	2	3	1 11	19	4		-	1 .	4 !	5 7	,	24	2	1		-	-	2	H
	カナダ	37		_		3					3					1	2	2	_				1		_				7	1					1		_		Ť
	アルゼンチン	3																					3	3															I
	エクアドル エルサルバドル	11				-		2					Н		11			-		-		-	_		-		-		-	_				_	_	-	_		
	キューバ	3						2					Т										1																Ī
	コロンビア	3									1				_		,			_	1	_	1	,	_		_									_			
	ドミニカ共和国	1				Н									-		-			-		-	1		-		-									-			
	ブラジル	5					1				1							1		- 1		1																	I
	ベネズエラ	3				Н		-			1		Н		-			-	1	-	2		_		-		-		-	_				-	_	-	_		
	ホンジュラス	1																					1																
	メキシコ アイスランド	5 3		H		H	1	H		-	1				4				1	-	1		1	1	_		-							_					ĺ
	イギリス	110		1	1	6	8 8	3 4		7	4	1	5	1			4	4	24					5	1				-	4		9						1	ĺ
	イタリア	24	- 5		Ţ		7				2		1		I				3						I		Į		T				Ţ	1				1	1
	ウクライナ ウズベキスタン	1		Н		Н		Н		+					-					-				1	-		-					$\vdash$	f	1					ı
	エストニア	2																	1													1							Í
	オーストリアオランダ	22				Н	2					2	4	2	2	1	2		1	-	1		2	2	1		-					1		1				0	3
	カザフスタン	4																2		1														1					Í
	ギリシャ	2		Г		Е		_		2	1		-		_		_	1	1	0			1	1	_		4		f			4							1
	スイススウェーデン	29					1	2	4	_	-1		2		+		5	-	6 5				-		+				1			2		-					ł
	スペイン	36			1		5	_					3	_	1		3		10		1	_	1 1	2	Į		I		1			2							
	スロバキア	2					1				1		1		-							1	-	1	1				H	-									
	チェコ	8						1								1		1	1										4										
	デンマーク ドイツ	150		H			1 25	5 4	2	6	3		3 1		2	2	1		33	11	1	,	3 1	7	1		-		1	1		1		1					ĺ
	ノルウェー	100			f	_	. 20	. 4		J	J	2		1	J	-		4	00	3	-		J 1	,	- 1		1			-		0		-				f	ĺ
	ハンガリー	1											1												_		Ţ							Ţ					
	フィンランド フランス	128			1	2	2 11			1	5		3	2	-		7	1 49	2		1		1	2	1	3			1 8	2 2		6		1				1	
	ベルギー	12	1				1			1				2			1		2	2									Í			2							Í
	ポーランド ポルトガル	18				H	2	2		$\dashv$	3	1	1		1		7		2	1					-		-			-		3							1
	リトアニア	2					1				0							1							_														f
	ルーマニア	1															1					1														7			Í
	ルクセンブルク ロシア	78		,			-	)		_					1	1	7	27	7	1			1 ^	1	_				3			0		F		1		,	1
	<b>U</b> 27						2 5 187									1	7		7					1	_		2		3 2 1			8	6	5	1		1 5	5 6	

## 本学教職員海外渡航状況

地域	国·地域	合計	文学部·文学研究科	法学部·法学研究科	経済学部・経済学研究科	理学部·理学研究科	医学部·医学系研究科	歯学部·歯学研究科	薬学部・薬学研究科	正学耶·正学研究科	<b>慢学郎 • 慢学那 • 慢学那 • 慢学那 • 慢学那 • 慢学那 • 慢学研究科</b>	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	<b>企属才以开究所</b>	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	災害科学国際研究所	附属図書館	有完 教育情報基盤センター	サイバーサイエンスセンター	高度教養教育・学生支援機構	材料科学高等研究所	学際科学フロンティア研究所	国際ジョイントラボセンター	直穿車將推進裝著	未来科学技術共同研究センター	マイクロシステム融合研究開発センター	省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター	国際集積エレクトロニクス研究センター	電気通信研究機構	知の創出センター	リサーチ・アドミニストレーションセンター	環境・安全推進センター	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	東北アジア研究センター	学術資源研究公開センター	電子光理学研究センター	ニュートリノ科学研究センター	スピントコニクス学術車携研究教育センター	女里斗 学車携 开 兄 セノ タースマート・エイジング学際重点研究センター	キャンパスデザイン室	国際戦略室	本部事務機構
アジア	インド	58		1		2	2	1		7	2	1 3	2	4	1	7		4	10	1		3				2	1		2											1			1			
	インドネシア	169	7	10	1	2	24	6	2 1	17	6 6	3 10		21			2	2	3	37				9										L			1	1	3							
	韓国	336	4 2	3 4	10	15	23	7	3 E	66	6	13	6	20	3	35	1 8	3 11	18	7		9	2	10	7	8			15				2	2				1		_	2		1		2	2
	カンボジア	5								1		L																						L				3								1
	シンガポール	113	1	3	1	3	11	1	3 2	21	3	1		5	1	14	3	10	1	1		2	1 2	3		8			3		1	2			2			3		_		_	1		Ш	1
	スリランカ	16	1	3						3	â	_								3																				_						
	タイ	142	3	7		1	8	1	5 2	23	1 5	5 2		7			7	3	4	20	_	1	2	13	2	2			8		_		2	2 4			1	2		2		_			Ш	6
	台湾	299	13	2	2	25	13	11	1 5	51	3	1 16	7	6	4	11	18	3 11	31	2	_	8	1	6	9	4		4	5				6 2			2		4	2	3						13
	中国	760	35 18	3 11	8	60	31	33	5 14	41	6 6	83	5	20	3	88	1 26	8 8	38	8	_	7	2	25	19	13			36		_		7 8	3			1	12	4	5		_	1			37
	ネパール	8					2			3		2														_			1											_						
	パキスタン	1					1		_			L									_					_			L		_									_		4			Ш	
	バングラデシュ	9								3										6																										
	フィリピン	105	1				82	1			â	2		6						12		1				_														_						
	ブータン	3	1																					2																						
	ベトナム	76			6	8	4		1	17	1 3	3 1				1	2	2	2		_		1	10	1	_			3		_		1	1						_	1	_	1		Ш	13
	マレーシア	57	1			1	3		2	5	2 (	3		3		6		2	2	9				13				1	1																	
	ミャンマー	10				2				1		1							1	5						_								L						_						
	モルディブ	3																		3														L												
	モンゴル	25					1	3		2	-	7		1		3				4						_								L				4		_						
中東	アラブ首長国連邦	9					2	2				3								1						_			1					L												
	イスラエル	12		5			_			1		1								2		1			2	_			L		_			L						_		_				
	イラン	1										1														_					_									_		_				
	カタール	2					1					L														_			L		_		1	L						_		_				
	サウジアラビア	3										1		_			1									_					_		1	_						_		4				
	トルコ	1				1				L						4						L				_								L						4						
アフリカ	エジプト	8										1		_												_					_			L			3	-	4	_		4				
	エチオピア	5					_		_	2		L		_							4					_		_	L		4							3		_		4				
	ケニア	10				4	1			2		L		_			1									_					_			L						_		4			2	
	コートジボアール	1	1				4		4			L		_		4					4	_							L		4			L						4		4				
	ザンビア	5					5		4			L		_	_	_					4					_		_	_		_			L						_		4			Ш	
	セネガル	4					4		_	_						4					_	L				_			L		_			L						4		4			Ш	
	チュニジア	2					_		_			1		_		_					_					_		_	L		_			_						_		4			Ш	
	モザンビーク	1					_			_				1		4					_	_				_					_			L						4		_			Ш	
	モロッコ	1					_		_			L		_		_		1	-		_					_		_	L		_			Н						_		4				
	南アフリカ	9					3			_						4	1		3		_	_				_					_			L						_		_				
オセアニア	オーストラリア		2 1	1		_	9	4	_	15	3	8	_	3		9	2 10	) 3	19		2	22		_	4	3		2	4		_			L	1			2		4		_				7
	ニュージーランド					4	4			5			1	1		-				3		L	2	_	1				1		4			L				1		4		4				
	トンガ	4	1				_			ı						1						1		3		_					_			L						4		_[			$\square$	
	フィジー	4								2				2												_																				
北米	アメリカ合衆国						-		-	-	-	-	_	_		-	_	-			-	-	_		37	-		-	2 38	1	_	-	6 7	7 1	2	2	2	-	1	9		_			1	22
	カナダ	106	3 1	2 4	1	6		5	5	9	3 2	2 7	1	7	1	2	1 1	12	8	1		3	1	8	1	7		1			_	1						1	1	_	1					
中南米	アルゼンチン	1					_					L										L							1					L				Ш		_					Ш	
	エクアドル	1	1																												_									_						
	エルサルバドル	10										L		10								L												L												
	キューバ	7											1				5																	L			1			Ц						
	グアテマラ	1	1																																			Ш								
	コロンビア	5			L	1														3														L				1								

(平成30年度実績)

地域	国・地域	<b>√</b> □ <del>1</del>	文学部·文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部·法学研究科	経済学部・経済学研究科	理学部·理学研究科	医学部·医学系研究科	歯学部·歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部·工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	<b>青</b> 报斗学研究斗	<b>巨市科学开究科</b>	医工学研究科	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	災害科学国際研究所	病院 病院	教育情報基盤センター	サイバーサイエンスセンター	高度教養教育・学生支援機構	材料科学高等研究所	学際科学フロンティア研究所	国際ジョイントラボセンター国際連携推進機構	産学連携機構	未来科学技術共同研究センター	マイクロシステム融合研究開発センター	省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター	国際集積エレクトロニクス研究センター	東化×ディカル・× ガベンク 機構電気通信研究機構	知の創出センター	リサーチ・アドミニストレーションセンター	環境・安全推進センター	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	東北アジア研究センター	学術資源研究公開センター	電子光理学研究センター	ニュートリノ科学研究センター	マニントコニフス学   阿車兆   アステンター	スマート・エイジング学際重点研究センター	キャンパスデザイン室	国際戦略室
	チリ	8					1										2					2					1	2																			
	パナマ	1									1																																				
	ブラジル	15		2			1				1					2	3		1								4																		1		
	ベルー	11		Ц				4						3						1		3																									
	メキシコ	32				_				1	6			1	L	5	2		2		3	8						3			1		_														
ーロッパ	アイスランド	5		_		_	1	1			2			1																			_														
	アイルランド	36		Ц				2			8						1 1		15		2		2	2	1	1	1	2																			
	アルメニア	1		Ц		_															_												_									1					
	イギリス	292	2	11	12	4	12	25	18		18	6	5	15	4	6	1 11	10	4	22	3	5	18	3	1	27	14	5		1	4		_	5	1	1 2	2	I	2	4			1	1	L		3
	イタリア	205	22	3		3	33	6	4	2	18		4	10	2	5	1 15		3	9	9	13		1	1	10	9	6			1			2	2	2		L		5		2	2				
	ウクライナ	10				_							1		2		4				3																										
	ウズベキスタン	2		4		_					1						L																_							1					L		
	エストニア	1				1																																							L		
	オーストリア	95	2	_	1	3	9	9	2	1	5		3	1		9	8		1	6	_	2		5	1	5	3	9			1		1		2				2	1	1		2				
	オランダ	119	12	1	2		3	5	2	1	12	21		2		1 (	3 10		4	4	1		3	3	1	1	8	2			3				8					2	1						3
	カザフスタン	1		_		_								1							_												_														
	キプロス	4									1				3																																
	ギリシャ	20		1			1	3			3			4			2			1	1			1			1				1																
	クロアチア	18	2	1				1			1	3				1	1		2		2					1					1									2							
	スイス	107	2				8	5			17			2	3	5	7		3	8	2	5	4	1		10	6	6			2				3	2	2			3					L	3	3
	スウェーデン	45			1		4	5		4	11	1		4		1				2	3						3	1			4															1	
	スペイン	113	2	4		2	2	12	1		13	4	1	9	1	4	3	3	2	12	10		13	3	3	2	1	3			1		_		1	1			1	2		1	2		L		
	スロバキア	3					1										1																							1					L		
	スロベニア	5		4		_	1				1			1			1				_						1						_												L		
	セルビア	2														2																															
	チェコ	48		_	1	2	6	2	1		6		1	1	1	:	2 10	1		3	3					3	1	1			3		_														
	デンマーク	41				1	2		2	1	3		1			3	1			5	3	2	2	2		1	5				1		_							6						2	!
	ドイツ	365	9	13	4	4	31	11	10	4	43	1	5	18	7 2	21 4	1 24	3	7	18	20	8	12	2	15	13	16	12		2	2 5		_	3	5	4	4	1		1		3	3	-	2		
	ノルウェー	18		4		_	2	2			1			1	3		1	1			3				1	2							_					1							L		
	ハンガリー	18				_	1	1			1		2	2	1	3	1		1		1	2											_														1
	フィンランド	34		4		_			1	2	13	1				1					1			1						1	2		_		10					1					L		
	フランス	393	10	_	18	2	26	14		3	41	4	6	16	1	3	40		62	13	15	7	8	3	1	13 8	28	12	2	1	7		_	1	2			1	1	2	2	2	9	3	L		
	ブルガリア	2		4		_											1				_										1		_												L		
	ベラルーシ	1				_																									1														L		
	ベルギー	37	6	1	2	_	1	2		1	4	2		1	1		5			2	4							1					_		3					1							
	ポーランド	53	4			_	6				9		1	5			9		1	4	8						2	1			2		_			Ľ	1										
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2		_		_															_												_			1				1							
	ポルトガル	28			1	_	2	4		1	7			2	1		1 2	1	1			1		_				1			1		_			1											
	マルタ	1		_													L				1																	L									
	モンテネグロ	4			1						1						1														2																
	ラトピア	1		_													L								1	_																					
	リトアニア	3					1	1																				1																			
	ルーマニア	2									1										1																										
	ルクセンブルク	3					2				1																																				
	ロシア	97	3				4				2	1		7	1	1	16	3		16	2	1			4	2	6			3	3							L		16	2						2
	その他	6						1									1		"		2		2										Ī		1												

## 外国人留学生数(国・地域別、費用、学籍別)

				費用別	人数									学籍別						
		围	費			費			学	- 1-		院生	1-44		研究生		¬ В		その他	
地域	国・地域			政府	派遣	70	)他	計	学部 学生	年修士	専門	後期	博士	学 部	大 学 院	研究	一本	特別	特 別	科目
		男	女	男	女	男	女		生	· 前 期 2	専門職学位	3 年	博士(医歯薬)		院	研究所等	コース研修生	特別聴講学生	特別研究学生	科目等履修生
アジア (18ヵ国・地域)	インド	11	5			10	3	29	9	8		8	1			1	1		1	
1,828人 84.6%	インドネシア	43	30	3	8	34	19	137	26	39		53	9	1	1		1	5	2	
	韓国	16	2	16	2	53	20	109	49	14		31	1		3			10		1
	カンボジア	1	1			2		4	1	2				1						
	シンガポール	1	1			2	3	7	3	1								3		
	スリランカ	2	1			2		5		2		2	1							
	タイ	15	9			18	6	48	16	7		11	7	1			2	4		
	台湾					48	27	75	3	18	4	22	1	3	1			17	6	
	中国	26	27	21	13	593	576	1,256	61	581	46	324	55	114	20	15		24	15	1
	ネパール	3	1			2	2	8	2	2	1	3								
	パキスタン	8	3			2	2	15		4		6	2		1		1		1	
	バングラデシュ	17	7	1		4	7	36	2	11		20	2			1				
	フィリピン	4	8	1		1	2	16	1	4		5	3				3			
	ベトナム	14	7			8	11	40	6	13	1	13	2	2				3		
	マレーシア	5	1	2	2	8	7	25	9	6		8	1	1						
	ミャンマー		2					2		2										
	モンゴル	4	4				6	14	4	1		6	2		1					
	ラオス	1	1					2		1		1								
 中近東 (9ヶ国・地域)	アフガニスタン					1		1		1										
27人 1.2%	アラブ首長国連邦					1		1		1										
	イラン	2	2			2	1	7		1		6								
	クウェート	1						1				1								
	サウジアラビア						1	1					1							
	シリア	5						5	1	1		1	1				1			
	トルコ	2			1	1	2	8		1		4					1	1	1	
	ヨルダン	1	1					2		1			1							
	レバノン						1	1										1		
アフリカ (19ヵ国・地域)		1	2					3				3								
48人 2.2%	エジプト	3			1	2	2	8	2			3	2				1			
.07( 2.270	エチオピア							1							1					
	エリトリア							1					1							
	カメルーン						1	3				1								
	ガーナ	 1				1	1	3				2					1			
	ケニア		1			i i		2				1					1			
	コンゴ民主共和国	<u></u>						1				1					_ '			
	ザンビア	<u>'</u>						1		1										
	ジンバブエ		1					1		1										
	スーダン		3					3		2					1					
	タンザニア	1					1	2				2			'					
	チュニジア		1					1									1			
	ナイジェリア	5	<u>'</u>				3	9		7		2					'			
	ブルキナファソ							1		1										
	ボツワナ		2				1	3		1		2								
	ホッッ/ 南アフリカ	2						2		1		1								
								2		- 1		1					1			
	モザンビーク		2					1				1					- 1			
++	モロッコ						-			1										
オセアニア (3ヵ国・地域)		1	-			2	1	4		1		1						2		
9人 0.4%	ニュージーランド		1			-		1				1					_			
	フィジー	1	2			1		4		1		2					1			

(令和元年5月1日現在)

				費用別	人数									学籍別	刂人数					
		国	費		私	費			***			院生			研究生				その他	_
地域	国・地域			政府	派遣	70	)他	計	部	年修士	専門	後期	博士	学部	大 学 院	研究	一本	特別	特別	7
FB 436	国"地域	男	女	男	女	男	女	п	学部学生	士· 前 期 2	専門職学位	3年	(医歯薬)	ы	院	研究所等	コース研修生	特別聴講学生	特別研究学生	和 [ 章 屏 们 全
北米 (2 ヵ国・地域)	アメリカ合衆国	6	3			18	9	36	4	7		4			2			19		
40人 1.9%	カナダ	2				1	1	4		1		1					1	1		Т
中南米(17ヶ国・地域)	アルゼンチン	2	1					3				1					2			
54人 2.5%	エクアドル	1						1									1			
	エルサルバドル	1						1	1											Т
	キューバ		1					1				1								
	グァテマラ		2					2		1		1								_
	コスタリカ					1		1				1								Ī
	コロンビア	2	1					3		2				1						Ī
	チリ	1					2	3				2		1						Ī
	ハイチ	1						1					1							Ī
	パナマ		1					1									1			ĺ
	パラグアイ	3						3	1	1		1								ĺ
	ブラジル	10	2			4		16		4		5		3	2		2			Ī
	ベネズエラ	3						3		1		1					1			
	ペルー	3	1			1	1	6		1		2				1	1		1	Ī
	ボリビア	2	1					3		1		2								
	ホンジュラス						1	1				1								Ī
	メキシコ	2	1				2	5		2		3								Ī
ヨーロッパ(25ヵ国・地域)	アイルランド	1						1		1										Ī
56人 7.2%	イギリス	4	1					5		1	1	2					1			Ī
	イタリア		1			8	8	17							1			8	8	Ī
	ウズベキスタン	1						1				1								Ī
	エストニア	2						2		1					1					Ī
	オーストリア	1				1		2		1		1								Ī
	オランダ					6		6		2								2	2	
	クロアチア					1	2	3										2	1	Ī
	スイス					1	1	2										1	1	Ī
	スウエーデン					6	1	7										2	5	Ī
	スペイン	2				1	1	4		1		1						1	1	Ī
	スロバキア	1				1		2					1				1			
	スロベニア	1						1									1			
	チェコ					1		1											1	
	デンマーク	1				3		4		1		1							2	Ī
	ドイツ					23	5	28		6		2	1					5	14	
	ノルウエー					1		1				1								Ī
	ハンガリー	1	1				2	4				1	1					2		
	フィンランド	1				2	2	5				2						1	2	
	フランス	3	1			26	10	40	1	13		12						4	10	
	ベルギー	1					2	3		1								2		
	ポルトガル					1		1											1	
	ポーランド	1					3	4				1						1	2	
	ルーマニア	1						1				1								ĺ
	ロシア		6			1	4	11		1		6						3	1	Ī
計(93ヵ国·地域)		266	156	44	27	906	763	2,162	202	788	53	607	99	128	35	18	28	124	78	ĺ

## 外国人留学生数(国·地域別、部局別)

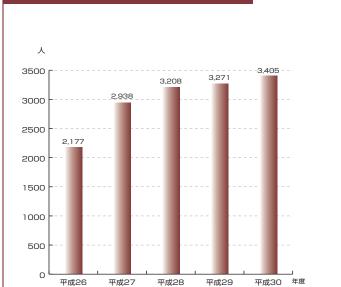
			文	教	法	公	経	숲	理	医	歯	薬	I	農		引引を 情			医	教	金	ħП	流	雷	多	東	B	サ	学	学
地域	国・地域	在籍者数	文学部·文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	公共政策大学院	経済学部·経済学研究科	会計大学院	理学部・理学研究科	医学部·医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	東北アジア研究センター	日本語研修コース研修生	サイクロトロン・RI センター	学務審議会(1)※	学務審議会(2)※
アジア	インド	29							4	1			14	1		4		2	1		1						1			
18ヵ国·地域)	インドネシア	137	6	1			2		28	3	8	1	23	21		4	4	29	4								1			- 1
	韓国	109	14	1	4		5		12	4			52	9	2	2		2	1											
	カンボジア	4											3	1																
	シンガポール	7	1						2				1	1																:
	スリランカ	5							1		1		1			1	1													
	タイ	48	2						6	3	5	1	20	1	1	4		2									2			
	台湾	75	10	1	2		9	4	8	3	2	1	14	2	4	3	4	3	3											á
	中国	1,256	181	49	46	2	100	44	75	79	24	18	308	58	79	81	27	53	13	2	4	1	2	2	5	1			1	
	ネパール	8						1	3				2	1			1													
	パキスタン	15					1			2			6	1		2	1		1								1			
	バングラデシュ	36							15	2			8	2		3	1	2	2									1		
	フィリピン	16								2	1		5	1	1	1		2									3			
	ベトナム	40			5		9	1	6	2			10			2	1	4												
	マレーシア	25	1				2		2	1			15					3	1											
	ミャンマー	2													2															
	モンゴル	14		1					3	1	2		3			1		3												
	ラオス	2		-									1					1												
 中近東	アフガニスタン	1											1																	
9ヶ国・地域)	アラブ首長国連邦	1							1																					
	イラン	7							1	1		_	3		1	1														
	クウェート	1										-						1												
	サウジアラビア	1									1																			
	シリア	5								1		_	3														1			
	トルコ		1				7					-	3				2		_		_		_				1			
		8	- 1				1			-	1	-							_		_									
	ヨルダン	2								-	1	-	1																	
7-11-	レバノン	1								-		-																		
アフリカ 19ヵ国·地域)	アルジェリア	3											1	1			1													
	エジプト	8								2			2	_			1	2									1			
	エチオピア	1								_		_		1																
	エリトリア	1								1																				
	カメルーン	3								2								1												
	ガーナ	3			1									1													1			
	ケニア	2								_		_	1														1			
	コンゴ民主共和国	1							1																					
	ザンビア	1														1														
	ジンバブエ	1																	1											
	スーダン	3								1					1				1											
	タンザニア	2							1								1													
	チュニジア	1																									1			
	ナイジェリア	9					1		5					1		1	1													
	ブルキナファソ	1													1															
	ボツワナ	3											2					1												L
	南アフリカ	2					1		1																					
	モザンビーク	2																1									1			
	モロッコ	1					1																							
オセアニア	オーストラリア	4	1						1				1			1														
(3ヵ国·地域)	ニュージーランド	1											1																	
	フィジー	4											1					2									1			

(令和元年5月1日現在)

			文	教	法	公	経	会	理	医	歯	薬	I	農			主籍者 生		医	教	金	加	流	電	多	東	日	サ	学	,
地域	国•地域	在籍者数	文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部·法学研究科	公共政策大学院	経済学部·経済学研究科	会計大学院	理学部・理学研究科	医学部·医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	東北アジア研究センター	日本語研修コース研修生	サイクロトロン・RI センター	学務審議会(1)※	And the second second second second
北米	アメリカ合衆国	36	1						4				19	4	1	2	1													
(2ヵ国·地域)	カナダ	4			1				1				1														1			
中南米	アルゼンチン	3							1																		2			Г
(17ヶ国・地域)	エクアドル	1																									1			Γ
	エルサルバドル	1							1																					Ī
	キューバ	1															1													Ī
	グァテマラ	2										1					1													Г
	コスタリカ	1											1																	t
	コロンビア	3					1		1						1															t
	チリ	3											2					1												r
	ハイチ	1								-	1	_																		t
	パナマ	1								-																	1			t
	パラグアイ	3			1		1			-	_	-	1																	H
	ブラジル	16	1						2	-			5	1	3	2											2			H
	ベネズエラ	3						_		-			2		- 0												1			H
	ペルー	6								-	_	-	3	_				1						1			1			H
	ボリビア	3								-	-	-	-	_		2	1													ł
		_								-	_	-	1																	ł
	ホンジュラス	1								-		-																		ŀ
	メキシコ	5			1				2		_		1			1														ŀ
3一ロッパ 25ヵ国·地域)	アイルランド	1							1	-		-	_																	ł
	イギリス	5						1		-	_	-	2		1												1			ŀ
	イタリア	17	11						3	-	_	-	3																	ŀ
	ウズベキスタン	1					1	_		-	_	-																		ŀ
	エストニア	2	1							-		_	1	_																ŀ
	オーストリア	2	1		1							_		_																ŀ
	オランダ	6	2							2						2														L
	クロアチア	3	2						1																					L
	スイス	2	1						1																					L
	スウエーデン	7								_		_	4			2														L
	スペイン	4	1							_		_	2		1															L
	スロバキア	2								1		_															1			L
	スロベニア	1								_		_															1			L
	チェコ	1														1														L
	デンマーク	4					2		1							1														1
	ドイツ	28	1		1	_	4		4	2			10	1		3	1													1
	ノルウエー	1			1																									1
	ハンガリー	4	2		1					1																				
	フィンランド	5			1				1				1			1	1													
	フランス	40	2						3				26	1		3	1		2											
	ベルギー	3	2		1																									
	ポルトガル	1													1															ĺ
	ポーランド	4	2										2																	ſ
	ルーマニア	1							1																					I
						_			1	_			_															_		Г

<sup>※</sup>学務審議会(1)は「学都仙台単位互換ネットワークに関する協定」に伴う全学教育科目の特別聴講学生数、学務審議会(2)は「人文・社会科学短期留学生受入プログラム」による特別聴 講学生数





外国人留学生等受入数の推移

## ■ 国際的な大学連合への加盟

	設立年月	設立の経緯	加盟国·地域 (加盟大学)	本学の 加盟年
東アジア研究型大学協会 AEARU (The Association of East Asian Research Universities) **を研究型大学協会 まアジア研究型大学協会 きりAのピマを近時で記録 The Association of East Asian Research Universities	1996.1	東アジアにおける有力な研究指向型の大学学長間の交流の場を持つこと、および教員・学生の交流など加盟大学間の密接な交流を行うことを目的として設立された。 日本からは、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、京都大学、大阪大学が加盟。	4(19)	1998年
環太平洋大学協会 APRU (Association of Pacific Rim Universities) <b>APRU</b>	1997.6	環太平洋圏の主要大学間の相互交流を深めることにより、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として設立された。 日本からは、東北大学、名古屋大学、大阪大学、慶應義塾大学、早稲田大学が加盟。	16(48)	2008年
日独6大学アライアンス HeKKSaGOn (The German-Japanese University Alliance: Heidelberg, Kyoto, Karlsruhe, Tohoku (in Sendai), Göttingen, Osaka-network)	2010.7	日本とドイツの主要大学の研究者、教職員及び学生の 交流、共同研究の推進、サマースクール等の開催など、日 独大学間の交流を推進することを目的として設立され た。日本からは、東北大学、京都大学、大阪大学が加盟。	2(6)	2010年
日英大学連携プログラム RENKEI (Japan-UK Research and Education Network for Knowledge Economy Initiatives)	2012	日本と英国の主要大学の連携を基盤とし、共同研究、 知識移転、人材育成の分野において、産業界との連携を 強化することを目的として設立された。日本からは、東 北大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、立 命館大学が加盟。	2(12)	2012年
T.I.M.E. (Top Industrial Managers for Europe)  Enoutries  Houries	1989.10	ヨーロッパの理工系大学間において、主に修士課程レベルでのダブル・ディグリーブログラムによる交流を通じてトップレベルのエンジニアを養成することを視野に入れて設立された。 2005年よりヨーロッパ以外の大学の加盟が可能になり、ブラジル、中国、オーストラリアの大学をはじめ、日本からは東北大学、慶應義塾大学、同志社大学、横浜国立大学が加盟。	23 (57)	2007年

## ■海外拠点

(令和元年5月1日現在)

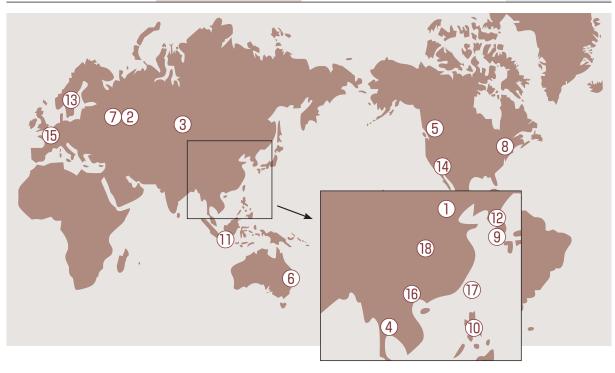
## 海外事務所

事務所名(設置場所)	設立
中国代表事務所 (北京) Tohoku University China Office	2007年4月20日
② ロシア代表事務所 (モスクワ) Tohoku University Russia Office	2010年9月11日
ロシア代表事務所シベリア支部(ノボシビルスク) <ul><li>Tohoku University Russia Office Siberia Branch</li></ul>	2010年9月11日

事務所名(設置場所)	設立
タイ代表事務所 (バンコク) Tohoku University Thailand Office	2016年3月14日
ワシントン大学一東北大学 アカデミックオープンスペース (シアトル) University of Washington-Tohoku University: Academic Open Space (UW-TU: AOS)	2017年 4月 14日

## リエゾンオフィス

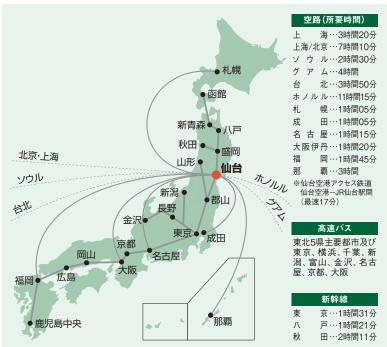
締結機関(設置場所)	国•地域(締結日)	オフィス名	世話部局
6 ニューサウスウェールズ大学 (国際交流センター)	オーストラリア (2002年5月17日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 法学研究科
⑦ モスクワ国立大学 (物理学部)	ロシア (2002年6月21日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科
8 シラキュース大学 (計算機科学・工学部)	アメリカ (2003年11月19日)	流体科学研究所リエゾンオフィス	流体科学研究所
9 韓国科学技術院 (機械工学部)	韓国(2003年12月18日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所
10 熱帯医学研究所	フィリピン (2007年5月1日)	東北大学 -RITM 新興・再興感染症 共同研究センター (フィリピン拠点)	医学系研究科
① バンドン工科大学	インドネシア (2011年8月2日)	環境科学研究科 国際環境リーダーリエゾンオフィス (2015年3月23日: オフィス名変更に伴い再締結)	環境科学研究科
(エ科大学)	韓国(2011年12月1日)	日本国4大学(北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学)工学部等と大韓民国ソウル大学校工科大学の間における連絡オフィス	工学研究科
13 スウェーデン王立工科大学 (機械学科)	スウェーデン (2012年6月28日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科
14 カリフォルニア大学リバーサイド校	アメリカ (2013年2月1日)	東北大学センター	高度教養教育·学生支援機構
リヨン大学 (国立応用科学院リヨン校金属材料物理研究所)	フランス (2015年6月2日) ※2004年1月23日国立応用科学 院リヨン校との締結を発展したもの	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 加齢医学研究所 医学系研究科
16 貿易大学	ベトナム (2015年12月19日)	東北大学-貿易大学共同事務所	高度教養教育·学生支援機構
① 国立交通大学 (電気・コンピューター工学部)	台湾(2017年5月4日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 未来科学技術共同研究センター 工学研究科 理学研究科 材料科学高等研究所
18 四川大学 (華西口腔医学院)	中国(2018年3月1日)	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科



## ■ 施設所在地一覧







## その他の地区

	施設名	fi fi		 代表電話番号
1		<del>-</del> 7980−0845	仙台市青葉区荒巻字青葉519-1176	022(229)4113
2	電子光理学研究センター	₹982-0826	仙台市太白区三神峯1-2-1	022(743)3400
3	東北大学けんこうプラザ	〒989−3204	仙台市青葉区南吉成6-6-5	022(341)2453
4	理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏女川観測所	〒986−2204	牡鹿郡女川町桐ヶ崎字桐ヶ崎15-3-1	0225(53)3374
(5)	農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒986−2242	牡鹿郡女川町小乗浜字向3-1	0225(53)2436
6	農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター(教育関係共同利用拠点)	<del>T</del> 989-6711	大崎市鳴子温泉字蓬田232-3	0229(84)7312
7	川渡共同セミナーセンター	T989-6711	大崎市鳴子温泉字原75	0229(84)7309
8	生命科学研究科湛水生態系野外実験施設	T989-4104	大崎市鹿島台町広長字内ノ浦134-2	0229(56)2020
9	理学研究科附属惑星プラズマ·大気研究センター惑星圏蔵王観測所	<del>T</del> 989-0916	刈田郡蔵王町遠刈田温泉七日原	0224(34)2743
10	生命科学研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センター	<del>+</del> 039−3501	青森県青森市大字浅虫字坂本9	017(752)3388
11)	学術資源研究公開センター植物園八甲田山分園	<del>1</del> 030−0111	青森県青森市大字荒川十和田八幡平国立公園酸々湯集団施設	017(738)0621
12	理学研究科附属地震·噴火予知研究観測センター(秋田県地震観測所)	<del>7</del> 011−0936	秋田県秋田市将軍野南1-14-46	018(845)8716
13	理学研究科附属地震·噴火予知研究観測センター(本荘地震観測所)	₹015-0091	秋田県由利本荘市大簗字西の角4	0184(29)2124
14)	理学研究科(三陸地震観測所)	T022-0101	岩手県大船渡市三陸町越喜来字小泊114	0192(44)2107
15)	理学研究科附属地震·噴火予知研究観測センター(遠野地震観測所)	T028-0545	岩手県遠野市松崎町駒木4-120-74	0198(62)2800
16	金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター	₹311-1313	茨城県東茨城郡大洗町成田町2145-2	029(267)3181
(17)	金属材料研究所附属産学官広域連携センター(大阪オフィス)	<del>T</del> 599-8531	大阪府堺市中区学園町1-2 大阪府立大学内 地域連携研究機構8階	072(254)6372
0	金属材料研究所附属産学官広域連携センター(兵庫オフィス)	<del>∓</del> 671−2280	兵庫県姫路市書写2167 兵庫県立大学内 インキュベーションセンター2階	079(260)7209
18	理学研究科附属惑星プラズマ·大気研究センター 惑星圏飯舘観測所	T960-1636	福島県相馬郡飯舘村前田	0244(42)0530
19	ニュートリノ科学研究センター 液体シンチレータ反ニュートリノ観測施設	T506-1205	岐阜県飛騨市神岡町東茂住上町408	0578(85)0030
20	東北大学東京分室	₹100-0005	東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階	03(3218)9612
21)	東京サイト	₹103-0023	東京都中央区日本橋本町2-3-11	03(3273)3602
22	経済学研究科会計専門職専攻国際会計政策コース拠点(IGSAP)	〒132−0035	東京都江戸川区平井6-1-17	03(6869)3195
23	オープンイノベーション戦略機構(東京オフィス)	₹103-0023	東京都中央区日本橋本町3-11-5 ライフサイエンスビルディング2 6階	03(6667)0220

## 学寮、ユニバーシティ・ハウス、国際交流会館

施設名称	収容定員	所在地	電話番号
日就寮(日本人学生の男子)	103名	〒 982 - 0832 仙台市太白区八木山緑町 16-3	022-229-1858
以文寮(日本人学生の男子)	96名	〒982−0832 ″	022-229-5392
霽風寮(日本人学生の男子)	81名	〒982−0832 ″	022-229-4954
如春寮(日本人学生の女子)	64名	〒 981 - 0935 仙台市青葉区三条町 19-1	022-272-9857
明善寮(日本人学生の男子)	160名	〒 980 - 0011 仙台市青葉区上杉 6-3-2	022-234-0134
松風寮(日本人学生の男子)	150名	〒980−0011 ″	022-275-1221
ユニバーシティ・ハウス青葉山(日本人学生及び留学生の男女)	752名	〒 980 - 8572 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1	022-395-8002
ユニバーシティ・ハウス三条 (日本人学生及び留学生の男女)	416名	〒 981 - 0935 仙台市青葉区三条町 19-1	022-274-7305
ユニバーシティ・ハウス三条 Ⅱ (日本人学生及び留学生の男女)	216名	〒981−0935 ″	022-718-2021
ユニバーシティ・ハウス三条Ⅲ (日本人学生及び留学生の男女)	208名	〒981−0935 ″	//
ユニバーシティ・ハウス上杉 (日本人学生及び留学生の男女)	32名	〒 980 - 0011 仙台市青葉区上杉 6-3-2	(問合せ先)
ユニバーシティ・ハウス長町(日本人学生及び留学生の男女)	48名	〒982-0011 仙台市太白区長町8-6-10	学生支援課 生活支援係 022-795-3943
ユニバーシティ・ハウス片平 (日本人学生及び留学生の男女、外国人研究者)	81名	〒 980 - 0811 仙台市青葉区一番町 1-14-15	022-797-9301
国際交流会館三条第一会館(留学生の男女、外国人研究者)	254名	〒 981 - 0935 仙台市青葉区三条町 19-1	022-275-9901
国際交流会館三条第二会館(留学生の男女)	108名	〒 981 - 0935 仙台市青葉区三条町 10-15	022-718-7850
国際交流会館東仙台会館(留学生の男女)	70名	〒 983 - 0833 仙台市宮城野区東仙台 6-14-15	022-293-5591

## 課外活動施設

施設名称		住所
評定河原陸上競技場·合宿所	〒980-0815	仙台市青葉区花壇 2-1
釜房ボート艇庫	₹ 989-1505	柴田郡川崎町大字小野字西田 10-5
戸田ボート艇庫・合宿所	₹ 335-0024	埼玉県戸田市戸田公園 5-50
七ヶ浜ヨット艇庫	₹ 985-0802	宮城郡七ヶ浜町吉田浜字浜屋敷61-1
萩雪ヒュッテ	₹ 990-2301	山形県山形市蔵王温泉荒敷820-1
清渓小屋	₹ 989-0800	刈田郡蔵王町字倉石岳国有林305口林小班
片平体育館	〒980-8577	仙台市青葉区片平2-1-1
片平第(2・5・6)ホール		//
富沢野球場	₹ 982-0826	仙台市太白区三神峯 1-5
富沢自動車練習場	₹ 982-0826	仙台市太白区三神峯 1-6
馬場	₹ 980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
川内サブアリーナ	₹ 980-8576	仙台市青葉区川内41
川内課外活動共用施設(川内ホール)		//
川内サークル部室棟、川内サークル部室棟Ⅱ	<i>II</i>	
川内課外活動共用施設A	<i>II</i>	
川内課外活動共用施設B		//
サークルE・F・G棟		//



ユニバーシティ・ハウス片平

### ■片平キャンパス

## 大学本部、研究所



```
エクステンション教育研究棟
本部事務機構
 総長・プロボスト室経営企画スタッフ室 26
 総務企画部総務課 26
総務企画部社会連携課 28
 総務企画部法務・コンプライアンス課 27
 総務企画部国際企画課 29
 総務企画部広報室 28
 人事企画部人事企画課
 人事企画部人事給与課
                 29
 人事企画部環境安全推進課
 財務部 29
 研究推進部研究推進課 29
 施設部 34
 情報部情報推進課 27
監査室 27
経済学研究科
 地域イノベ-
         ·ション研究センター 41
生命科学研究科
 事務室 36
 生命科学研究科本館 37
 生命科学プロジェクト総合研究棟 36 環境制御実験棟 38
法科大学院、公共政策大学院
 事務室 41
会計大学院
 事務室、研究室 35
 講義室
金属材料研究所
 本多記念館(事務室) 9
 1号館、2号館、3号館、4号館 10 11 12 17
 10号館
 共同研究プロジェクト棟
 スーパーコンピュータ棟アルファ放射体実験室 6
 技術棟Ⅰ、技術棟Ⅱ 78
 共通ラボ棟 15
 国際教育研究棟
            16
 附属新素材共同研究開発センター 13
附属強磁場超伝導材料研究センター 14
附属強磁場超伝導材料研究センター別館 75
 極低温科学センター
流体科学研究所
 事務室
 流体研1号館、2号館、3号館 42 44 45
 高速流実験棟 46
 衝擊波学際応用実験棟 47
 低乱風洞実験棟 70
 流動ダイナミクス棟 43 ジョイントラボラトリー棟
 附属未到エネルギー研究センター 44
電気通信研究所
 事務室 76
诵研本館 76
 通研1号館、2号館 61 62 63
 ブレインウェア研究開発施設 64 65
 評価分析センター
             66
 共同研究棟 67
ナノ・スピン実験施設 59
 21世紀情報通信研究開発センター 71 72
多元物質科学研究所
 事務部棟 51
多元研東1号館(反応化学研究棟1号館)
多元研東2号館(反応化学研究棟2号館)
 多元研東3号館(反応化学研究棟旧館)
 多元研西1号館(科学計測研究棟S棟)
 多元研西2号館(科学計測研究棟N棟)
多元研西工場(工場棟) 25
多元研南1号館(素材工学研究棟1号館)
 多元研南2号館(素材工学研究棟2号館)
 多元研南3号館(素材工学研究棟3号館)
 南総合研究棟1(材料·物性総合研究棟II)
```

```
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁月1-1
                                    電話番号案内 022(717)7800
                                      東
                                      番
             5
                 17
                    12
   75,
        3
              16
     14
                 10
                              50
                              30
                                  魯迅の
                            階段教室
        揙
                                  米ヶ袋
                                      55
                                    51
                     54
                                              南門三
                             =
                          76
                                          65
                    69
                     50
                100 m
 南総合研究棟2(材料·物性総合研究棟I) 58
 多元研共同研究棟
 多元研図書室 31
材料科学高等研究所(AIMR)
事務室 30
                            文化財収蔵庫 49
 AIMR本館 30
                            片平北門会館 50
                             AIMRラボ棟 17
AIMR別館 20
史料館
研究教育基盤技術センター片平分室 36
                            片平会館 2
先端電子顕微鏡センター
                            さくらホール 56
                            片平体育館 69
産学連携機構 29
埋蔵文化財調査室
          34 39
                            知の館
                                77
キャンパスデザイン室 34
                            男女共同参画推進センター 41
                            耐災害ICT研究センター 74
情報公開室
      27
産学連携先端材料研究開発センター 73
                            10号館 78
                            教育研究基盤支援棟20(放送大学宮城学習センター) 79
エクステンション教育研究棟 41
```

## 2川内キャンパス

## 人文社会科学学部、全学教育

●土地:817,777㎡ ●建物:140,373㎡(令和元年7月1日現在)

川内北キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内41 川内南キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 電話番号案内 022(717)7800



### 本部事務機構

教育・学生支援部(教育・学生総合支援センター) 7 教育·学生支援部入試課 19

文学部·文学研究科

事務室 22

文学研究科·法学研究科合同研究棟 24

教育学部·教育学研究科 事務室 25

法学部·法学研究科

事務室 23

文学研究科·法学研究科合同研究棟 24

経済学部·経済学研究科 事務室 28

演習室 28 29

国際文化研究科

事務室 6

附属言語脳認知総合科学研究センター 6 附属図書館 本館 20

東北アジア研究センター

事務室·研究室 3 分室 19

高度教養教育·学生支援機構

事務室 3

保健管理センター

学生相談・特別支援センター(学生相談所)、 ハラスメント全学学生相談窓口 4

入試センター 19

キャリア支援センター 大学教育支援センター 3

学習支援センター(SLAサポート) 11 グローバルラーニングセンター 17

教養教育院 1

植物園

本館 30

津田記念館 31

教育情報基盤センター 11

学生実験棟 2

川北合同研究棟 3

講義棟A棟、B棟、C棟 8 9 10 マルチメディア教育研究棟 11

文科系総合講義棟 36 中講義棟 26

文科系総合研究棟 25 文科系合同研究棟 27

サークルE棟 5 サークルF・G棟 12

厚生施設(川内北キャンパス厚生会館) 13 川内サブアリーナ 14

川内体育館(川内アリーナ) 15 川内課外活動共用施設B 16

川内課外活動共用施設A 17 教育研究基盤支援棟4 33

教育研究基盤支援棟5 34

川内サークル部室棟 18 川内サークル部室棟 II 37 川内課外活動共用施設(川内ホール) 35

百周年記念会館(川内萩ホール) 21 厚生施設(文系食堂) 32





川内キャンパス

## 3青葉山キャンパス



●土地:1,577,169㎡ ●建物:392,383㎡(令和元年7月1日現在)

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター 農学研究科・農学部、環境科学研究科、災害科学国際研究所 理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部、情報科学研究科 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 電話番号案内 022(717)7800 青葉山キャンパス 中央棟 □1.9□ 環境科学研究科 研究棟 56 エコラボ 58 医工学研究科 青葉山植物園ゲート 事務室 41 研究室 39 41 80 100 附属図書館 北青葉山分館 21 附属図書館 工学分館 44 ニュートリノ科学研究センター 22 総合学術博物館 23 自然史標本館 23 国際高等研究教育院 28 学際科学フロンティア研究所 28 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 26 未来科学技術共同研究センター 本館 35 未来情報産業研究館 34 未来産業技術共同研究館 78 ハッチェリースクエア 42 極低温科学センター 1 69 サイバーサイエンスセンター 29 サイバーサイエンスセンター2号館 104 環境保全センター 67 青葉山体育館 30 厚生施設(けやきダイニング) 36 生活環境早期復旧技術研究センター実験棟 92 情報科学研究科 厚生施設(北青葉山厚生会館) 20 先進核融合炉工学総合実験棟 93 研究棟·事務室 32 厚生施設(あおば食堂) 46 研究室 31 32 39 51 80 86 87 100 102 青葉記念会館 45 高速中性子実験棟 94 臨界未満装置実験室(量子エネルギー科学館) 95 生命科学研究科 厚生施設(こもれびカフェ、コンビニエンスストア) 65

研究室 8 10 24 25

自動車の過去・未来館 66

厚生施設「BOOOK」(ブックカフェ、売店) 47

ナノ医工学実験棟 96

ナノ医工学研究棟 97

## 3青葉山キャンパス

理工系学部

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター 農学研究科・農学部、環境科学研究科、災害科学国際研究所 理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部、情報科学研究科 〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

78 仙百巾有渠区元卷子有渠6-3 電話番号案内 022(717)7800

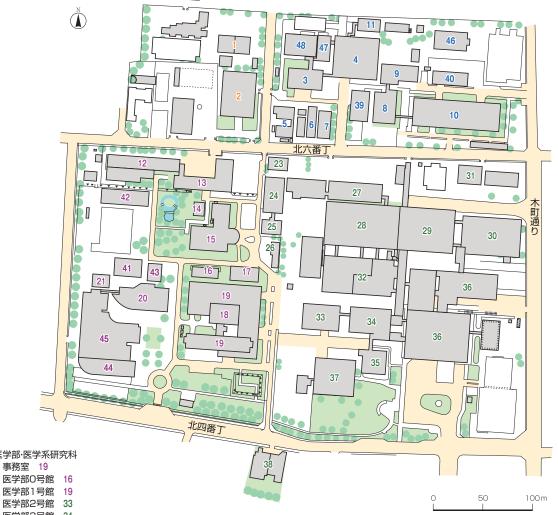


## 4星陵キャンパス

## 医·歯学部、病院

### ●土地: 179,214㎡ ●建物: 334,449㎡(令和元年7月1日現在)

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 病院 医学部·医学系研究科 ₹980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1 東北メディカル・メガバンク機構 〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1 歯学部·歯学研究科/加齢医学研究所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1 電話番号案内 022(717)7000



医学部·医学系研究科 事務室 19

医学部1号館 19 医学部2号館 33 医学部3号館 34 医学部4号館 17

医学部5号館 20 医学部6号館 44 保健学科D棟 42

教育研究基盤支援棟 41 保健学科A棟 13

保健学科B棟 12 フロンティア研究棟 14 プリオン研究実験棟 23

動物実験施設 24 実習講義棟 18 臨床講義棟 35

創生応用医学研究センター 20 オートプシー・イメージングセンター 12 環境遺伝医学総合研究センター 44 総合地域医療研修センター 38

東北大学クリニカル・スキルスラボ 38

歯学部·歯学研究科

事務室 10 基礎研究棟 8 実習講義棟 9 臨床研究棟 10

第2臨床研究棟 40 薬学研究科 研究室 44

医工学研究科

研究室 3 10 17 19 21 33 34 44

医工学実験棟 21 加齢医学研究所

事務室 4

加齢研実験研究棟 3 プロジェクト総合研究棟 4 スマート・エイジング研究棟 39 ブレインイメージング研究棟 6

ブレインダイナミクス研究棟 7 腫瘍動物実験棟 5 先進フロンティア研究棟 11

先端医療実験棟 47 動物資源実験棟 48 附属図書館 医学分館 37

事務室(管理棟) 31

外来診療棟 36 中央診療棟 32 西病棟 28 東病棟 29

臨床研究推進センター 27 先端医療技術トレーニングセンター 43 星陵レジデンス 46

先進医療棟 30

動物実験センター 26 遺伝子実験センター 3

東北メディカル・メガバンク棟 45 RI星陵サブセンター 25

星陵学生サークル棟 1

星陵体育館 2

星陵会館(厚生施設)医学部開設百周年記念ホー ル一星陵オーディトリアム 15

医学部艮陵会館 38



星陵キャンパス

東

# 東北大学概要 2019

[編集·発行] 令和元年7月 東北大学総務企画部広報室 〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 Tel.022-217-4977

http://www.tohoku.ac.jp/

